

人権・男女共同参画についての アンケート調査報告書

平成27年3月

足利市

目次

I 調査の概要	
1 調査の目的	1
2 内容	1
3 調査対象等	1
4 調査項目	1
5 回収状況	1
6 報告書の見方	1
7 回答者の属性	2
II 調査結果	
・人権問題全般	3
・同和問題	12
・人権問題への取り組みなど	15
・男女の役割意識	16
・男女平等	24
・地域・社会参画	29
・ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)	33
・女性が働くこと	35
・男女間の暴力	41
・男女共同参画の視点からの防災	47
・男女共同参画への取り組みなど	50
III 各設問「その他」及び問 27 の記述内容	52
IV 資料	
・調査票	57

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

本市における人権問題や男女共同参画に関する市民意識の現状や変化を把握し、人権・男女共同参画行政を推進するための基礎資料とするため実施した。

2. 内容

前回の意識調査(平成21年度実施)と比較対照のできる内容としつつ、現代的課題を加えたものとした。

3. 調査対象等

- (1) 調査対象 平成26年8月1日現在市内に居住する20歳以上の男女
- (2) 対象者数 1,500人(男女各750人)
- (3) 抽出方法 住民基本台帳に基づき性別・年代別・丁町別無作為抽出
- (4) 調査方法 郵送配布・郵送回収(礼状兼督促状1回送付)
- (5) 調査期間 平成26年8月18日～9月5日

4. 調査項目

- (1) 人権問題全般
- (2) 同和問題
- (3) 人権問題への取り組みなど
- (4) 男女の役割意識
- (5) 男女平等
- (6) 地域・社会参画
- (7) ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)
- (8) 女性が働くこと
- (9) 男女間の暴力
- (10) 男女共同参画の視点からの防災
- (11) 男女共同参画への取り組みなど
- (12) 足利市へのご意見など

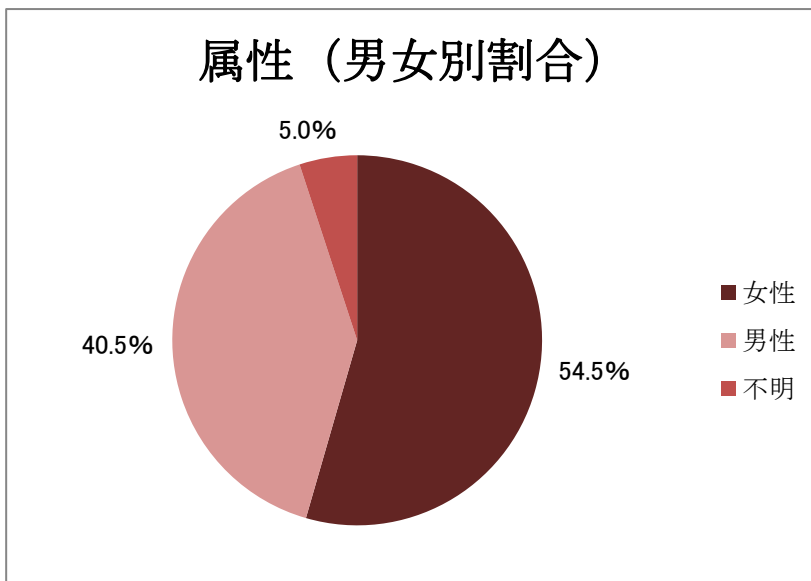
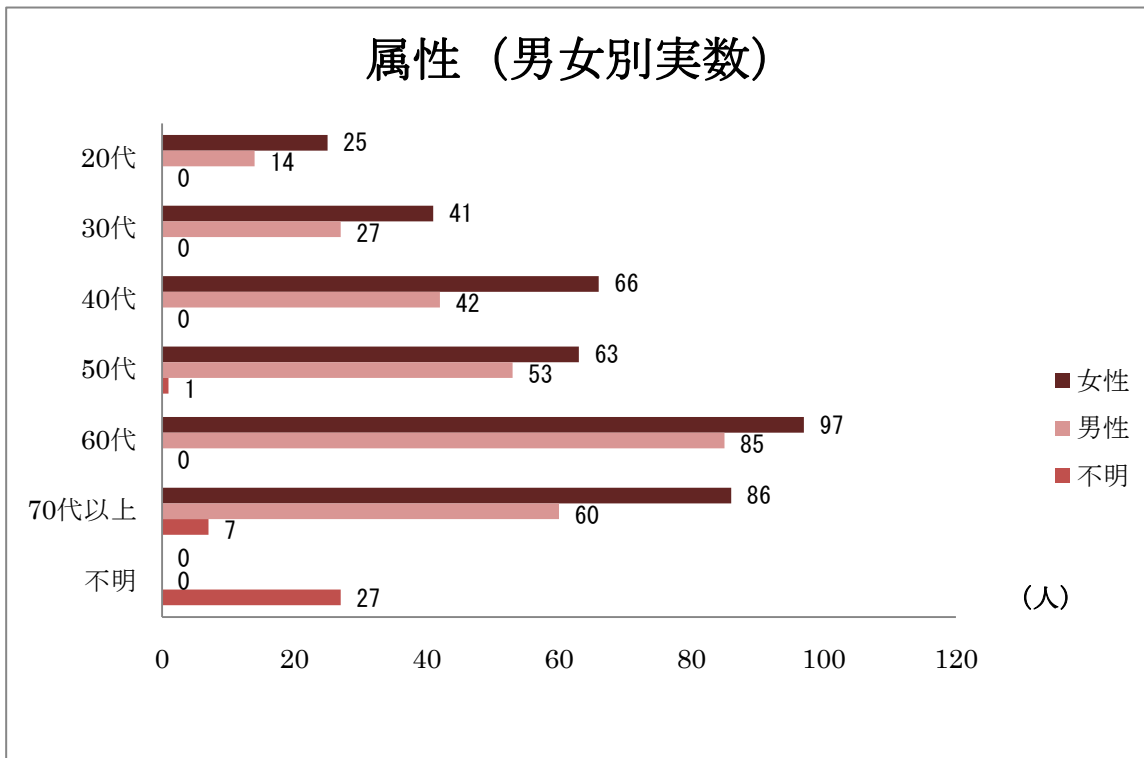
5. 回収状況

回収数(率) 694人(46.3%)

6. 報告書の見方

- (1) 回答比率は、小数点第二位を四捨五入して算出した。
- (2) 複数回答のある集計については、回答比率の合計が100%にならない場合もある。
- (3) 前回調査等と比較するにあたり、その比率の差は「ポイント」と表す。
- (4) 性別及び年代の不明については、少数意見ではありますが、参考に掲載した。

7. 回答者の属性



(実数)

(%)

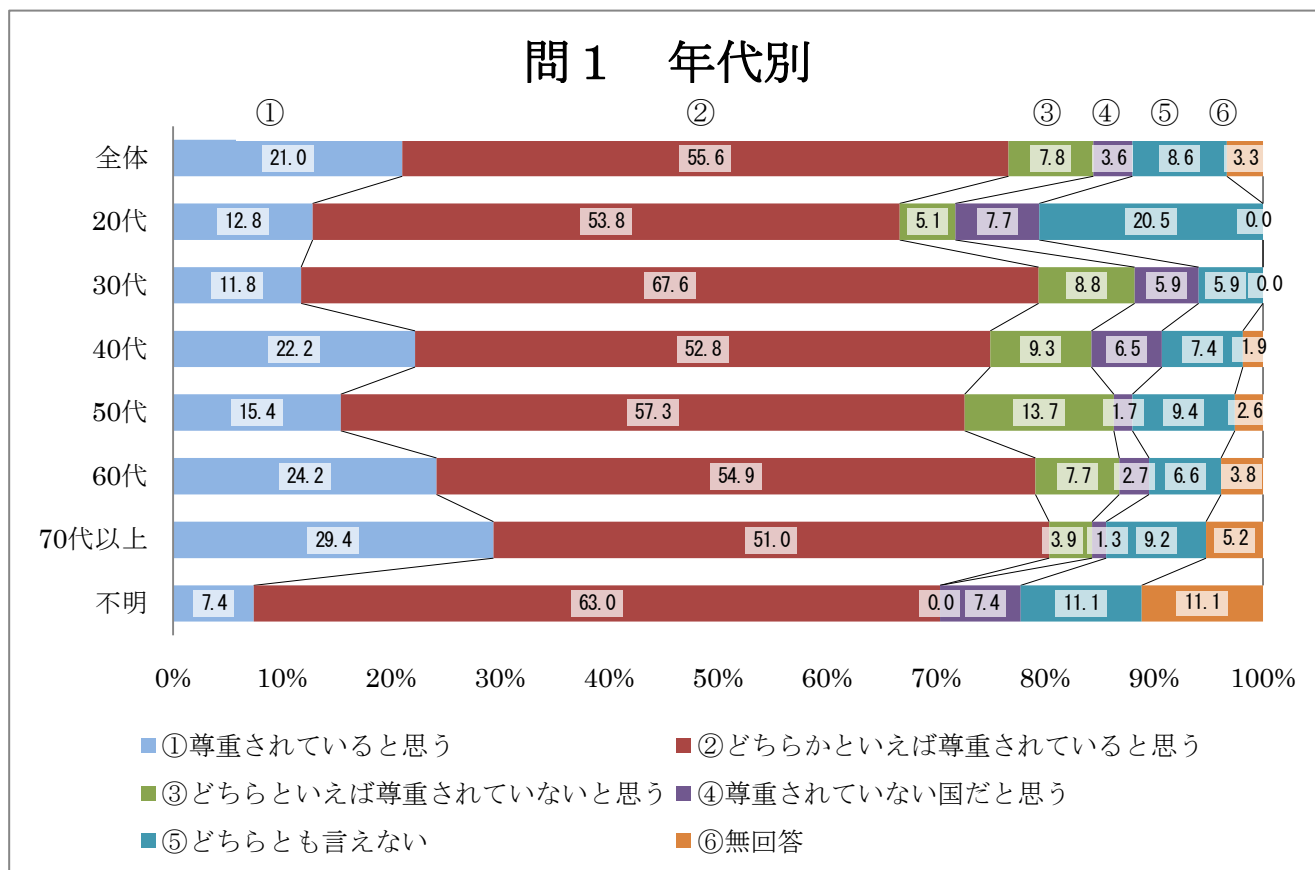
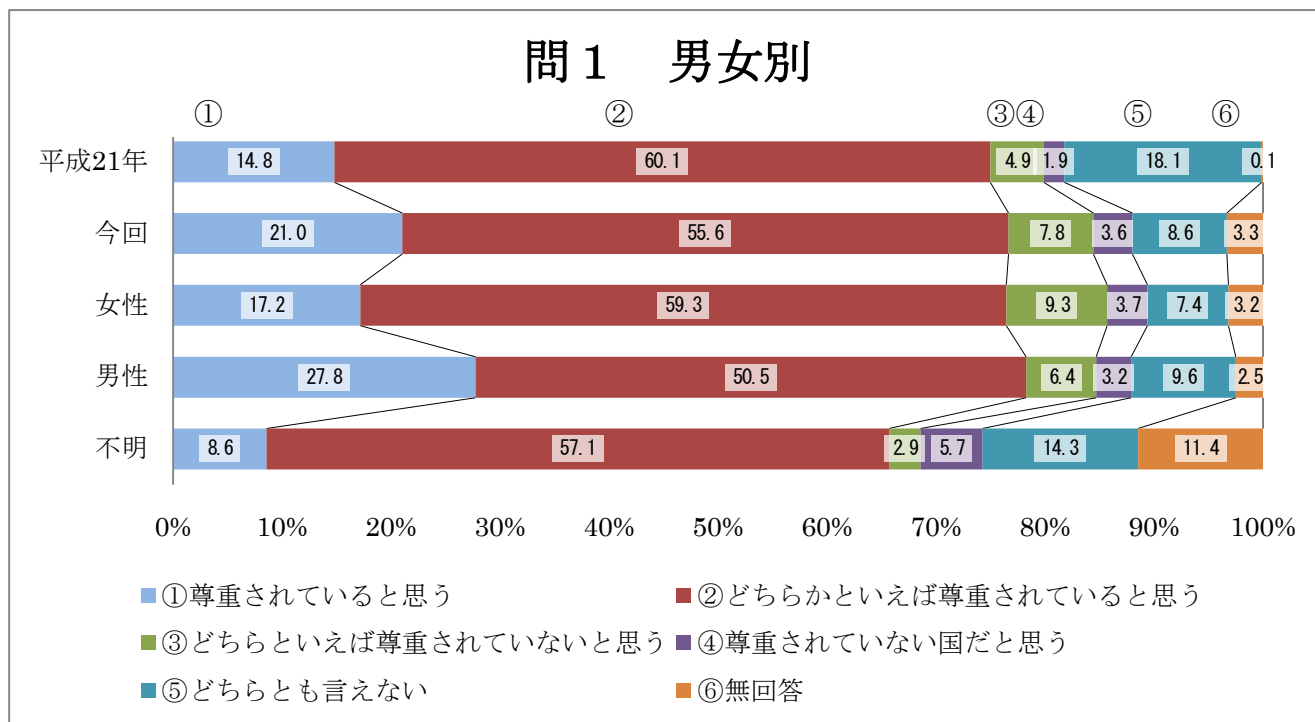
	合計	女性	男性	性別不明	合計	女性	男性	性別不明
合計	694	378	281	35	100.0	100.0	100.0	100.0
20代	39	25	14	0	5.6	6.6	5.0	0.0
30代	68	41	27	0	9.8	10.8	9.6	0.0
40代	108	66	42	0	15.6	17.5	14.9	0.0
50代	117	63	53	1	16.9	16.7	18.9	2.9
60代	182	97	85	0	26.2	25.7	30.2	0.0
70代以上	153	86	60	7	22.0	22.8	21.4	20.0
年齢不明	27	0	0	27	3.9	0.0	0.0	77.1

II 調查結果

人権問題について

【人権問題全般】

問1 今の日本は人権（人間が生まれながらにして持っている自由・平等に関する権利）が尊重されている国だと思いますか。次の中から1つ選んでください

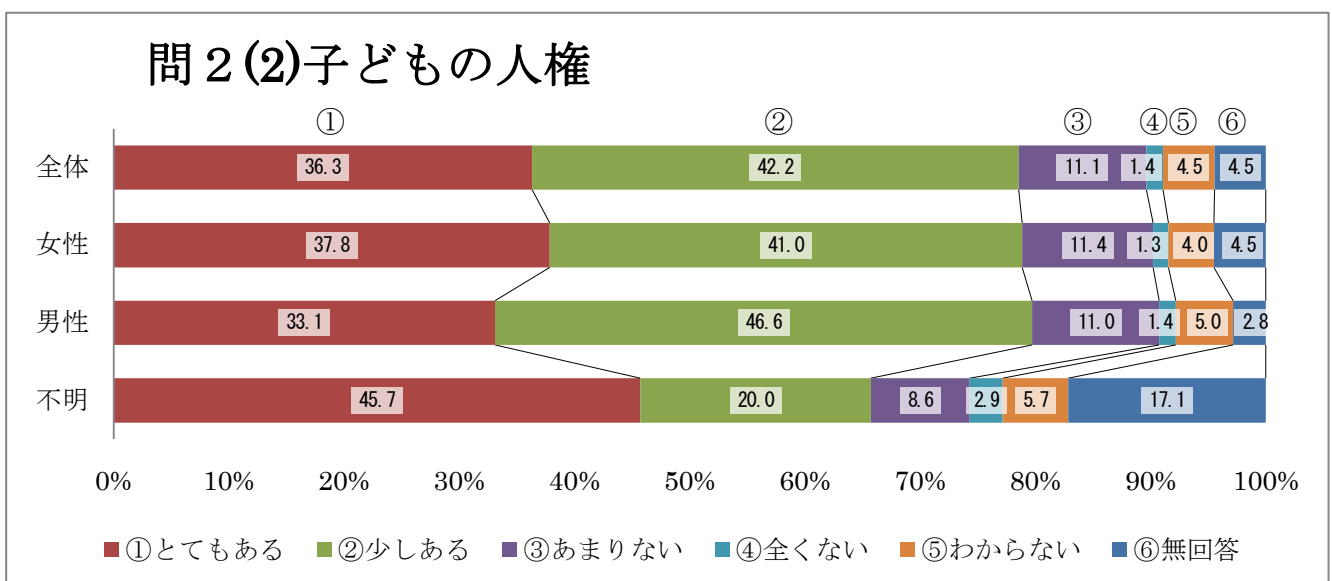
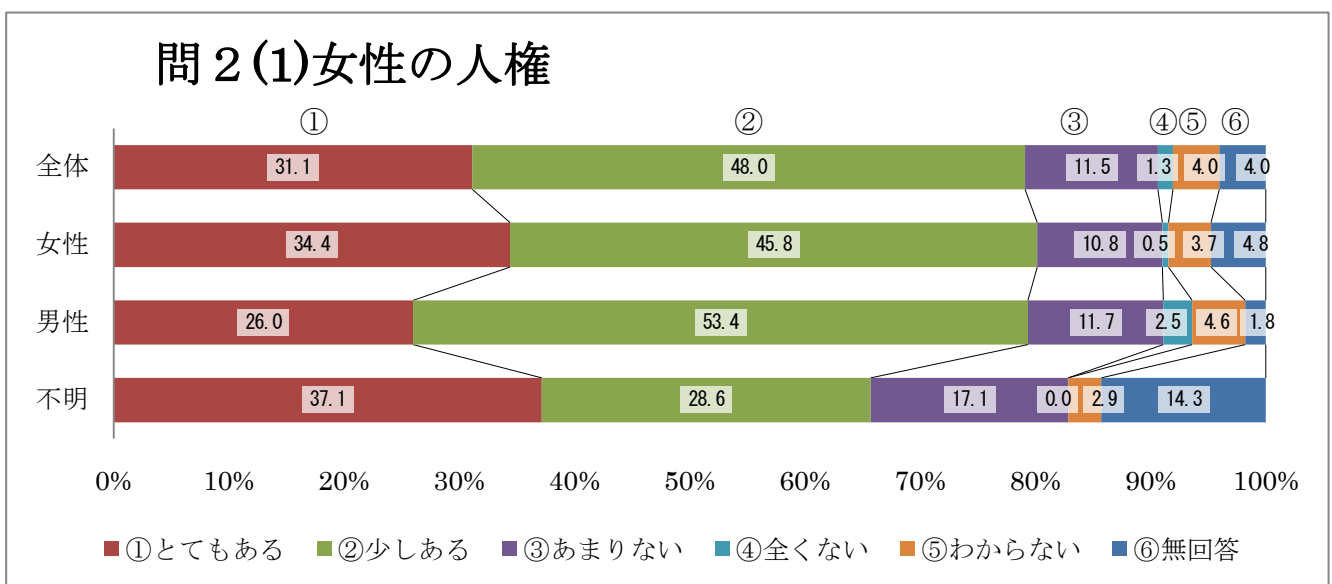


全体では、「①尊重されていると思う」「②どちらかといえば尊重されていると思う」の合計が76.6%（前回比1.7ポイント増）を占めており、7割以上の人は、日本は人権が尊重されている（守られている）国だと感じているようです。一方、「④尊重されていないと思う」「③どちらかといえば尊重されていないと思う」の合計が11.4%（前回比4.6ポイント増）であることから、全体の1割強の人は、人権が尊重されていない国だと感じていることが読み取れます。

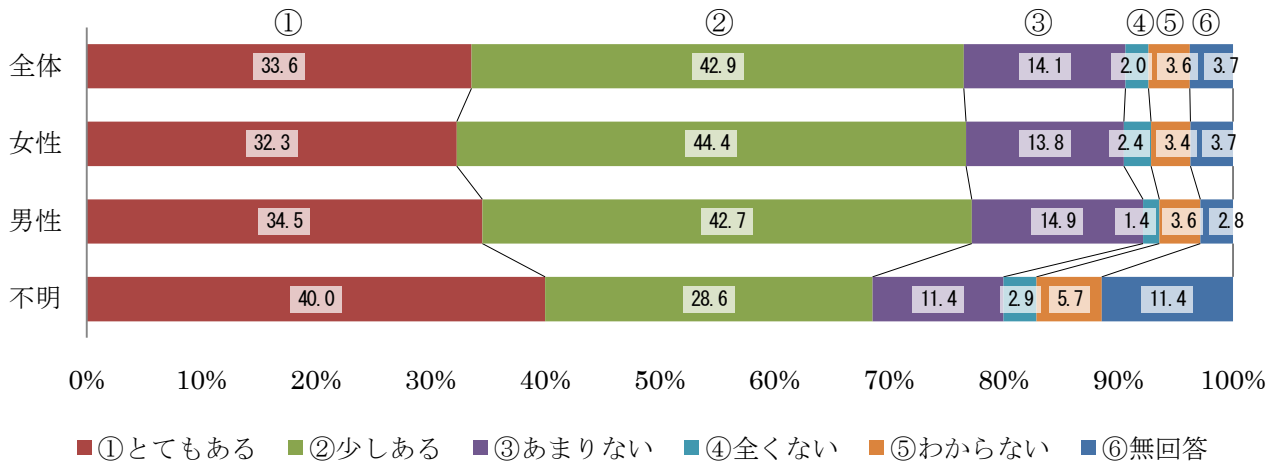
男女別では、「①尊重されていると思う」は女性の17.2%に対し、男性は27.8%で10.6ポイント高くなっています。

年代別では、「①尊重されていると思う」は30代が11.8%で最も低く、70代以上が29.4%で最も高く、その差は17.6ポイントとなっています。

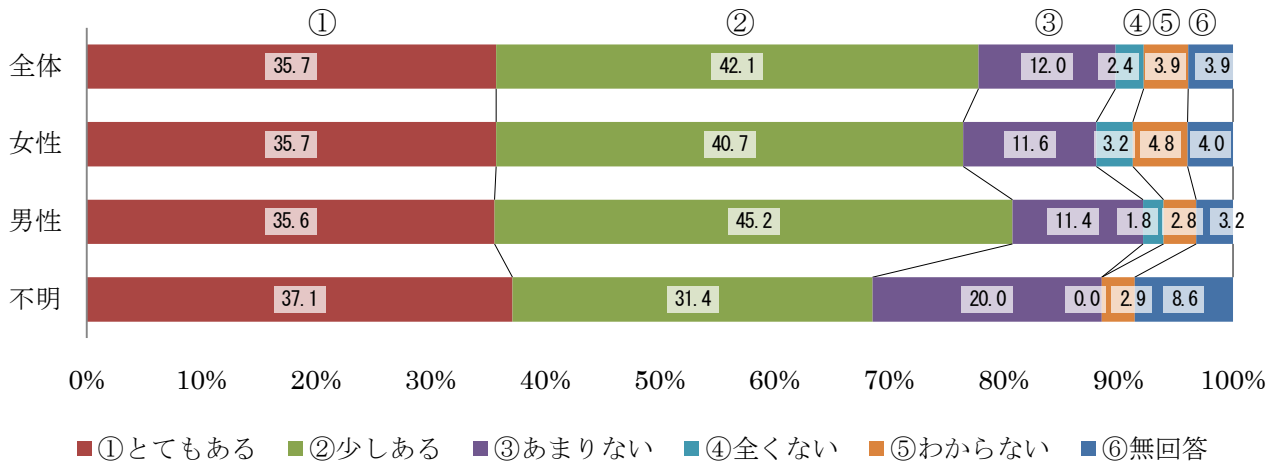
問2 現代社会には、様々な人権問題があります。あなたは次の(1)から(18)の内容について、どの程度関心をお持ちですか。次の中から1つずつ選んでください。



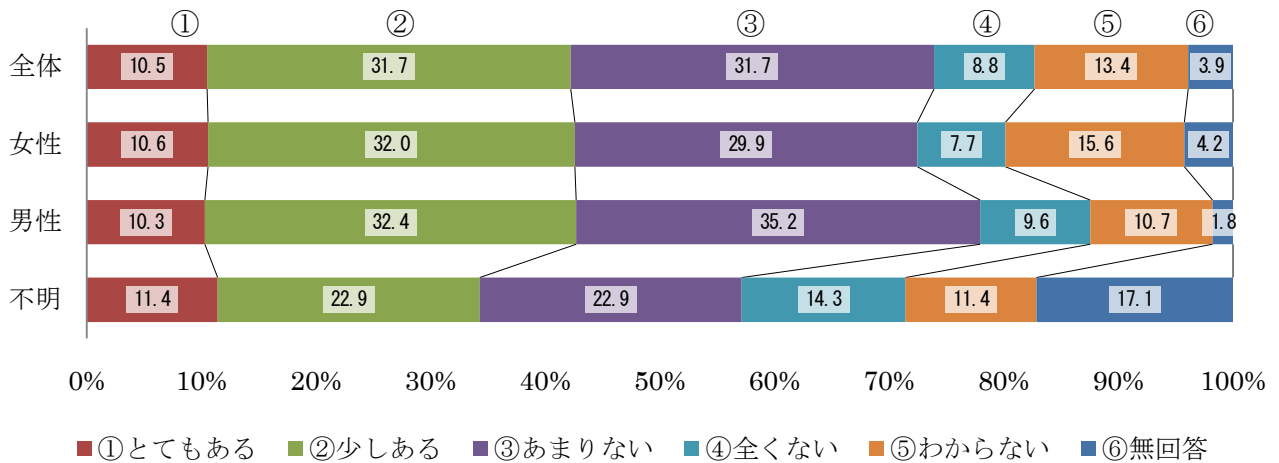
問 2 (3) 高齢者の人権



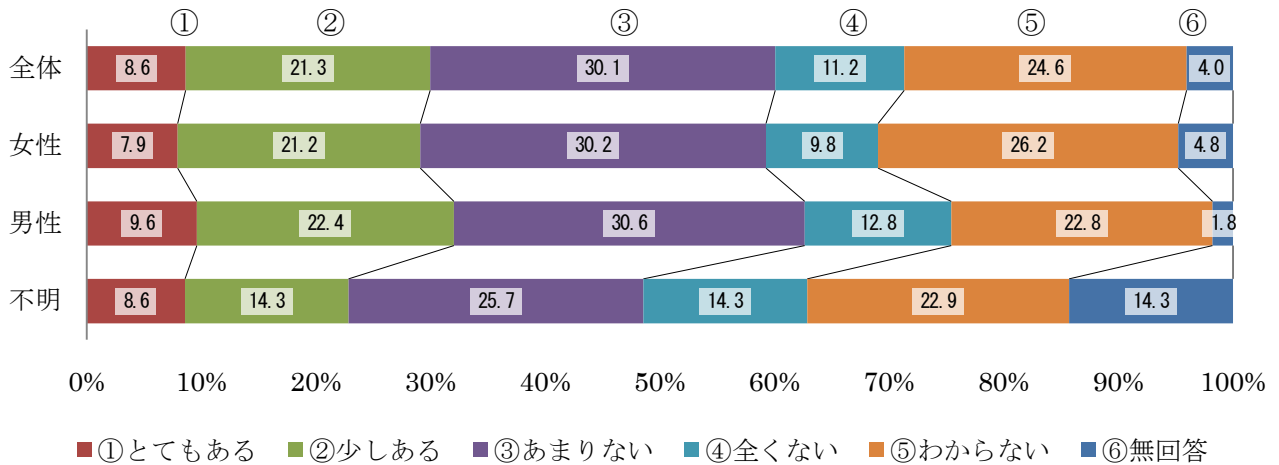
問 2 (4) 障がい者の人権



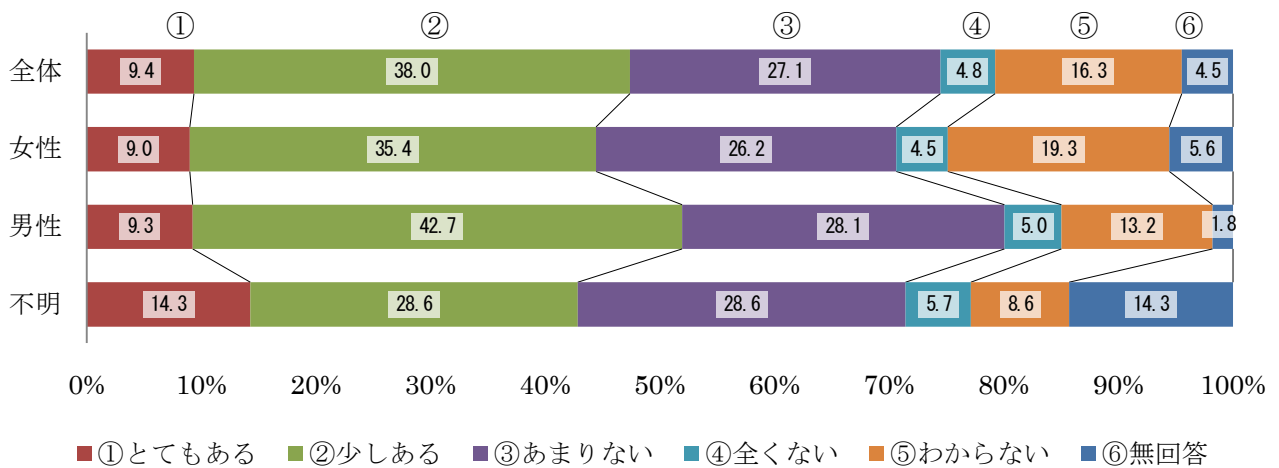
問 2 (5) 同和問題に関する偏見や差別



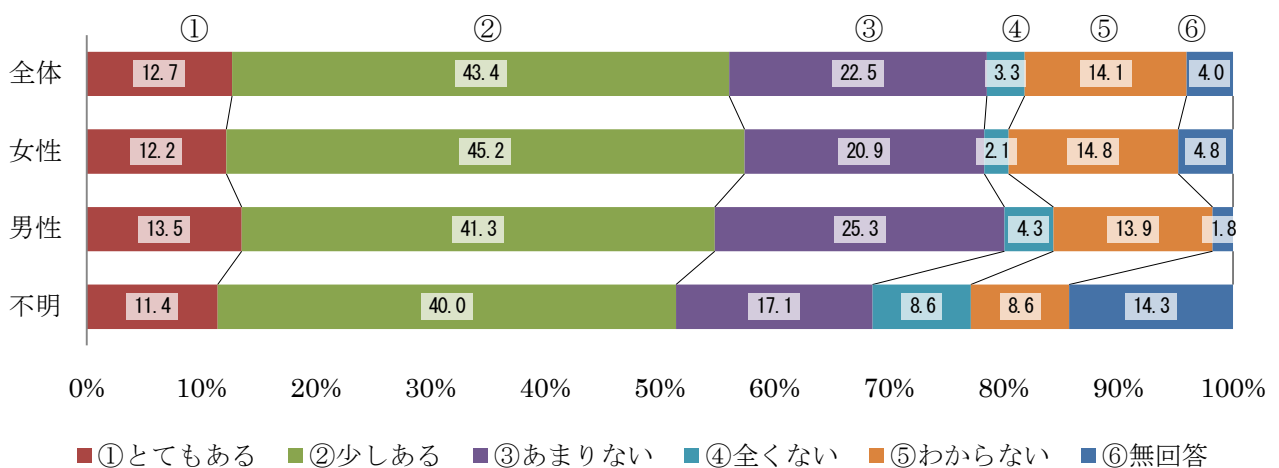
問 2 (6)アイヌの人々に対する偏見や差別



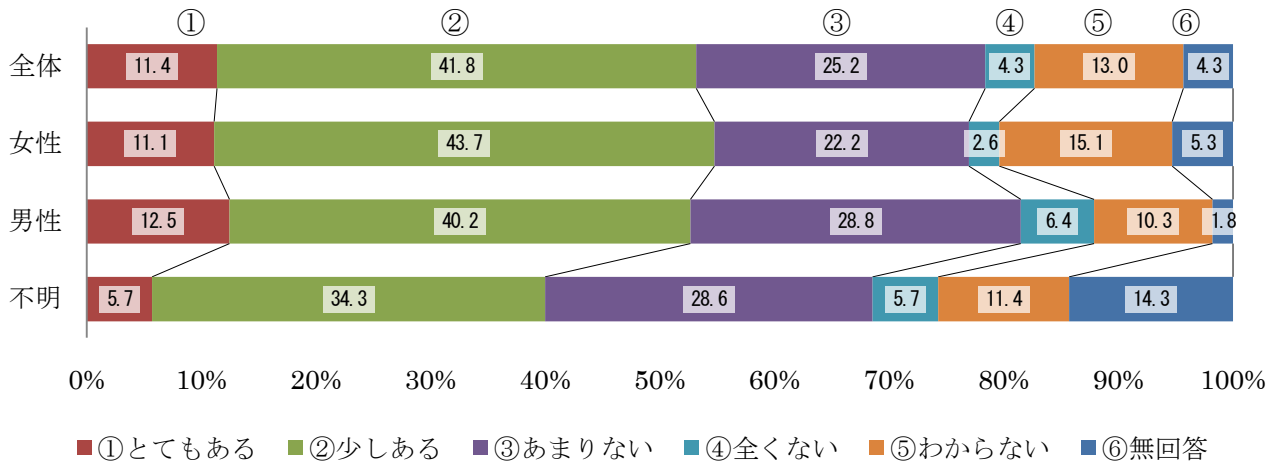
問 2 (7)外国人の人権



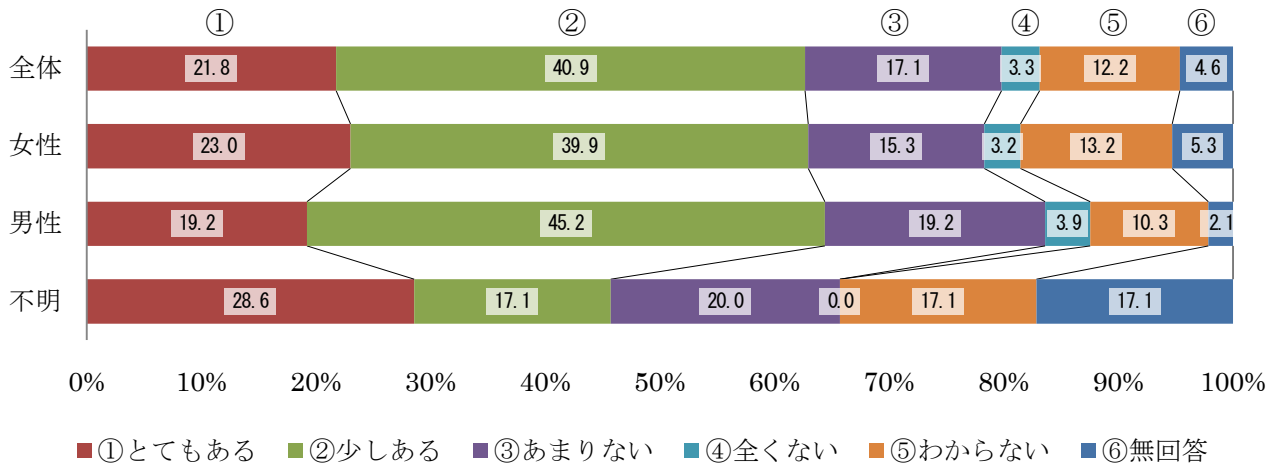
問 2 (8)感染症患者に対する偏見や差別



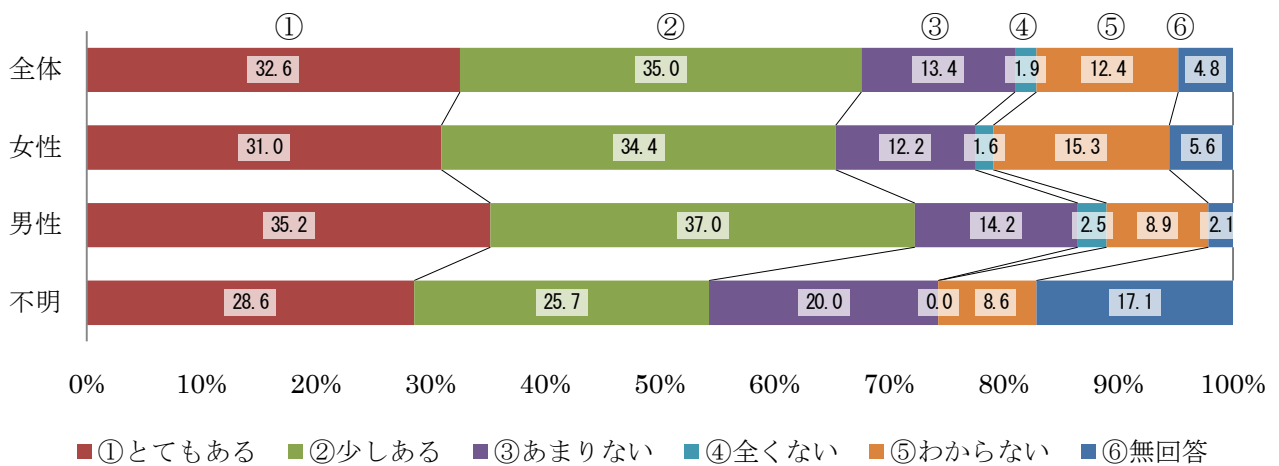
問 2 (9)刑を終えて出所した人に対する偏見や差別



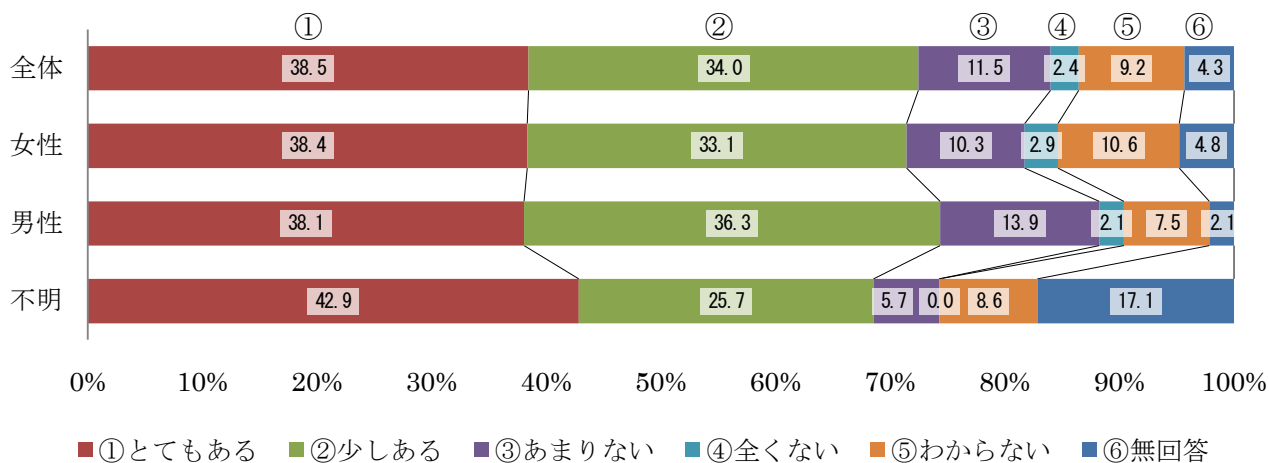
問 2 (10)犯罪被害者やその家族の人権



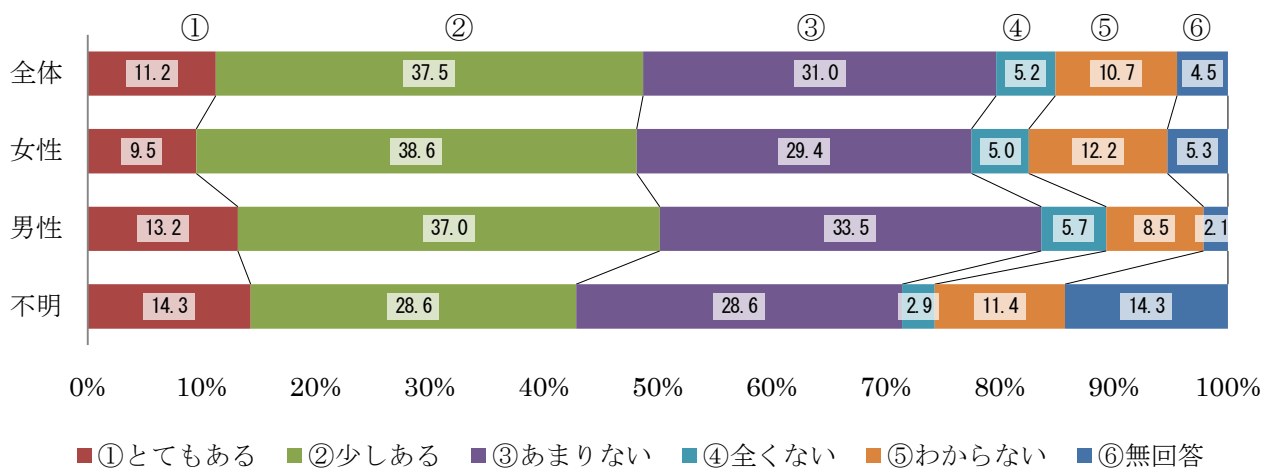
問 2 (11)インターネットを悪用した人権侵害



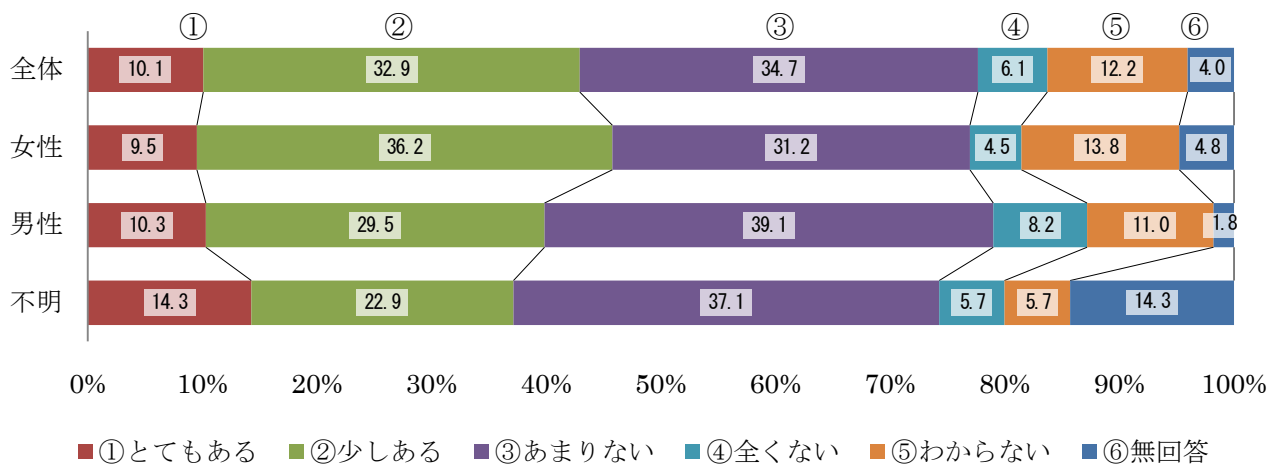
問 2 (12)北朝鮮当局によって拉致された被害者等の人権



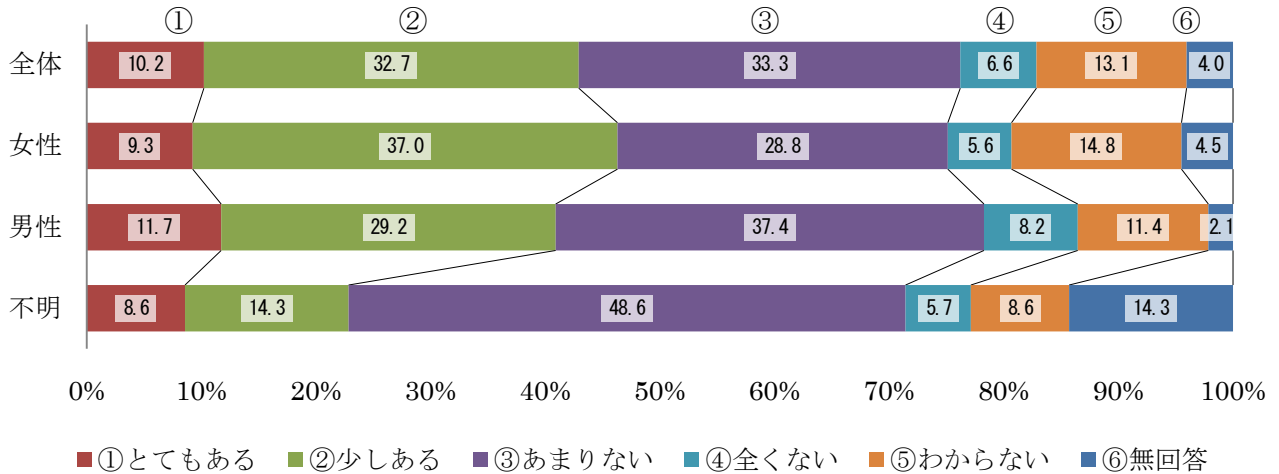
問 2 (13)ホームレスに対する偏見や差別



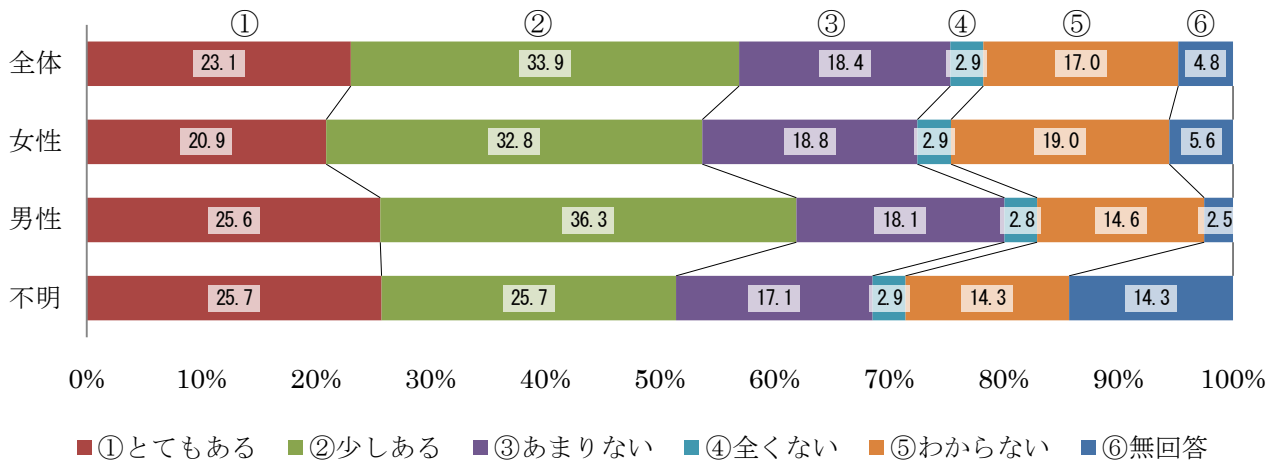
問 2 (14)性的指向を理由とする偏見や差別



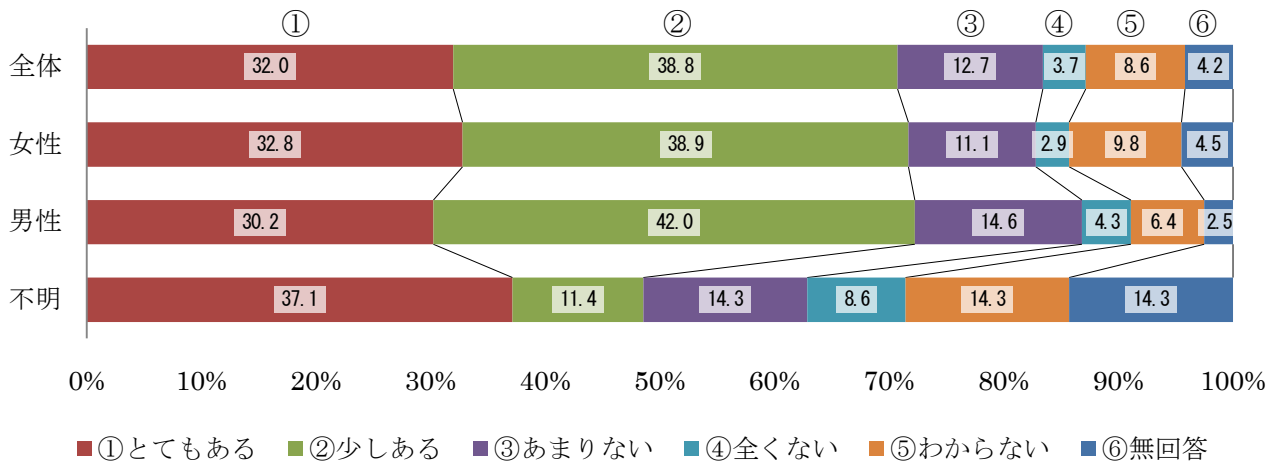
問 2 (15)性同一性障がいを理由とする偏見や差別



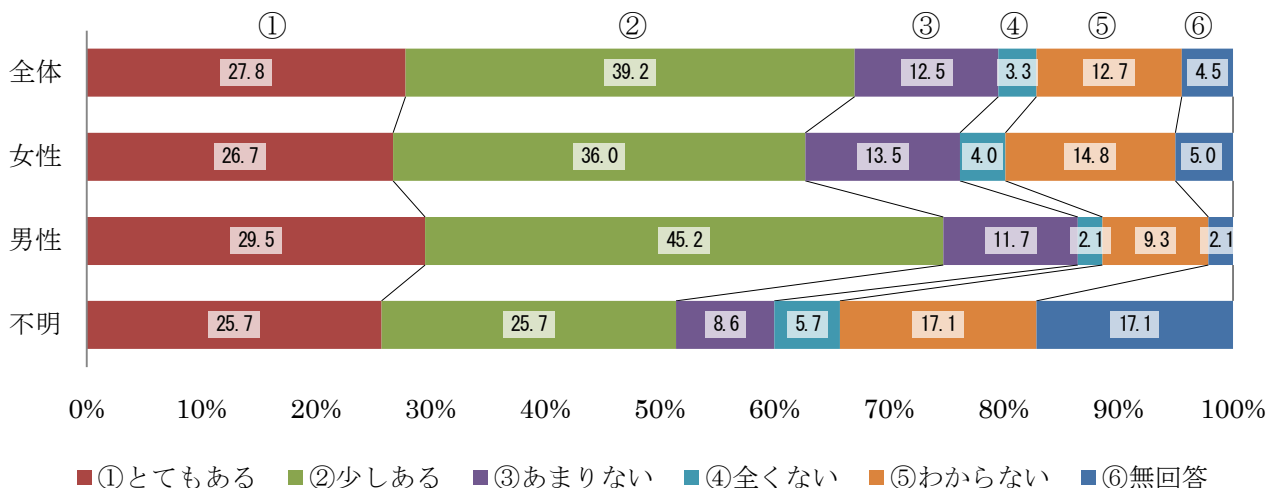
問 2 (16)人身取引の問題



問 2 (17)東日本大震災に起因する人権問題



問 2 (18)えん罪被害者の人権



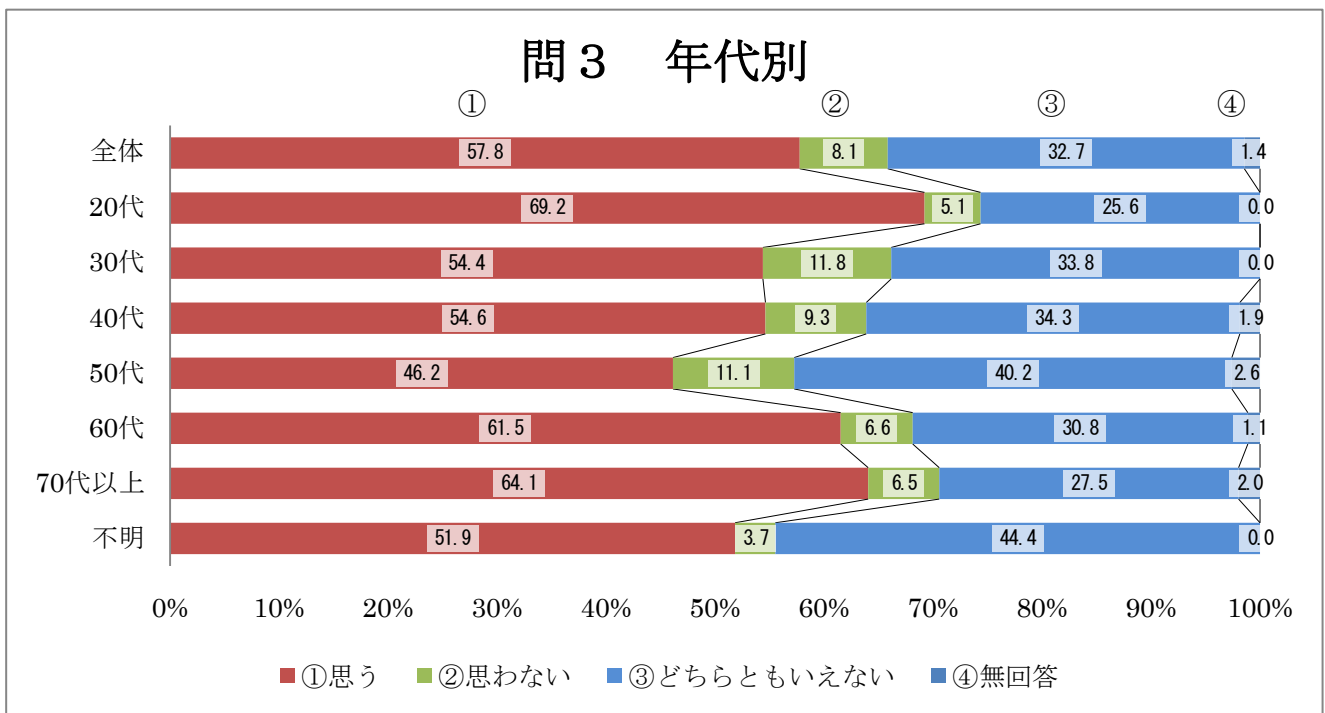
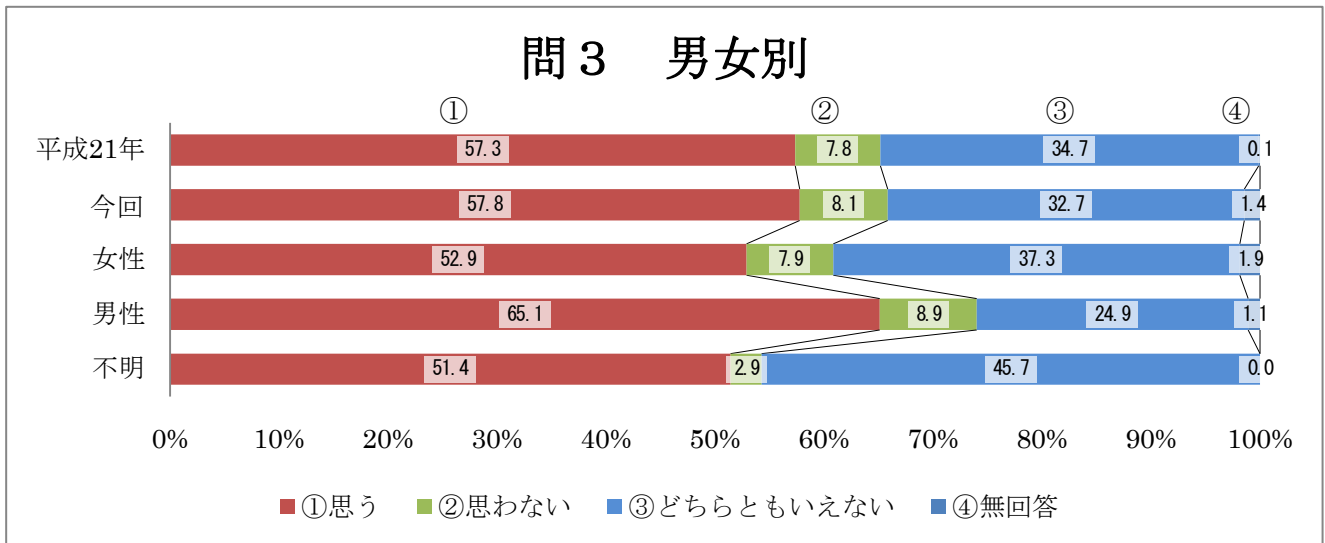
全体では、「①とともある」「②少しある」の合計で50%を超えた項目が、18項目中11項目あり、「(1)女性の人権」が79.1%で最も高く、次いで、「(2)子どもの人権」が78.5%となっています。

一方、最も関心が低いと思われる項目は、「(6)アイヌの人々に対する偏見や差別」の29.9%で、その次の「(5)同和問題に関する偏見や差別」の42.2%と比較すると12.3ポイントの差がありました。

男女別では、「①とともある」「②少しある」の合計が最も大きかった項目は、男性が「(4)障がい者の人権」で80.8%、女性が「(1)女性の人権」で80.2%となっています。一方、最も関心が低いと思われる項目は、男女ともに「(6)アイヌの人々に対する偏見や差別」で、男性が32.0%、女性が29.1%となっています。

全体的に様々な人権課題に対して、市民の関心度の高さがうかがえる結果ではありましたが、身近に関わる機会のある事柄やメディアで取り上げられる頻度の高いものほど関心度が高く、その他のものは関心度が低い結果となりました。

問3 あなたは自分の人権が守られていると思いますか。次の中から1つ選んでください。



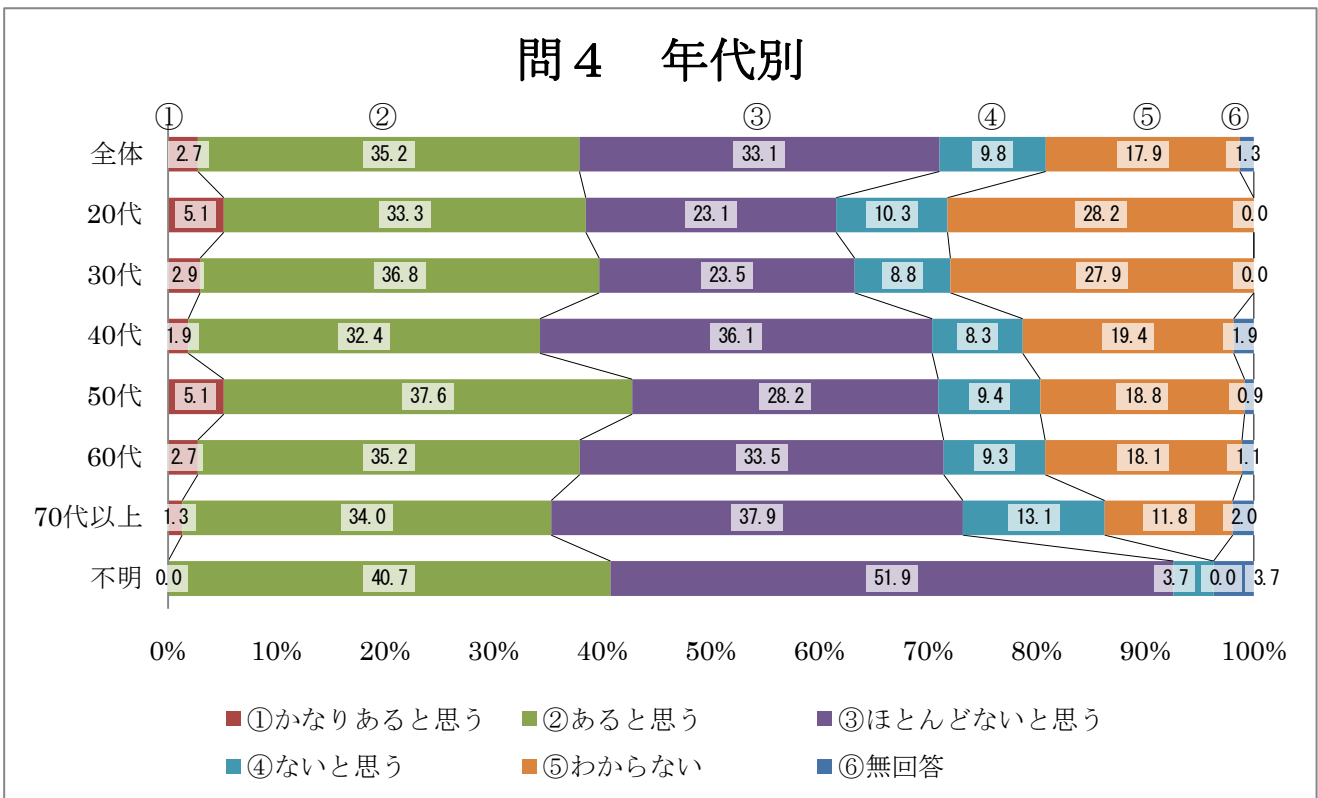
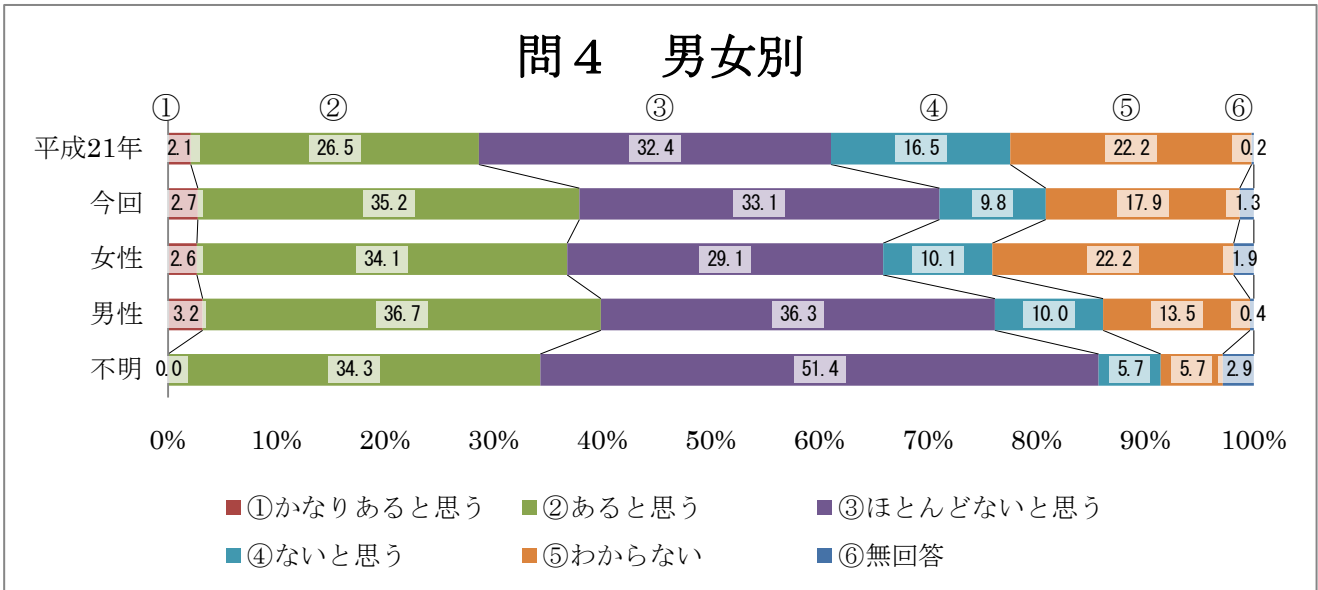
全体では、「①思う」が57.8%（前回比0.5ポイント増）を占めており、半数以上の人は、自分の人権が守られていると感じています。また、「②思わない」が8.1%（前回比0.3ポイント増）であることから、1割弱の人は、自分の人権が守られていないと思っています。

男女別では、「①思う」は女性の52.9%に対し、男性は65.1%で12.2ポイント高くなっています。

年代別では、「①思う」は20代が69.2%、70代以上が64.1%となっており、若年層及び高年層が高くなっています。

【同和問題】

問4 あなたは同和地区（被差別部落）の住民に対する差別が、今でもあると思いますか。次の中から1つ選んでください。

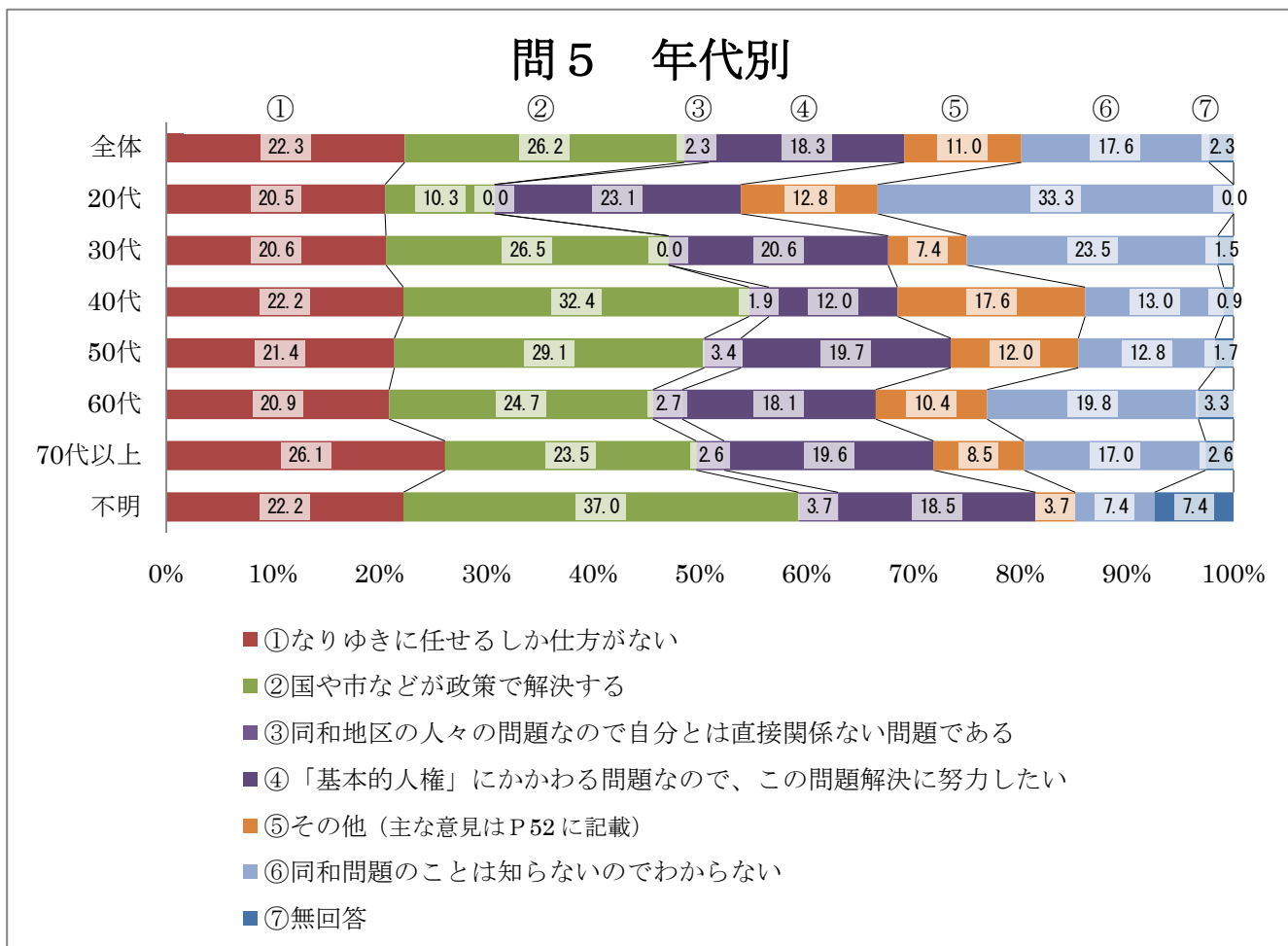
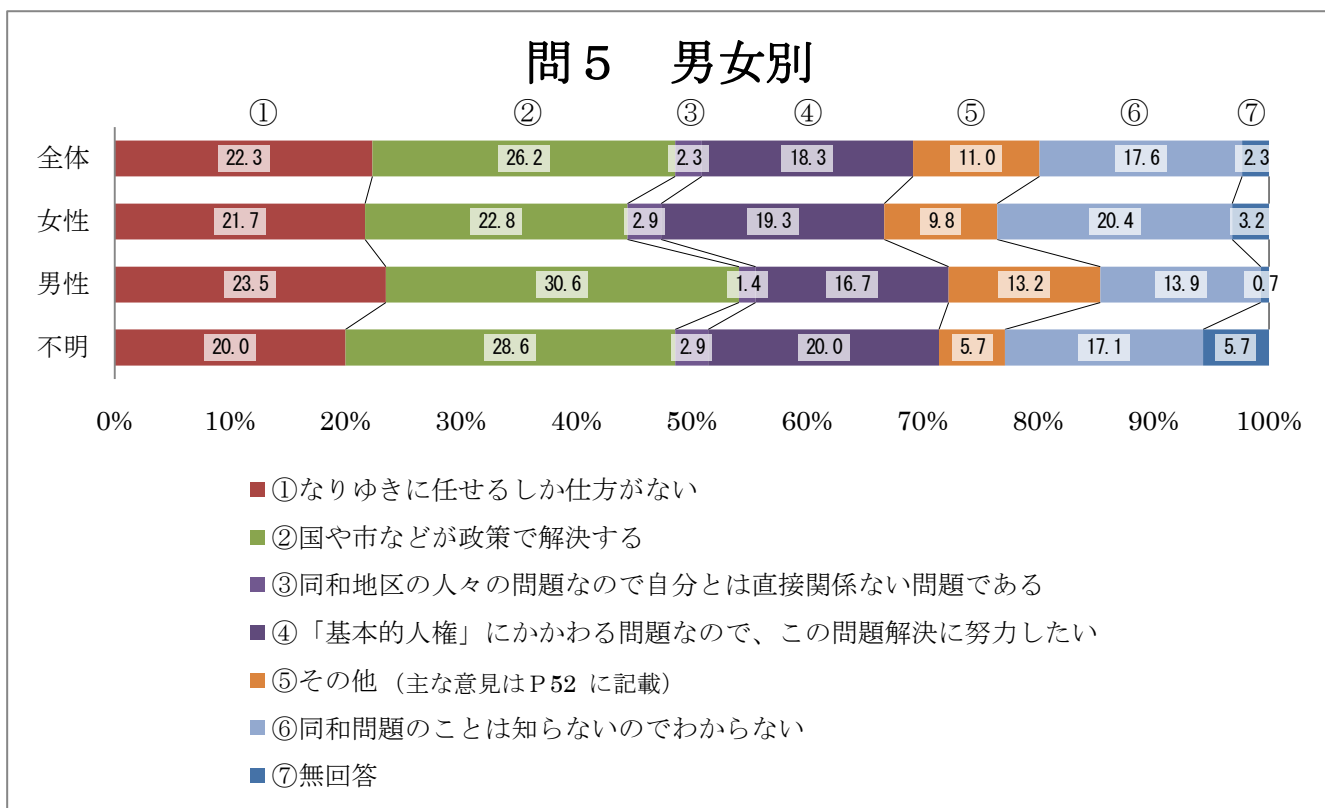


全体では、前回と比較し「①かなりあると思う」「②あると思う」の合計が37.9%で、9.3ポイント増加した一方、「③ほとんどないと思う」「④ないと思う」の合計は42.9%で6.0ポイント減少しました。

男女別では、女性の方が「③ほとんどないと思う」「④ないと思う」の合計は7.1ポイント、「①かなりあると思う」「②あると思う」の合計は3.2ポイント低くなりました。一方、「⑤わからない」は8.7ポイント高くなっています。

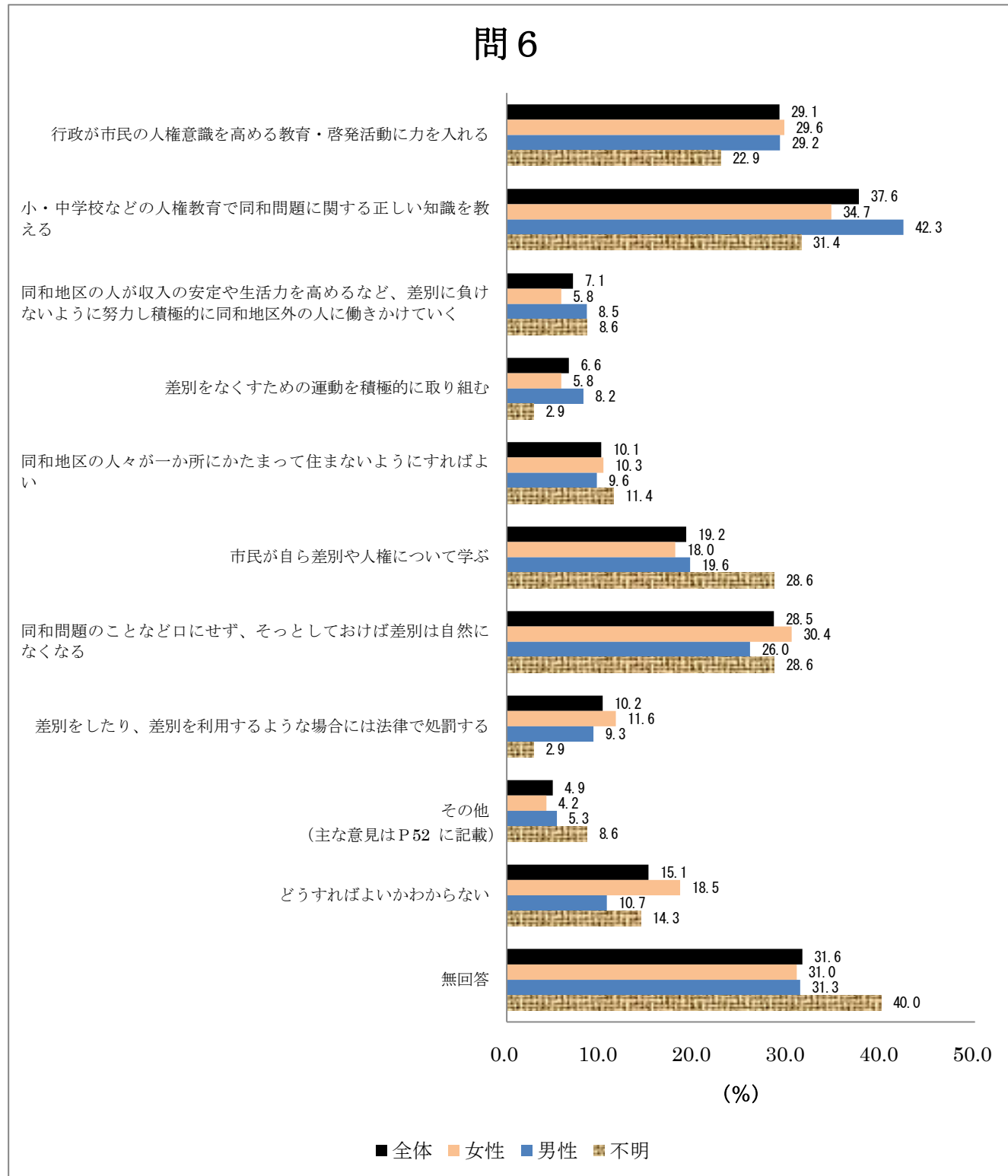
年代別では、50代は「①かなりあると思う」「②あると思う」の合計が42.7%と最も高く、「⑤わからない」は若年層ほど高くなっています。

問5 あなた自身は同和問題とのかかわりについて、どのように考えますか。あなたの考えに近いものを次の中から1つ選んでください。



全体では、「②国や市などが政策で解決する」が26.2%で、最も高くなっています。
 男女別でも、同じ項目が女性22.8%、男性30.6%と最も高くなっています。
 年代別では、同じ項目が30代から60代では最も高くなっています。一方、「⑥わからない」は若
 年層ほど高くなっています。

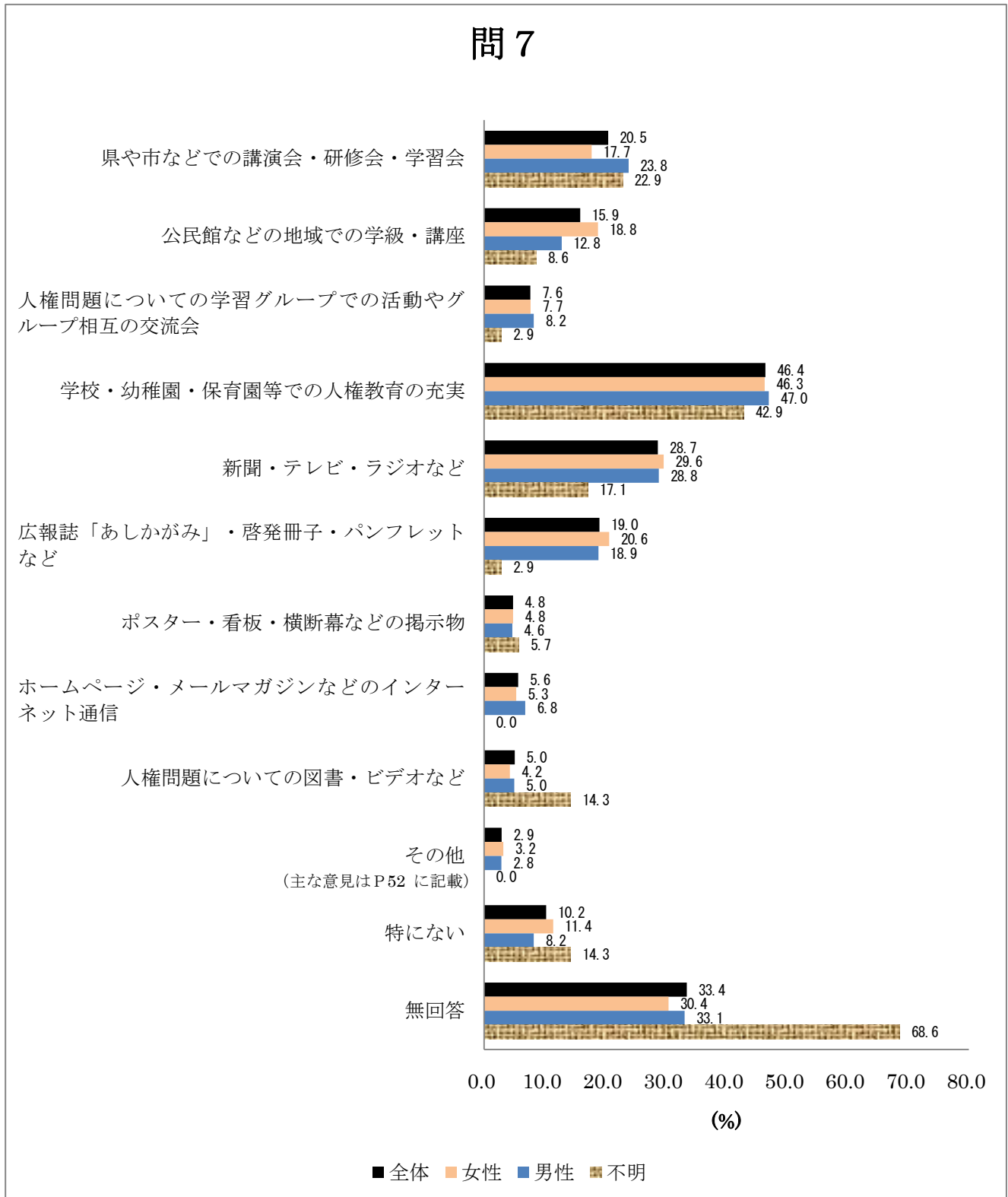
問6 同和問題を解決するためには、どのようなことが重要だと思いますか。次の中から2つまで選んでください。



全体では、「小・中学校などの人権教育で同和問題に関する正しい知識を教える」が37.6%で最も高く、男女別でも同様となっています。

【人権問題への取り組みなど】

問7 あなた自身にとって、人権問題についての理解をより深めるためには、どのような人権教育や啓発が効果的（役立つ）と思いますか。次の中から2つまで選んでください。

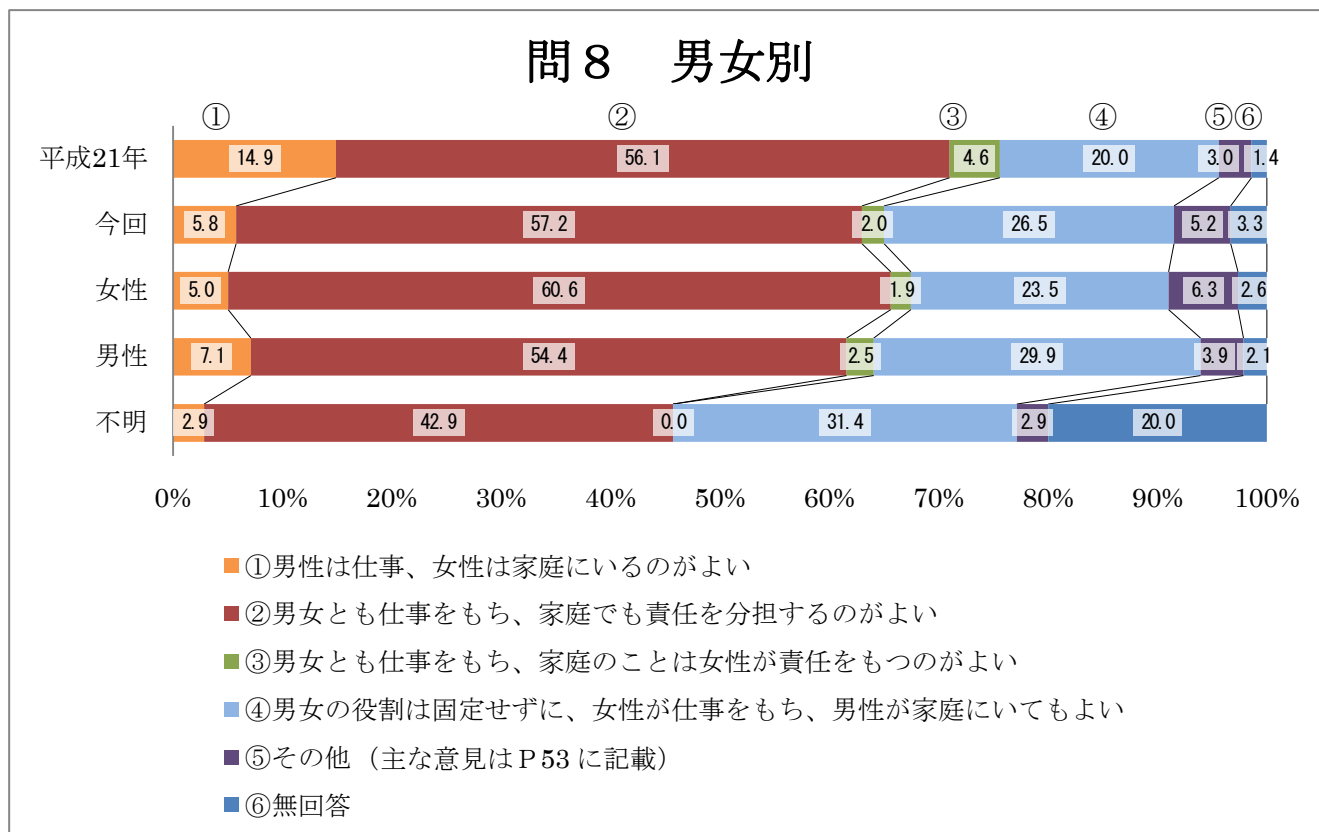


全体では、「学校・幼稚園・保育園等での人権教育の充実」が46.4%で最も高く、男女別でも同様となっています。

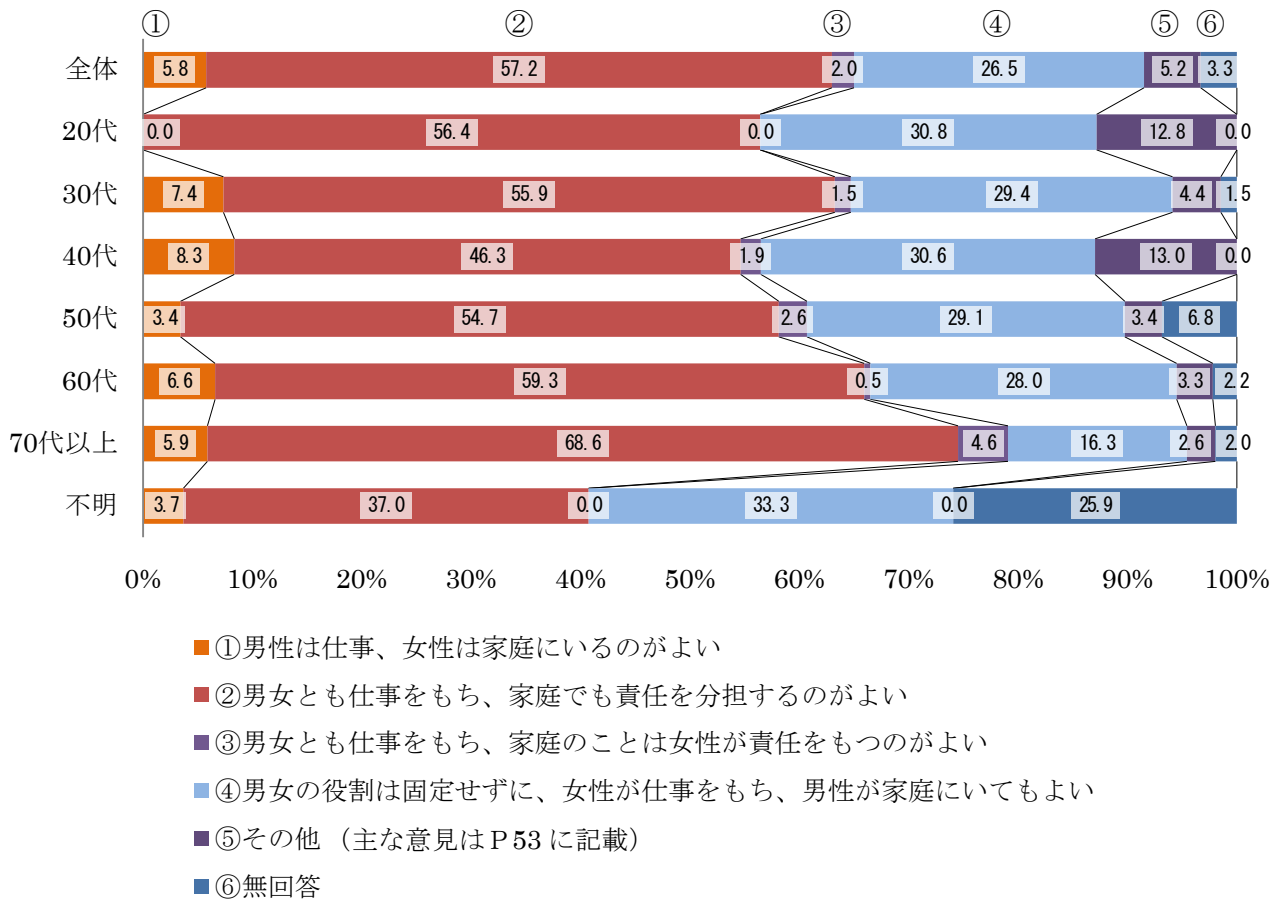
男女共同参画について

【男女の役割意識】

問8 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。
次の中から1つ選んでください。



問8 年代別

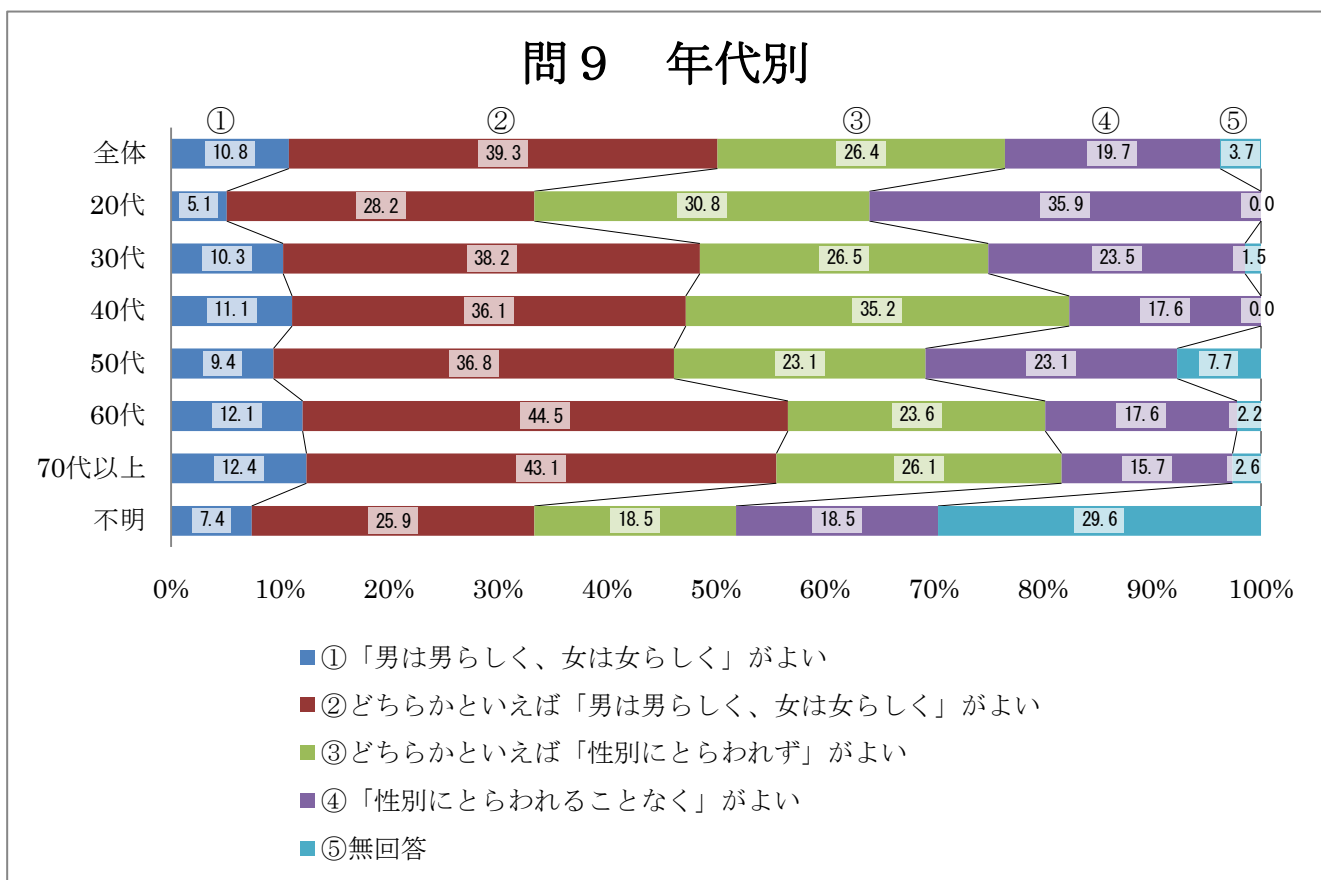
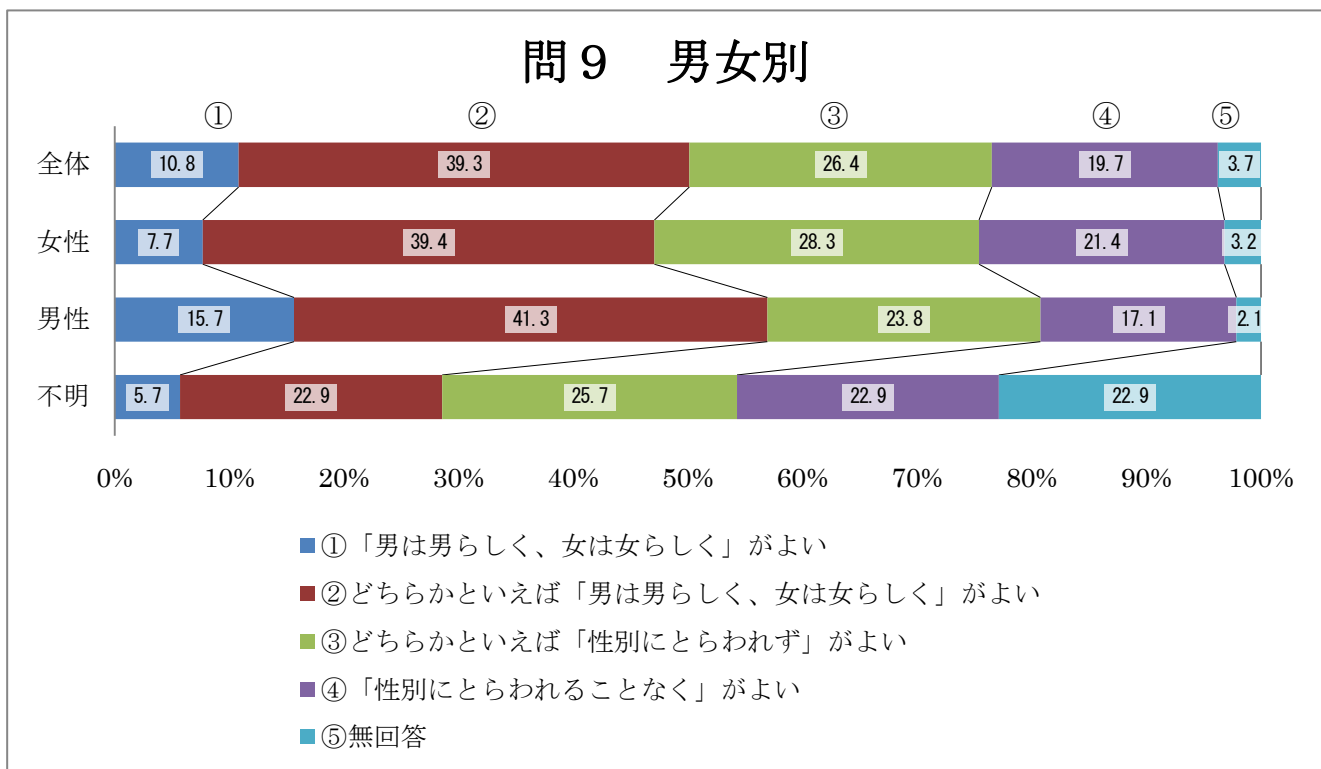


全体では、「②男女とも仕事をもち、家庭でも責任を分担」が57.2%で、前回と比較し、1.1ポイント増、「④男女の役割は固定せずに」も26.5%で6.5ポイント増となった一方、「①男性は仕事、女性は家庭」は5.8%で9.1ポイント減となり、男は仕事、女は家庭という考え方は、薄れてきている傾向にあります。

男女別では、「②男女とも仕事をもち、家庭でも責任を分担」がともに最も高いが、男性の方が6.2ポイント低くなっています。

年代別では、「②男女とも仕事をもち、家庭でも責任を分担」が全ての年代で最も高いが、40代では同じ項目が他の年代よりも低くなっています。

問9 「男の子は男らしく、女の子は女らしく」という考え方がありますが、あなたは
どう思いますか。次の中から1つ選んでください。



全体では、「①男は男らしく、女は女らしく」「②どちらかといえば男は男らしく、女は女らしく」の合計が、50.1%となりました。

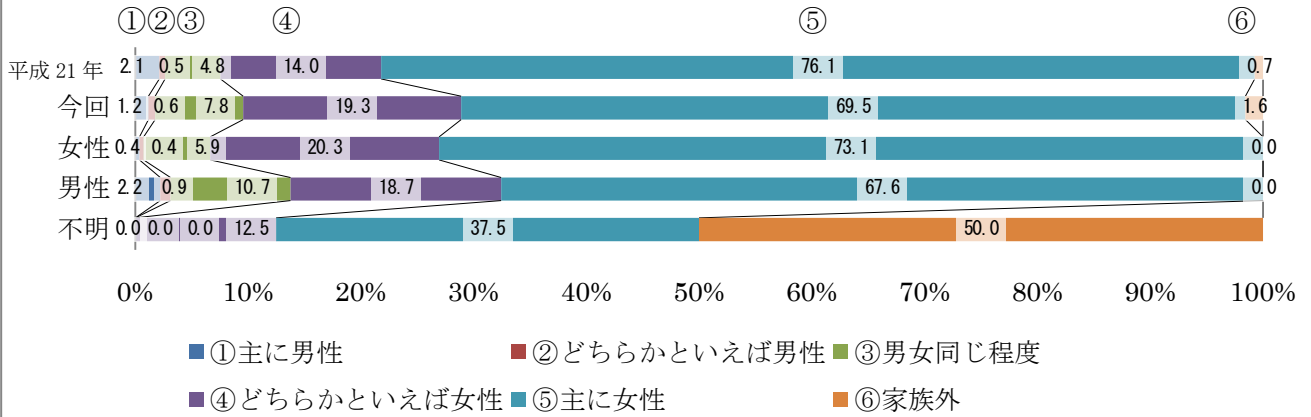
男女別では、「①男は男らしく、女は女らしく」「②どちらかといえば男は男らしく、女は女らしく」ともに男性の方が高くなっています。

年代別では、20代から40代で「①男は男らしく、女は女らしく」「②どちらかといえば男は男らしく、女は女らしく」の合計より、「③どちらかといえば性別にとらわれず」「④性別にとらわれることなく」の合計の方が高くなっています。なかでも20代は、66.7%と最も高く、若い世代で性別にとらわれな
い考えを持つ方が多い傾向にあります。

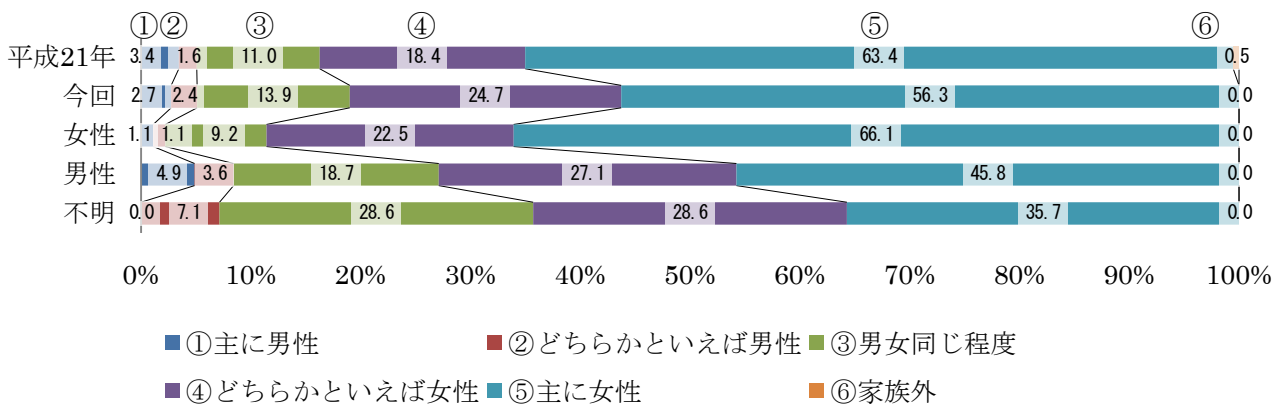
問10 男性と女性の両方がいる世帯の方にお聞きします。
 それ以外の方は、問11へお進みください。
 あなたの家では、次の(1)から(12)の内容について男女のどちらが担っていますか。
 次の中から1つずつ選んでください。

※今回は、男女両方いる世帯に回答者を限定したため、集計の仕方に若干の違いがあります。

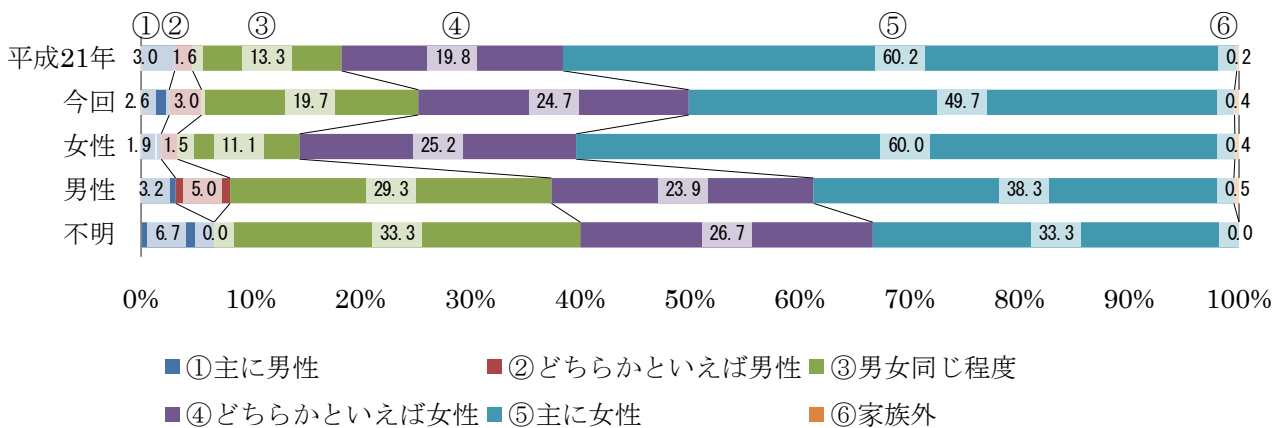
問10(1)食事のしたく



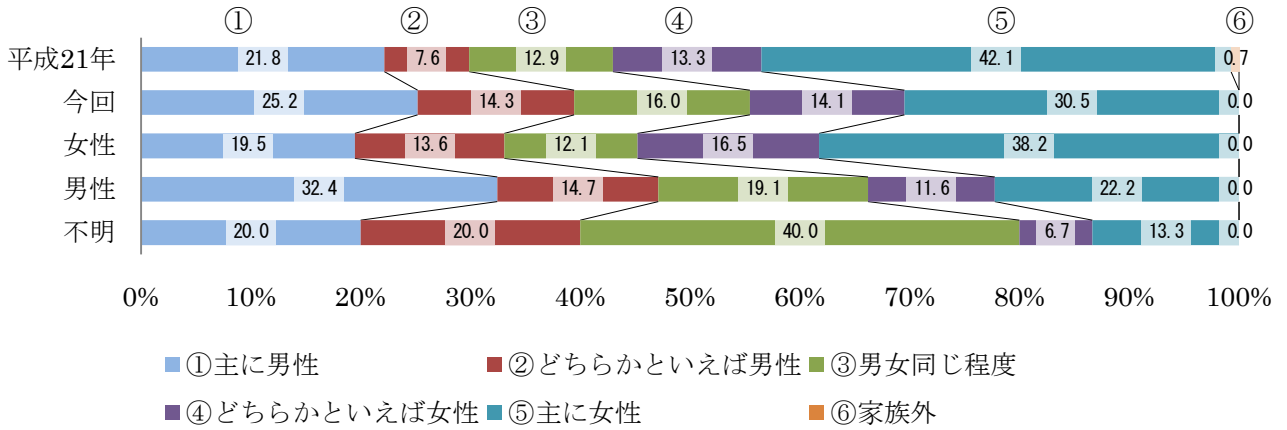
問10(2)食後のかたづけ、食器洗い



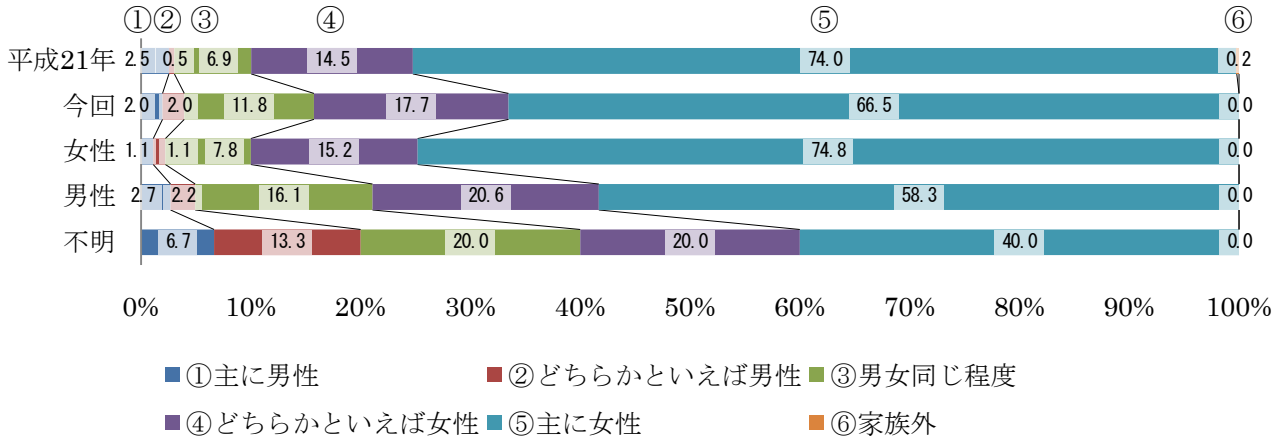
問10(3)そうじ



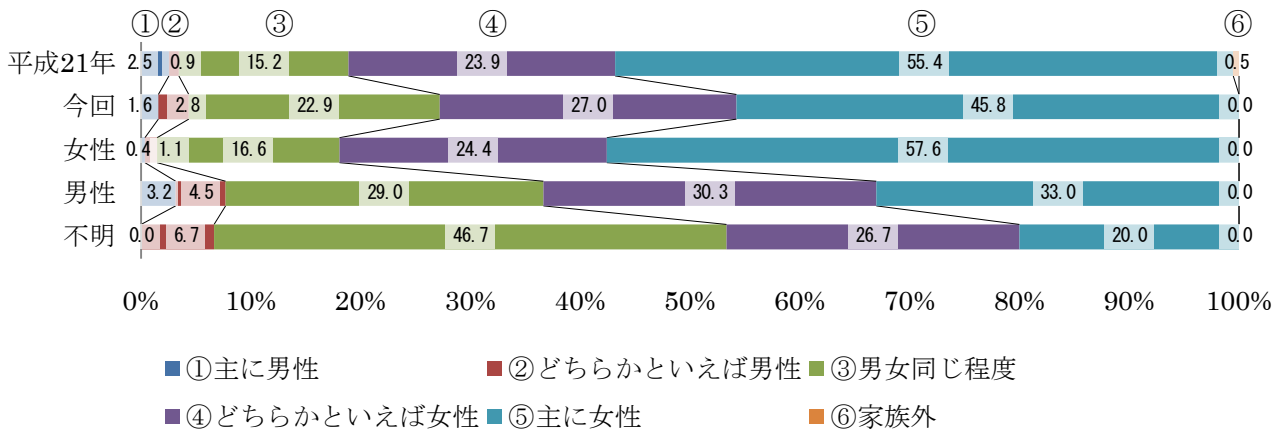
問10(4)ゴミ出し



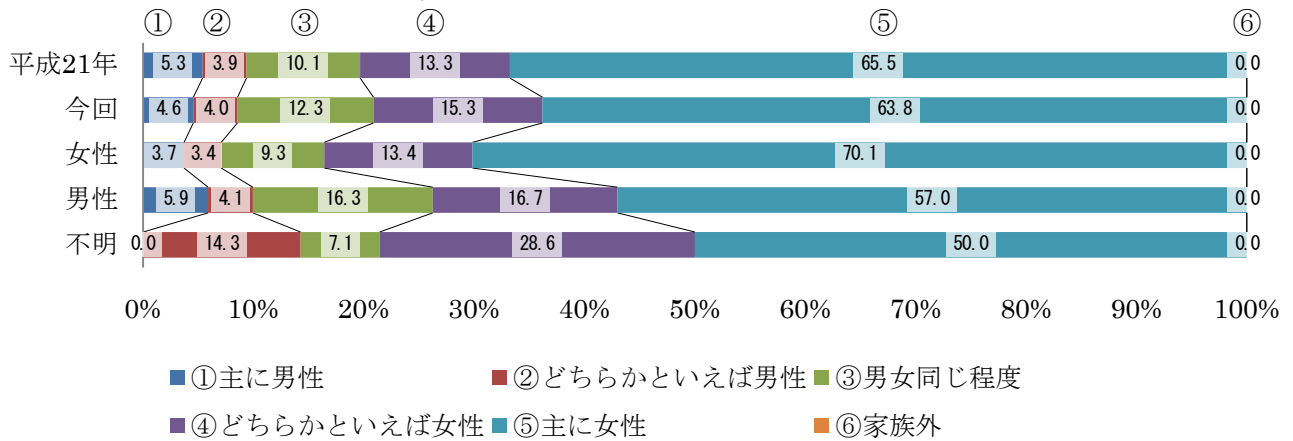
問10(5)洗濯



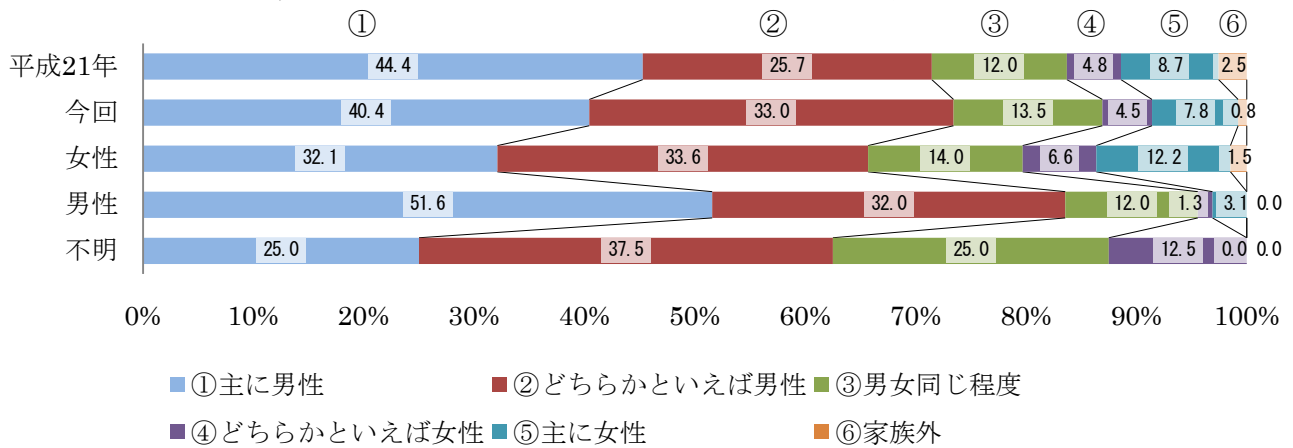
問10(6)食品・日用品の買物



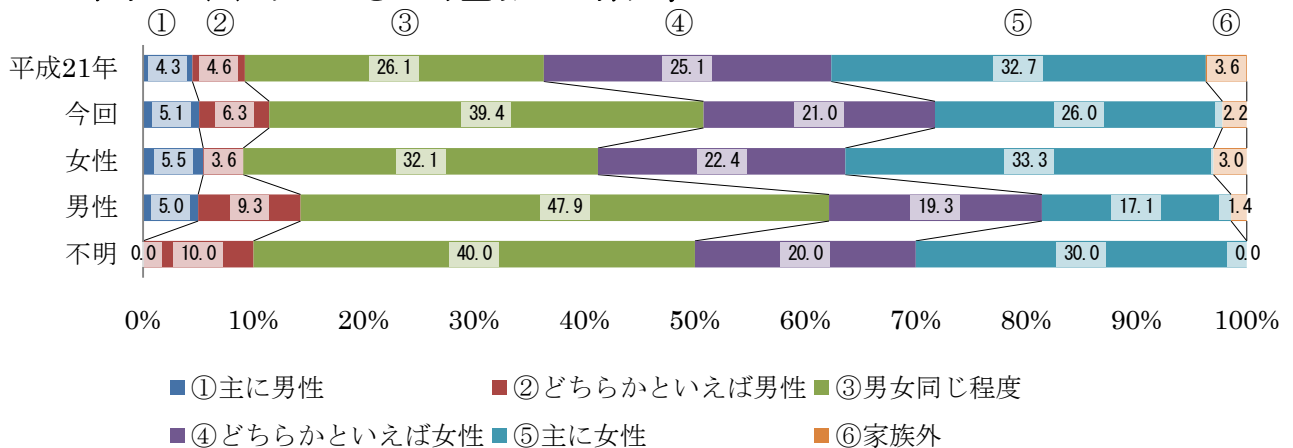
問10(7) 日常の家計の管理



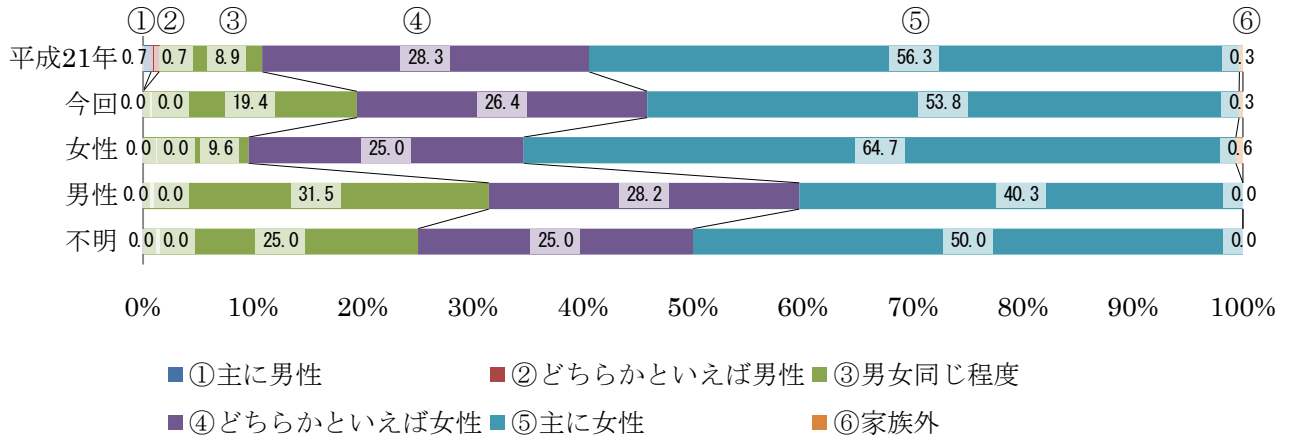
問10(8) 家の中のかんたんな修理・修繕



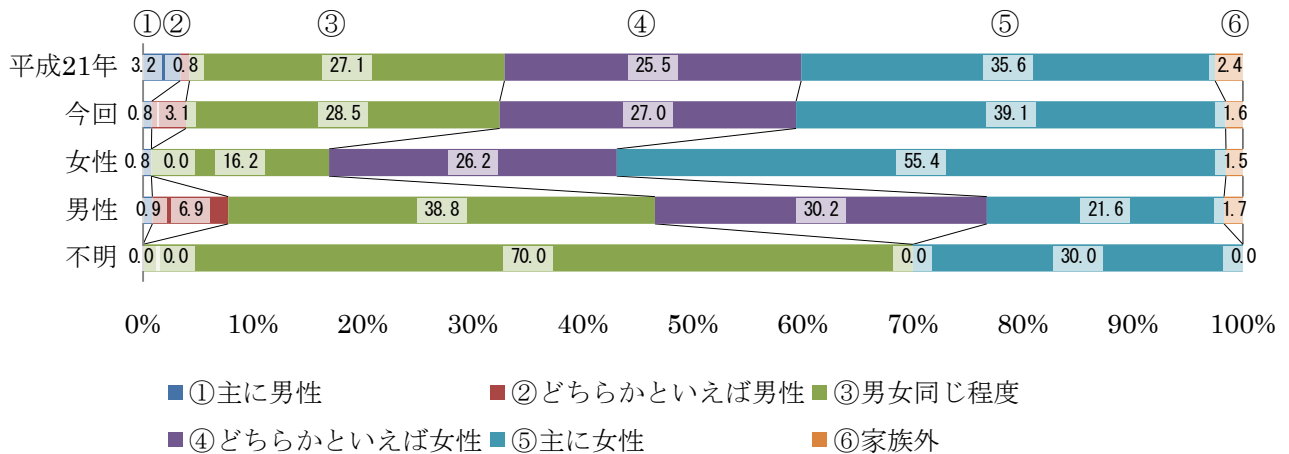
問10(9) 子どもの勉強の指導



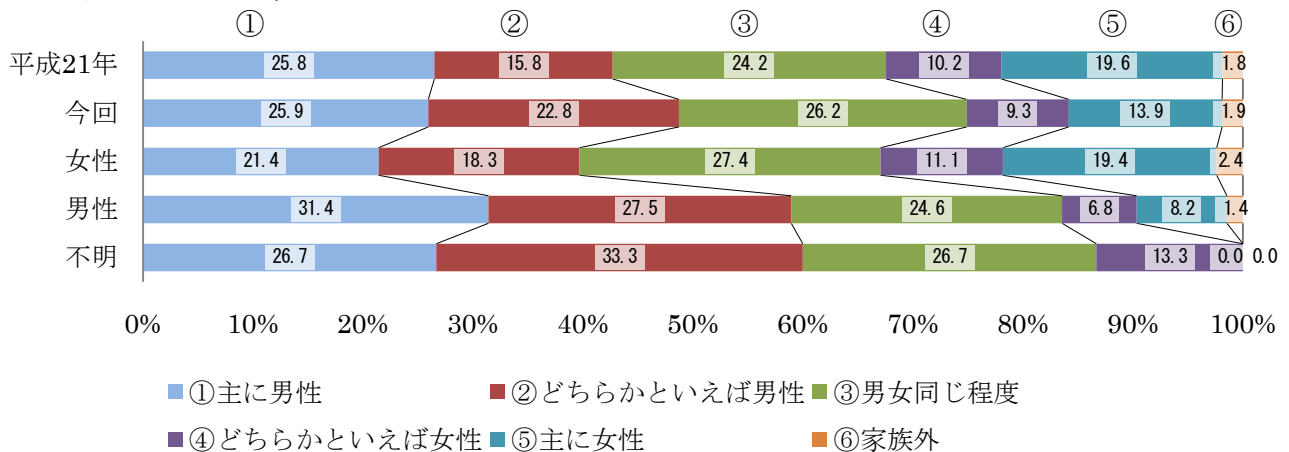
問10(10)乳児・幼児の世話



問10(11)老いた親の世話（介護）



問10(12)庭の手入れ

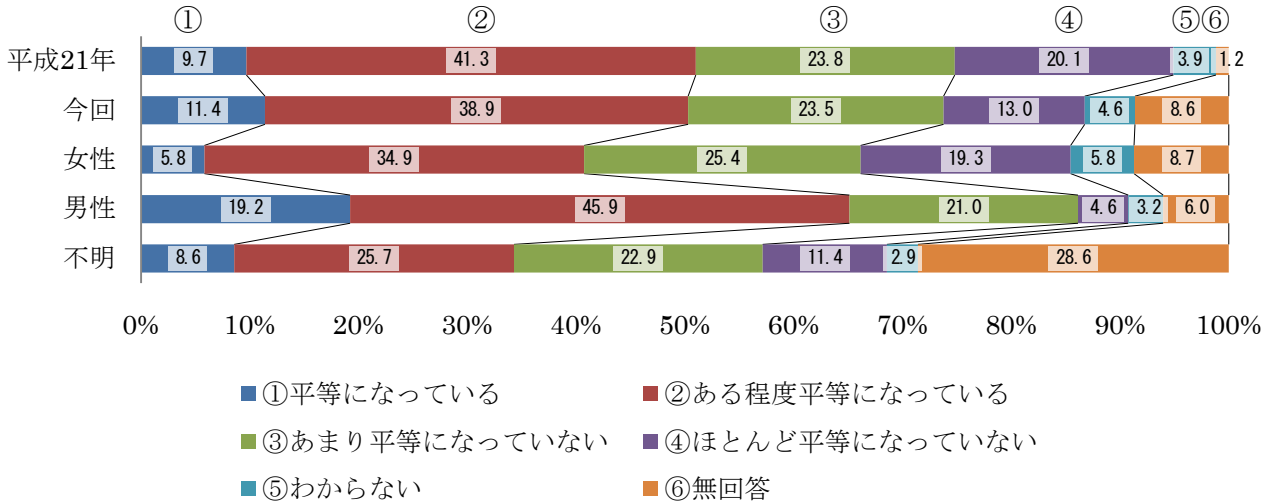


全体では、「(1)食事のしたく」、「(5)洗濯」、「(7)日常の家計の管理」については、「⑤主に女性」が60%を超えており、女性が家事の多くを担っています。しかし、前回と比較し、「(4)ゴミ出し」「(9)子どもの勉強の指導」「(12)庭の手入れ」においては、「①主に男性」が増加し、全ての項目において「③男女同じ程度」が増加するなど、少しずつ男女の協力が進んでいる傾向が読み取れます。

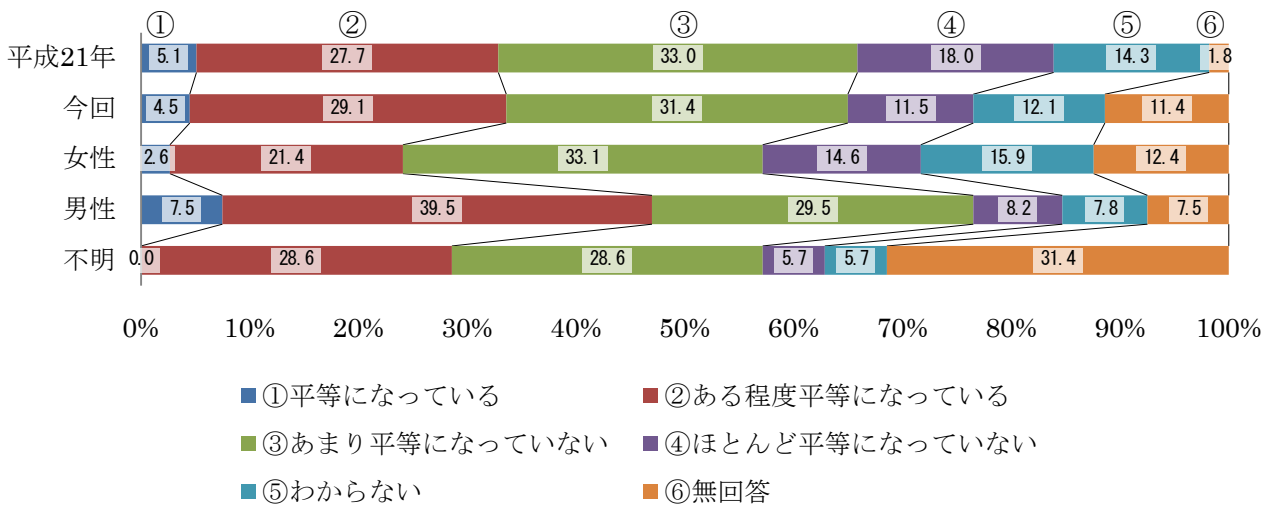
【男女平等】

問 11 あなたは、次の(1)から(6)の分野で、現在、男女平等がどの程度実現されていると思いますか。次の中から1つずつ選んでください。

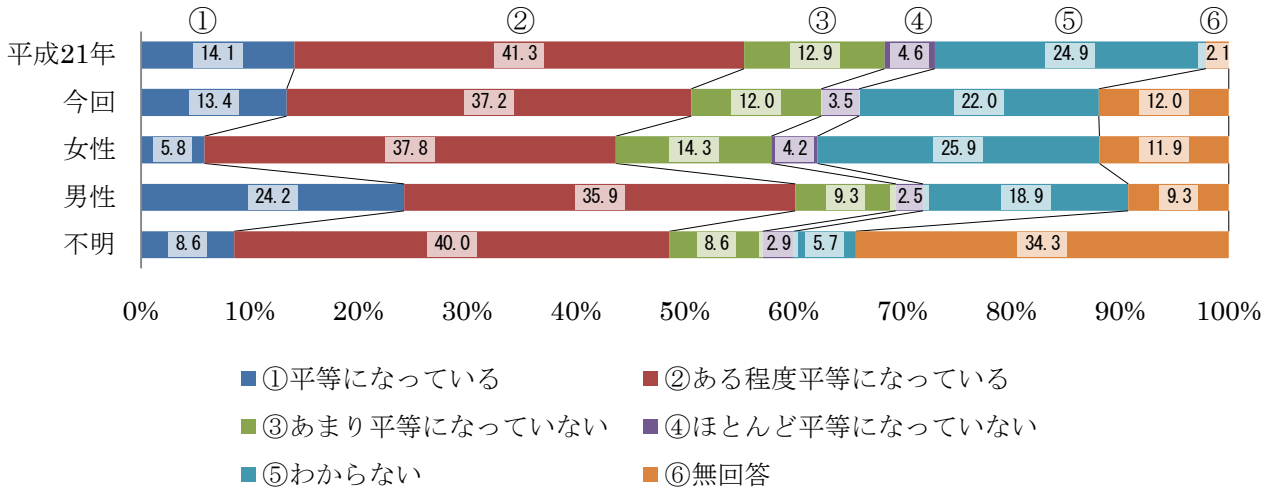
問11(1)家庭生活の中で



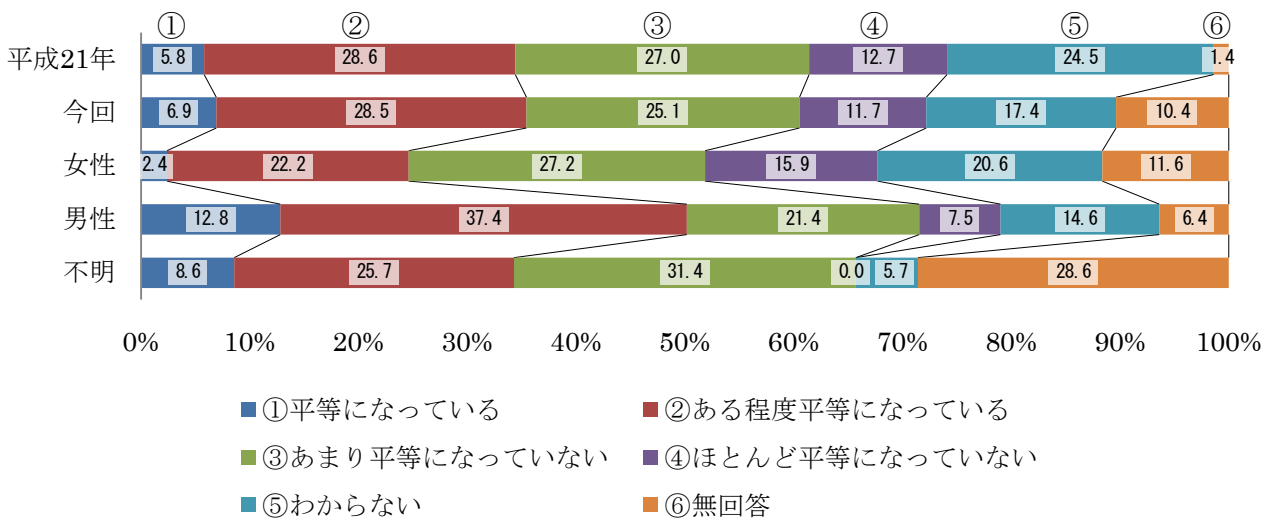
問11(2)就職の機会や職場の中で



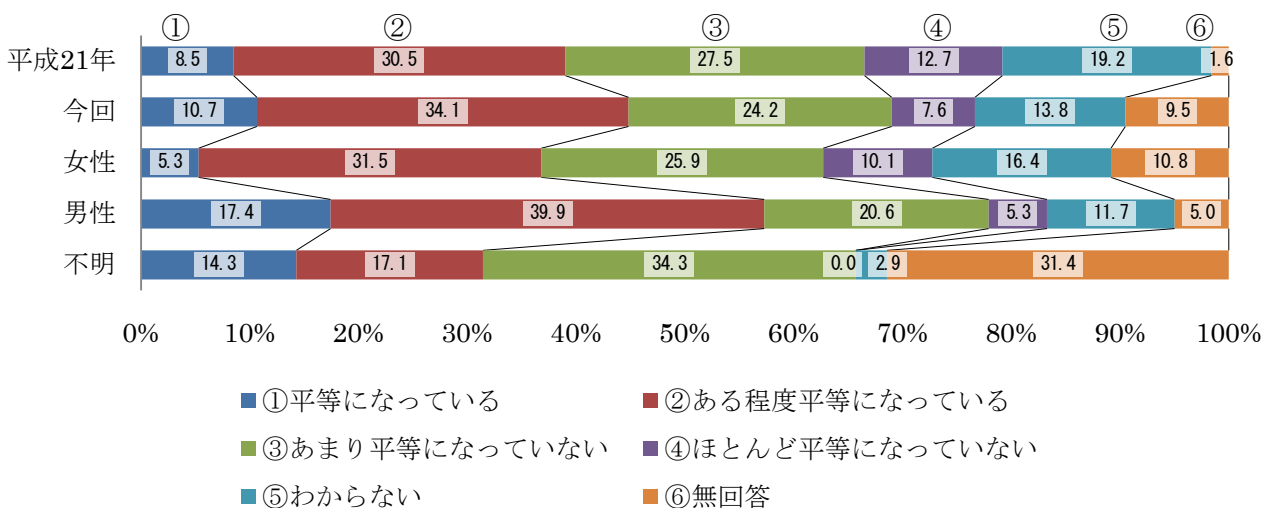
問11(3)学校教育の場で



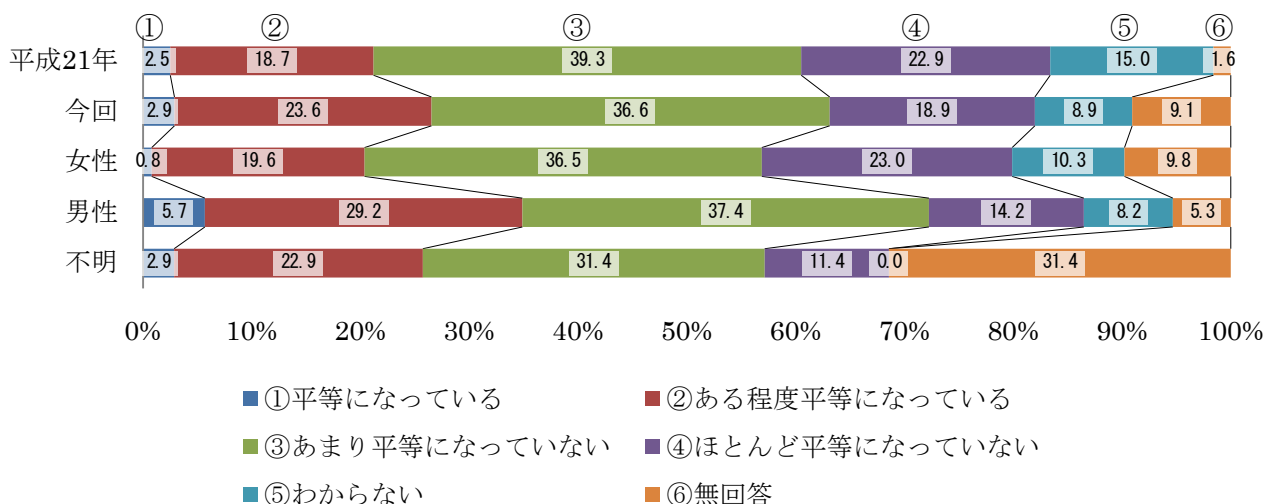
問11(4)自治会等の中で



問11(5)法律や制度の上で



問11(6)社会通念・慣習・しきたりなどで

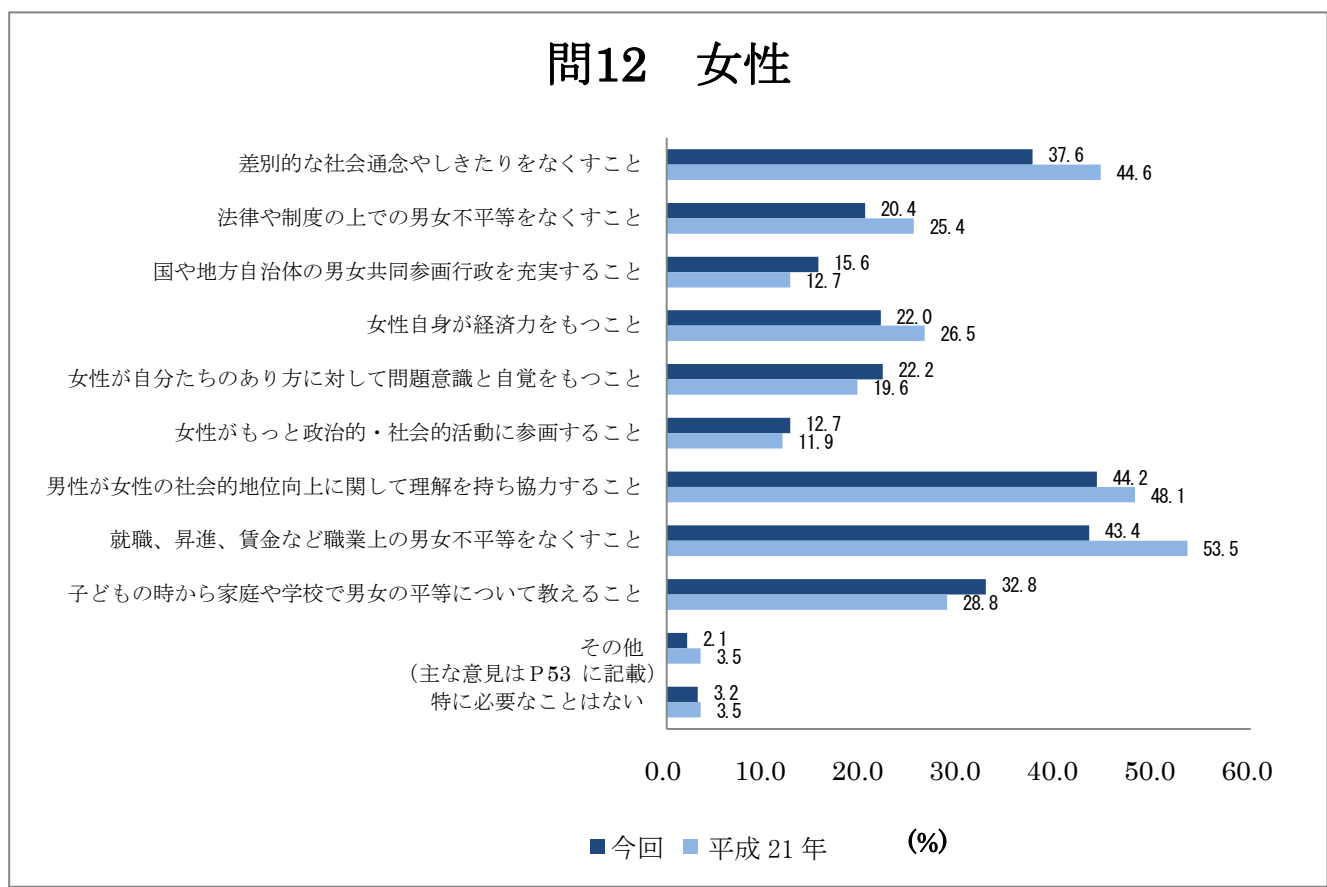
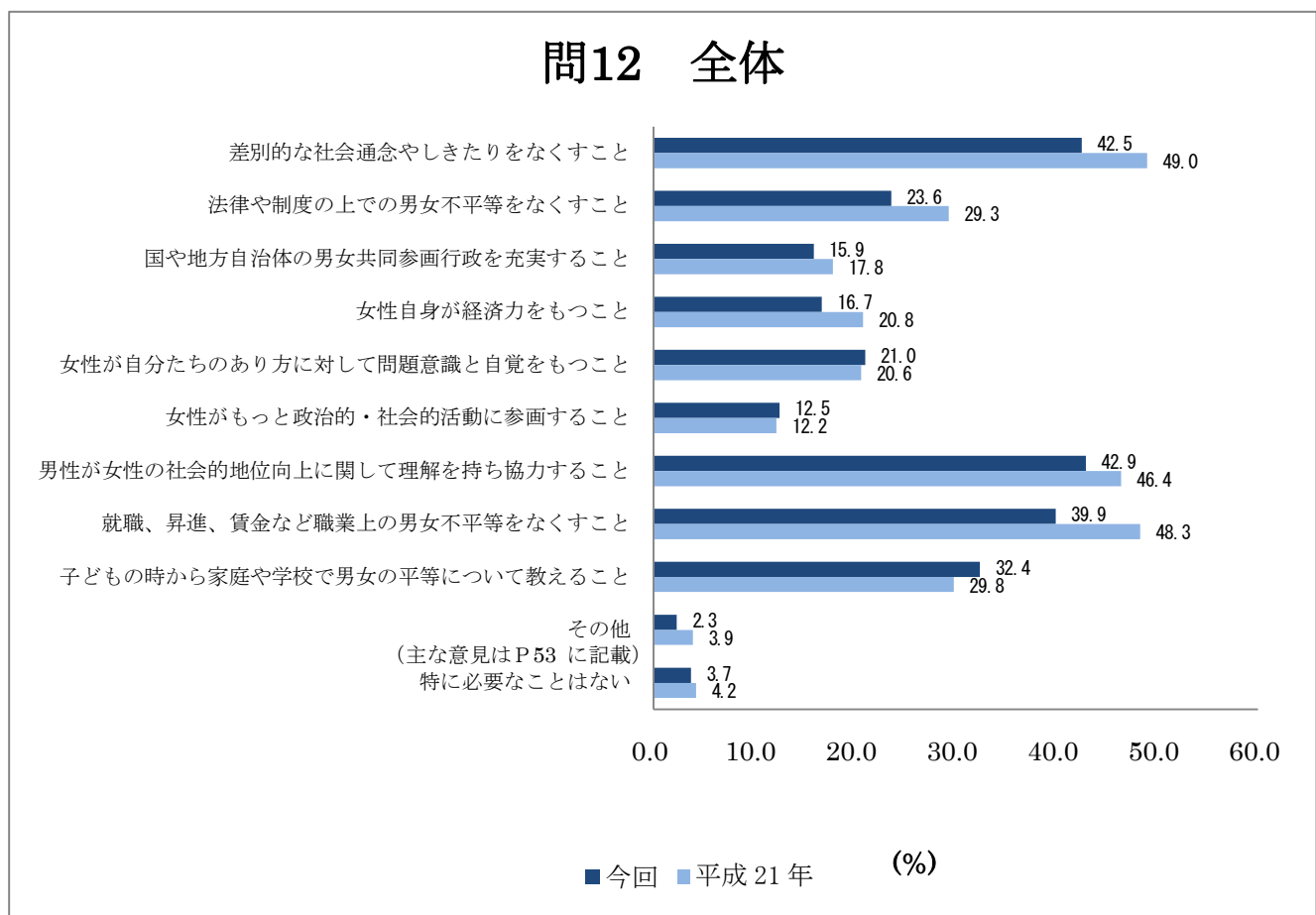


全体では、「①平等になっている」「②ある程度平等になっている」の合計が最も高いのは、「(3) 学校教育の場で」50.6%で、最も低いのは「(6) 社会通念・慣習・しきたりなどで」26.5%となっています。

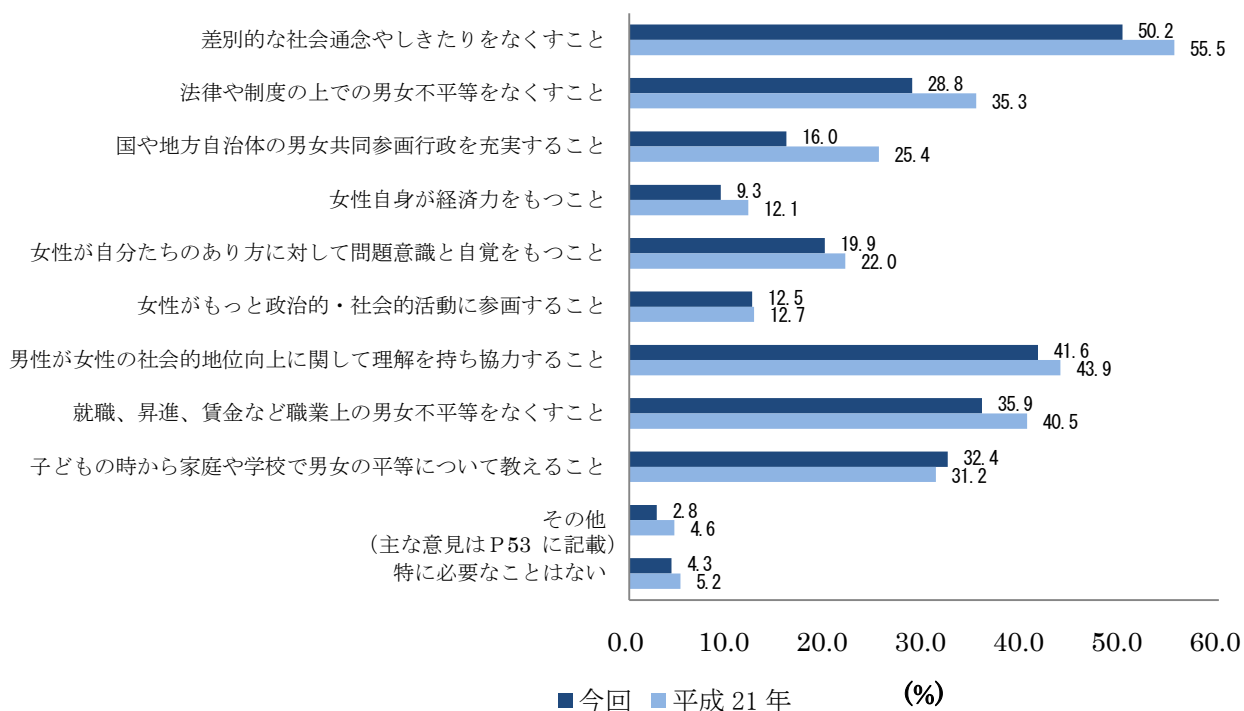
前回と比較し、「(2) 就職の機会や職場の中で」「(4) 自治会等の中で」「(5) 法律や制度の上で」「(6) 社会通念・慣習・しきたりなどで」において、「①平等になっている」「②ある程度平等になっている」の合計が増加しました。

男女別では、男性の方が「①平等になっている」「②ある程度平等になっている」の合計が全ての項目において高くなっています。

問12 男女平等の実現のために、今後どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。



問12 男性

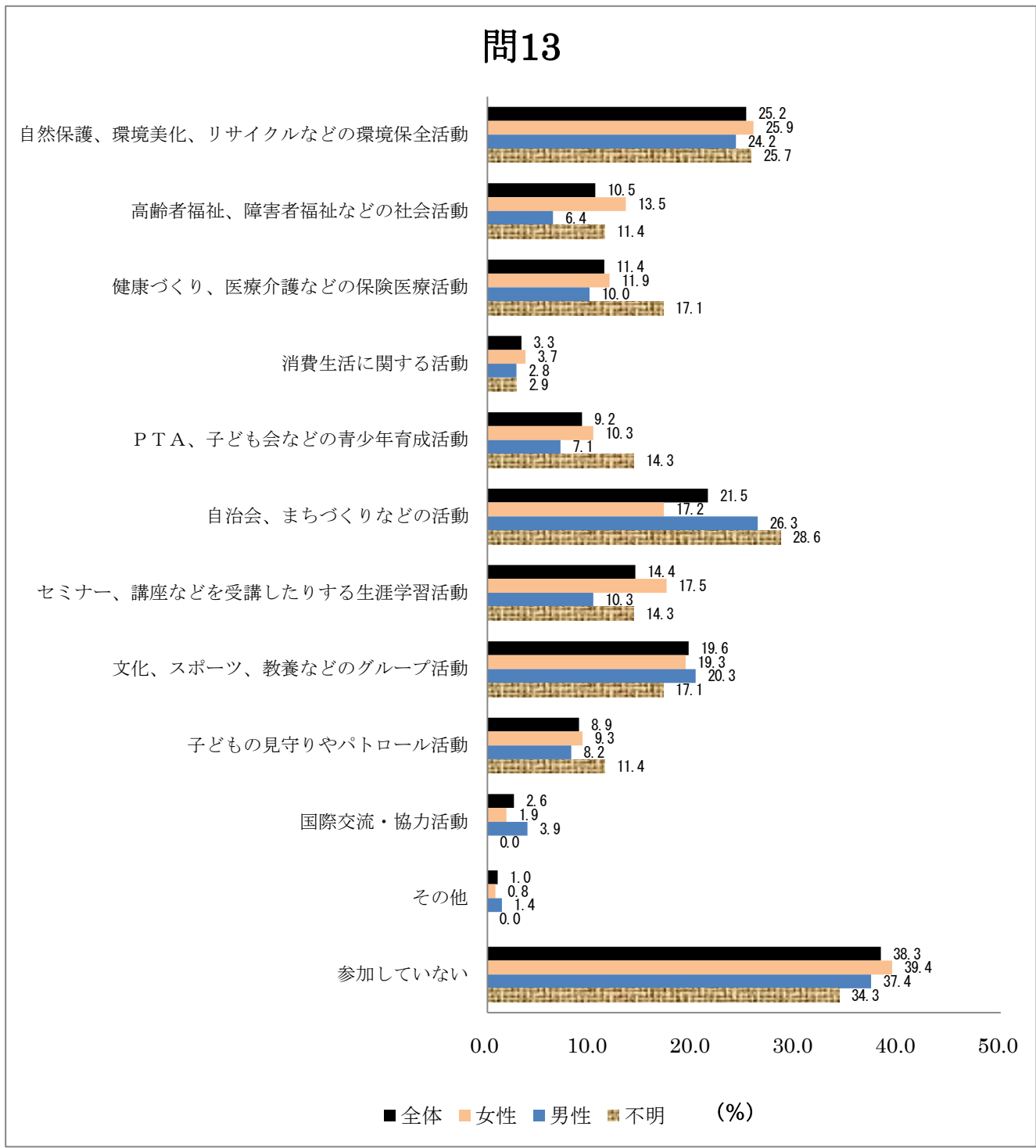


全体では、「男性が女性の社会的地位向上に理解・協力すること」が42.9%、「差別的な社会通念やしきたりをなくすこと」が42.5%、「職業上の男女不平等をなくすこと」が39.9%で上位3項目となり、前回同様の傾向となりました。

男女別では、女性は「男性が女性の社会的地位向上に理解・協力すること」が44.2%、男性は「差別的な社会通念やしきたりをなくすこと」が50.2%と最も高くなりました。

【地域・社会参画】

問13 あなたは、次にあげるような活動をしていますか。次の中から選んでください。
(いくつでも可)



全体では、「環境保全活動」が25.2%で最も高く、次いで「まちづくり活動」が21.5%となっています。

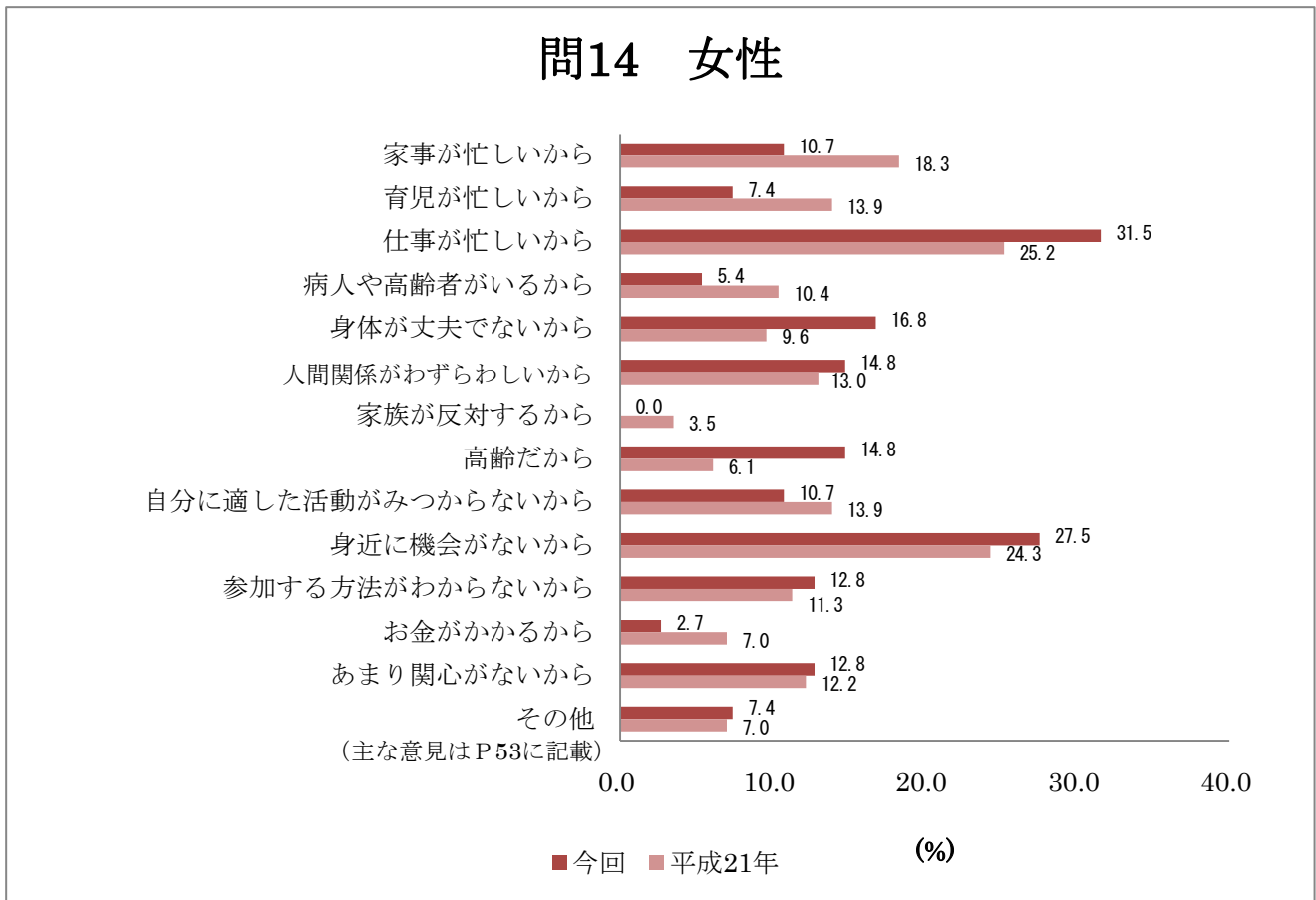
男女別では、女性は「環境保全活動」が25.9%、男性は「まちづくり活動」が26.3%と最も高くなっています。

「環境保全活動」は男女の差がほとんどありませんが、「まちづくり活動」については女性の方が9.1ポイント低くなっており、女性の「まちづくり活動」への参画が少ないことが読み取れます。

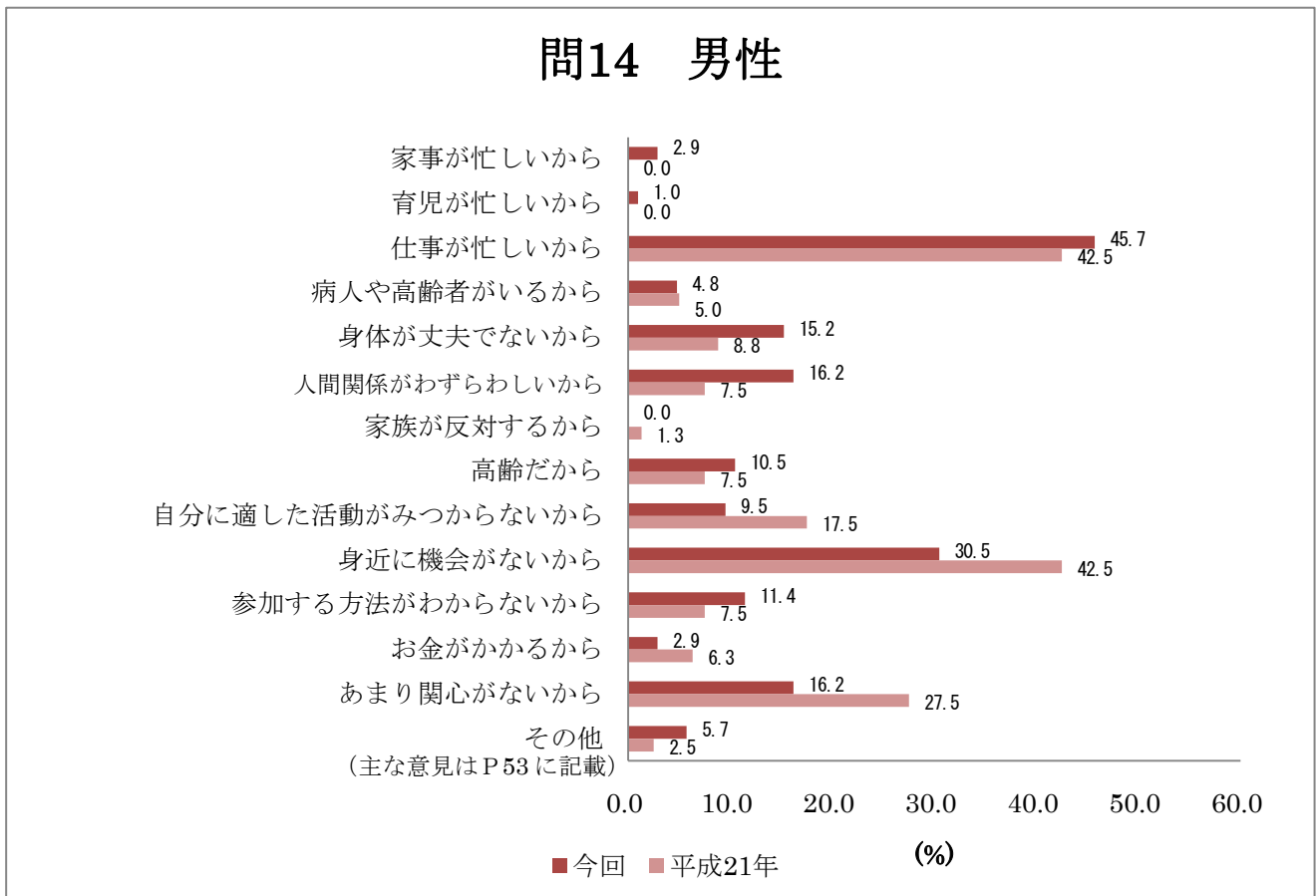
問 14 (問 13 で「12 参加していない」と回答した方におたずねします。)

あなたが社会活動に参加していない理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

※分母は問 13 で「参加していない」と回答した人数 149



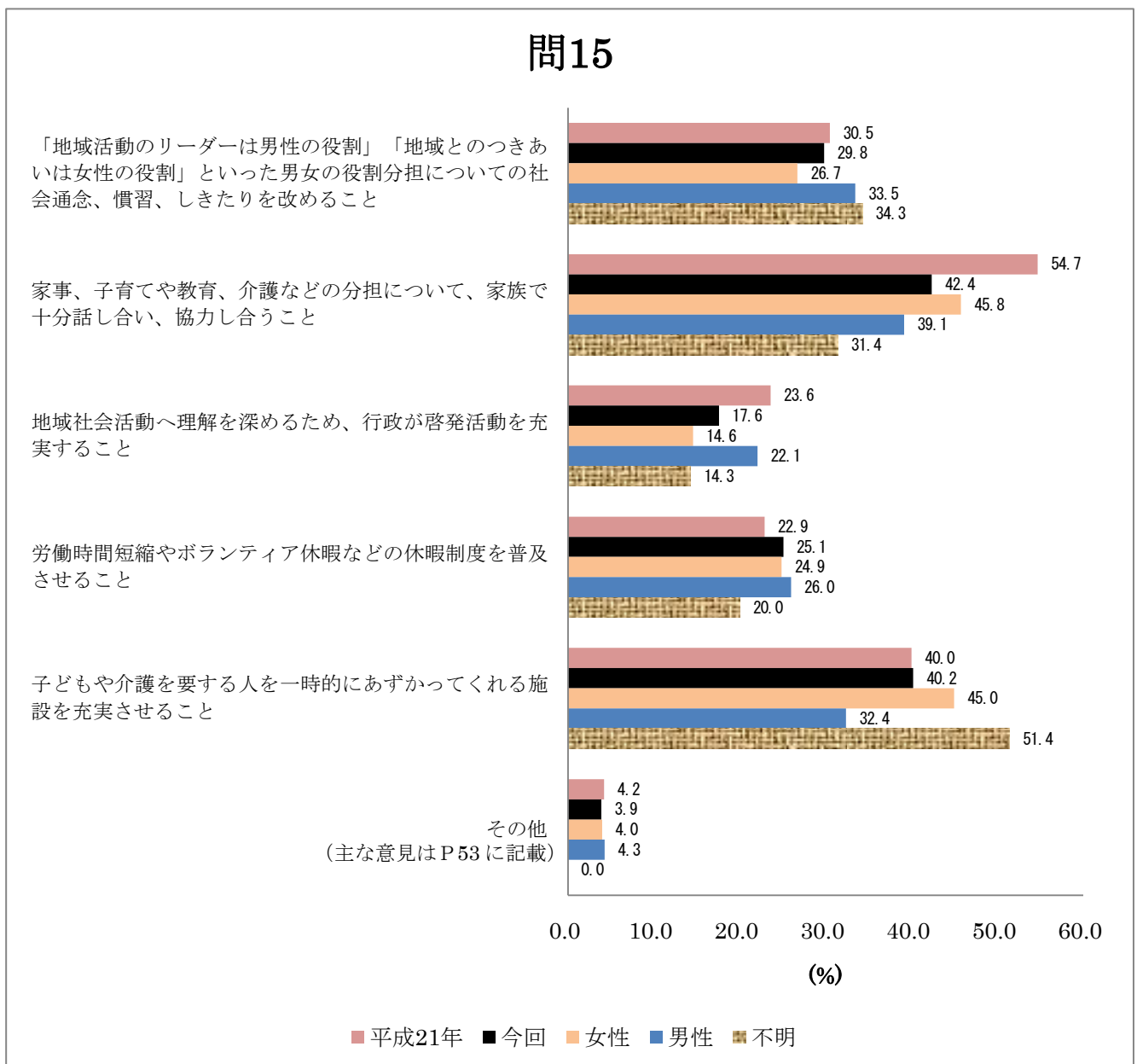
※分母は問 13 で「参加していない」と回答した人数 105



男女別では、「仕事が忙しいから」が最も高く、次いで「身近に機会がない」が高くなっており、前回同様の傾向になりました。しかし、「仕事が忙しいから」は前回と比較して男性に大きな変化はないものの、女性では6.3ポイント増となり、仕事の忙しさから社会活動の時間が持てない女性が増えていくことが読み取れます。

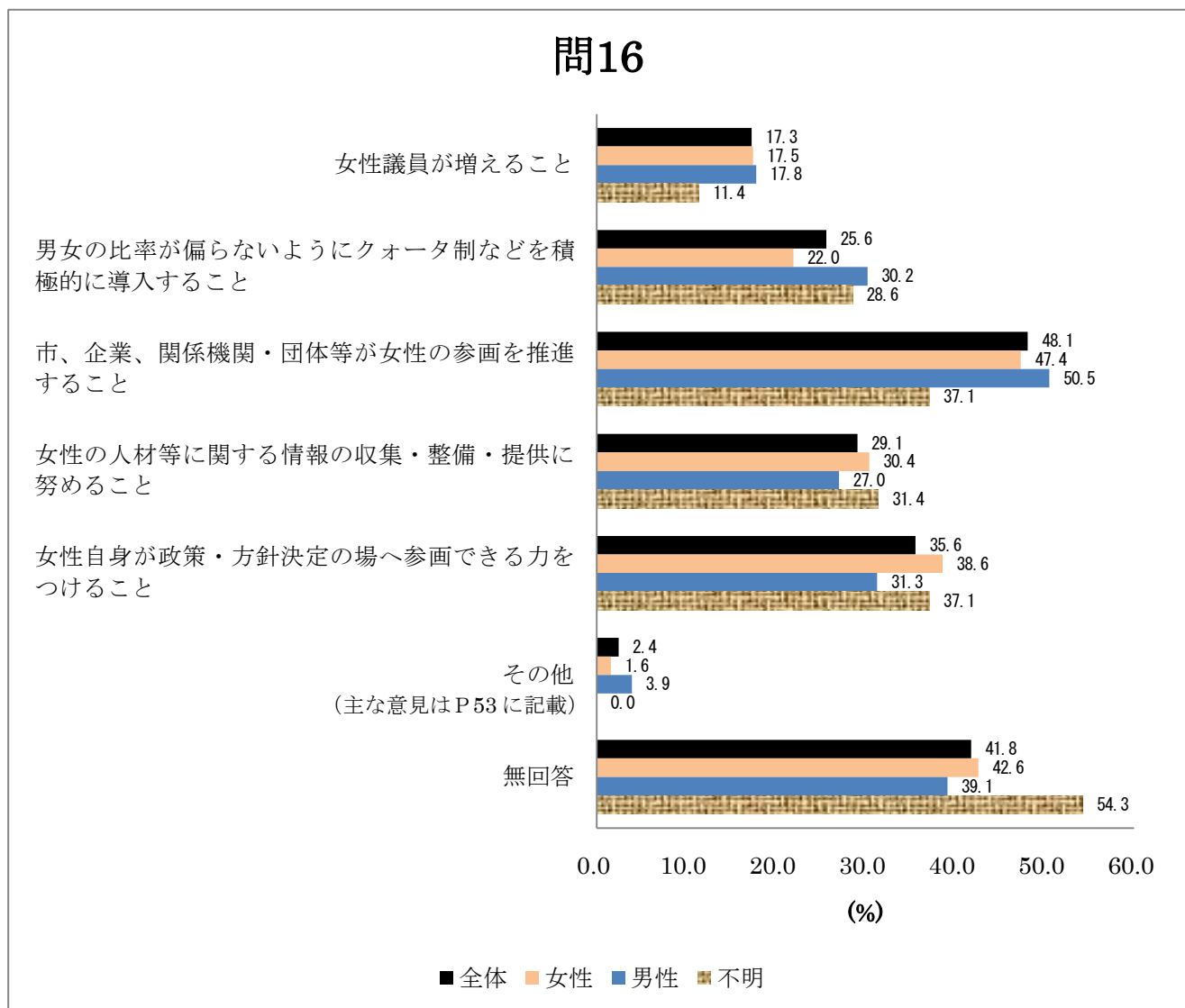
また、男性で前回0.0%だった「家事が忙しいから」「育児が忙しいから」は、それぞれ2.9%、1.0%となり、僅かながら増加しました。

問15 女性も男性も、それぞれの個性や能力を生かし、より積極的に地域の団体やサークルの活動に参加できるようにしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から2つまで選んでください。



全体では、「家族で十分話し合い、協力し合うこと」42.4%、「施設を充実させること」40.2%、「男女の役割分担についての社会通念を改めること」29.8%が上位3項目となり、前回同様の傾向となりました。しかし、「家族で話し合い、協力し合うこと」は、前回から12.3ポイント減少し上位2項目の差が少なくなっています。

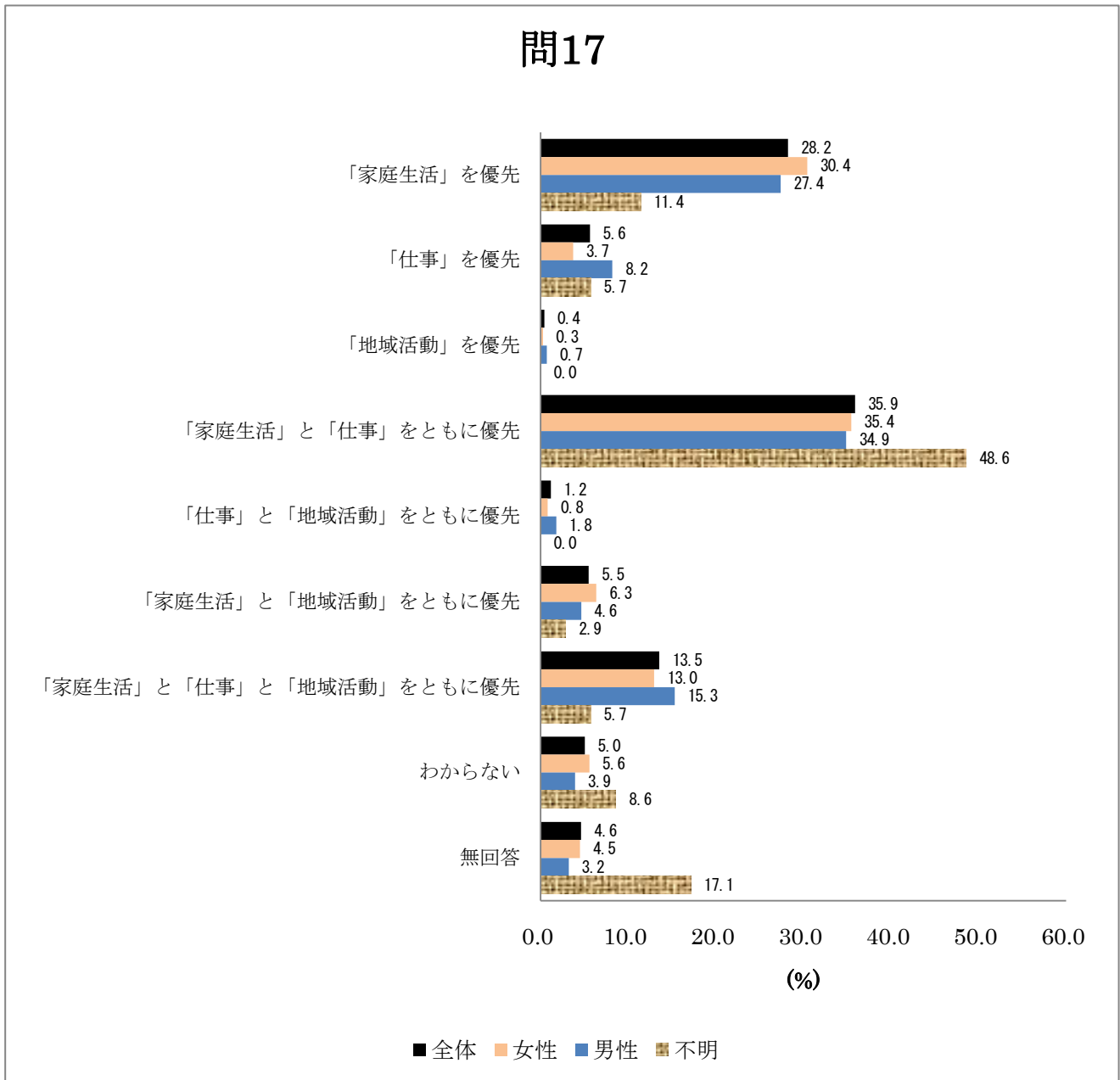
問 16 行政、企業、団体等における政策・方針決定の場への女性の参画（企画の段階から参加すること）をすすめるために、あなたはどのようなことが必要だと思いか。次の中から2つまで選んでください。



全体では、「市、企業、関係機関・団体等が女性の参画を推進すること」が48.1%で最も高く、男女別でも、同じ項目が、女性47.4%、男性50.5%と最も高くなっています。次いで高い割合を占めた「女性自身が政策・方針決定の場へ参画できる力をつけること」は、女性の方が7.3ポイント高く、自ら参画できる力をつけることの必要性を感じている女性が多いことが読み取れます。

【ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）】

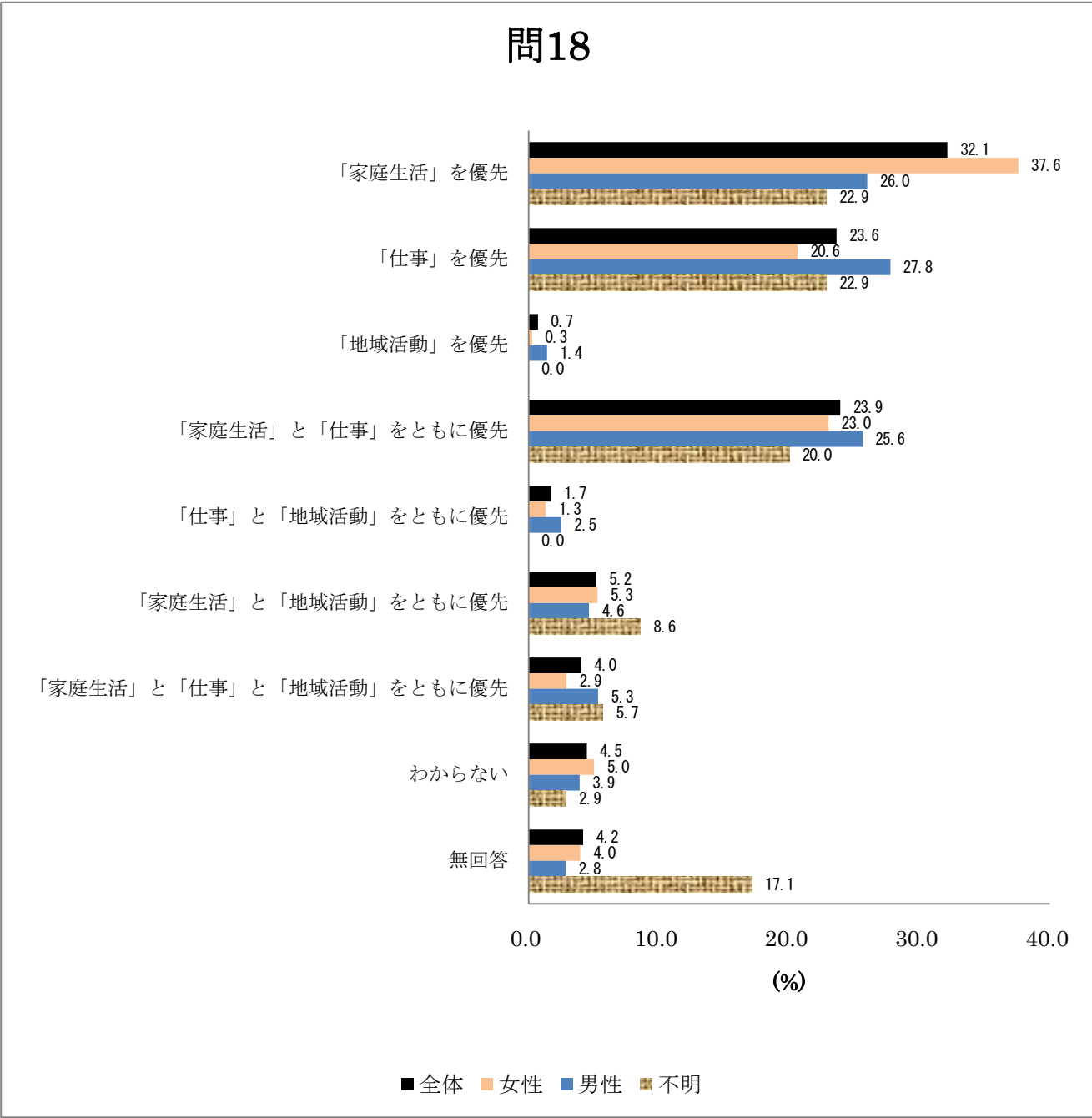
問17 生活の中で、「家庭生活」、「仕事」、「地域活動」の優先度について、あなたの希望に最も近いものを次の中から1つ選んでください。



全体では、「家庭生活と仕事をともに優先」が35.9%で最も高く、男女別でも同様となっており、仕事と家庭の両立を望む意見が多くなっています。

次いで「家庭生活を優先」が、男女ともに女性30.4%、男性27.4%と高くなっており、「仕事を優先」を上回りました。

問 18 生活の中で、「家庭生活」、「仕事」、「地域活動」の優先度について、あなたが現実に優先しているものを次の中から1つ選んでください。

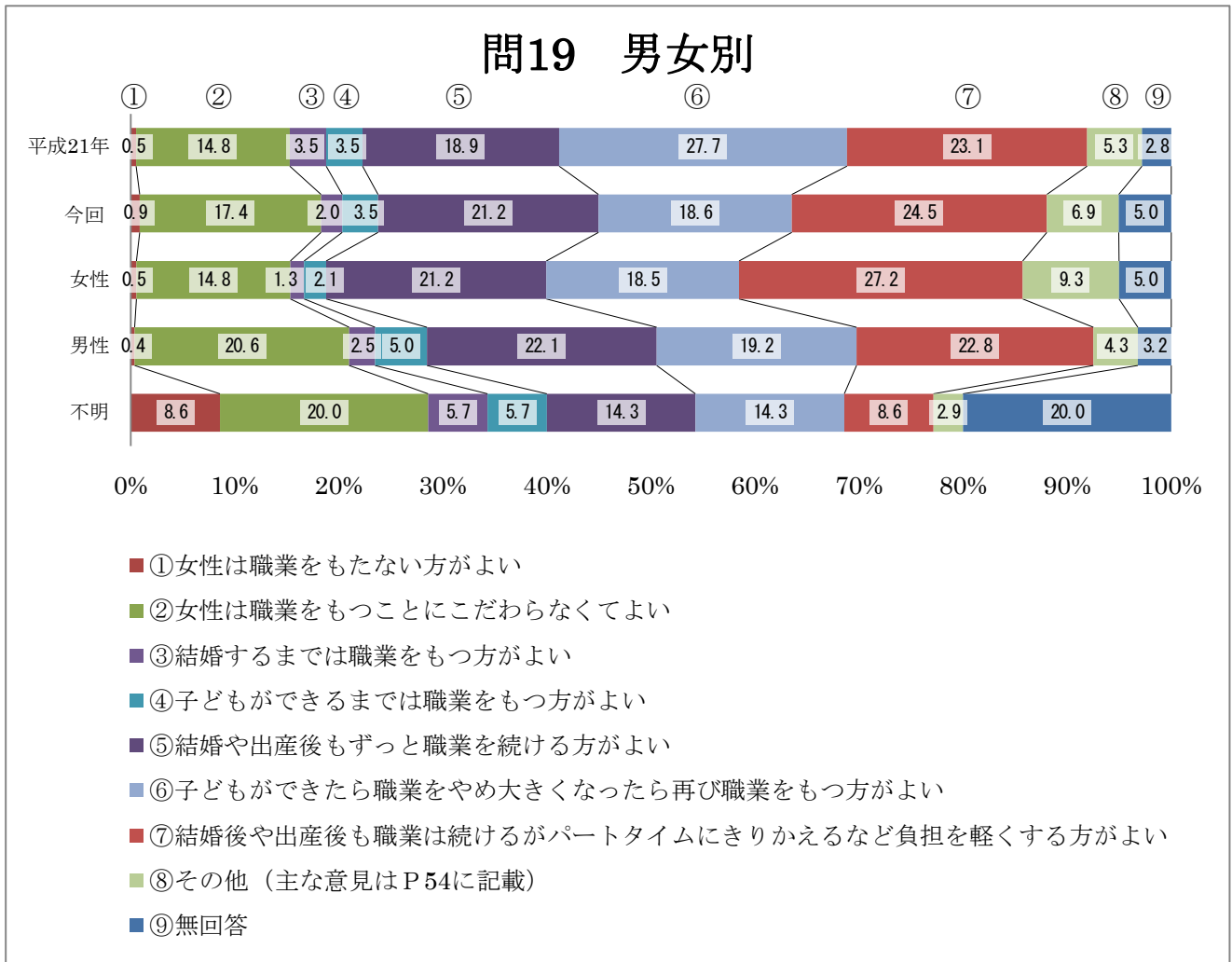


全体では、「家庭生活を優先」が32.1%で最も高く、男女別では、女性は「家庭生活を優先」が37.6%、男性は「仕事を優先」が27.8%で最も高くなっています。

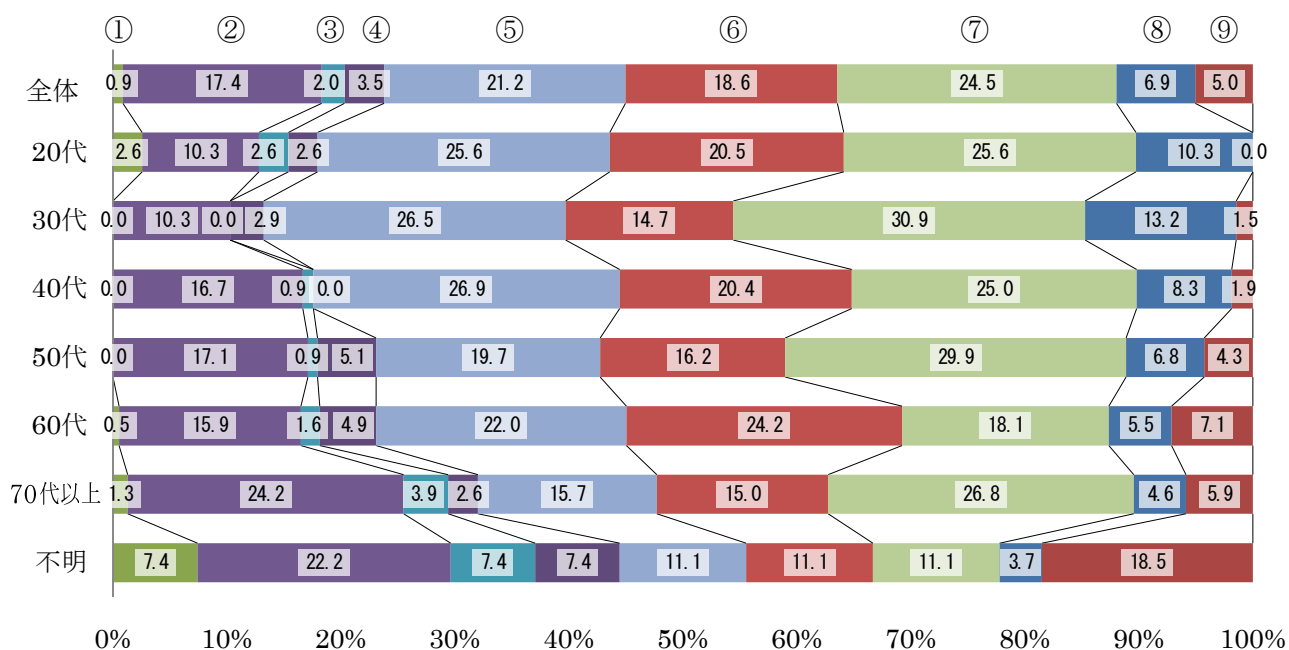
問 17(希望)の結果では、「家庭生活と仕事をともに優先」が最も高かったのに対し、現実には、女性は「家庭生活」、男性は「仕事」を優先している傾向にあります。また、「仕事を優先」を希望するは、女性3.7%、男性8.2%と低かったのですが、現実には女性20.6%、男性27.8%と16ポイント以上高くなっており、希望と現実には大きな開きがあります。

【女性が働くこと】

問 19 あなたは、女性の働き方についてどう思いますか。次の中から1つ選んでください。



問19 年代別

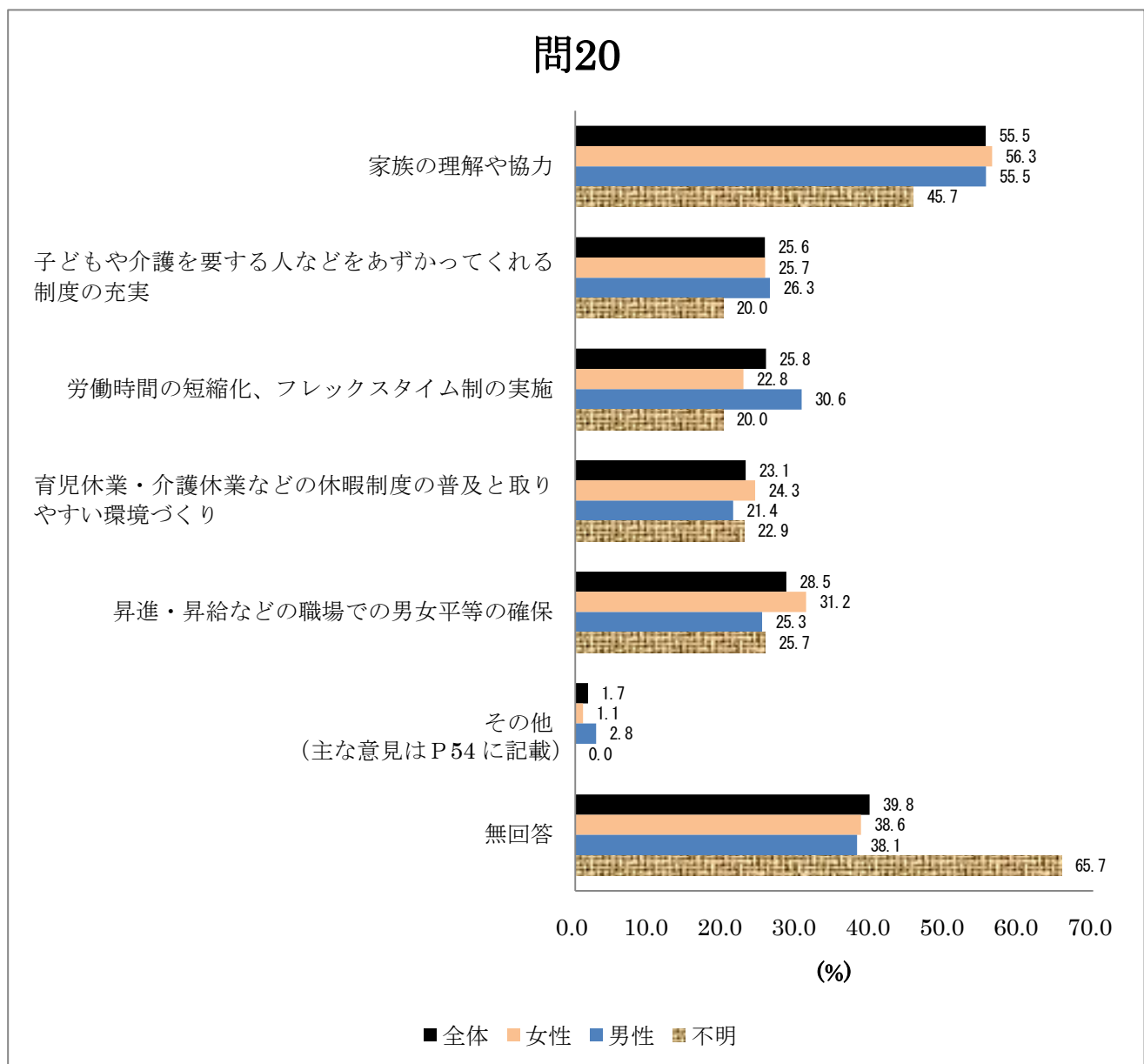


- ①女性は職業をもたない方がよい
- ②女性は職業をもつことにこだわらなくてよい
- ③結婚するまでは職業をもつ方がよい
- ④子どもができるまでは職業をもつ方がよい
- ⑤結婚や出産後もずっと職業を続ける方がよい
- ⑥子どもができたなら職業をやめ大きくなったら再び職業をもつ方がよい
- ⑦結婚後や出産後も職業は続けるがパートタイムにきりかえるなど負担を軽くする方がよい
- ⑧その他（主な意見はP54に記載）
- ⑨無回答

全体では、「⑦結婚後や出産後も職業は続けるが負担を軽くする方がよい」が24.5%で最も高く、男女別でも同様となりましたが、女性の方が4.4ポイント高くなっています。また、「⑥子どもが大きくなったら再び職業を持つ方がよい」は、前回と比較して9.1ポイント減少しています。

年代別でも、ほぼ同様の結果となりましたが、「②女性に職業をもつことにこだわらなくてよい」は、年代が高くなるにつれ割合が高くなる傾向にあります。

問20 女性が結婚・出産後も働き続けるには、どんなことが必要だと思いますか。
次の中から2つまで選んでください。



全体では「家族の理解や協力が必要」と感じる人が、55.5%で最も高く、男女とも同様の結果となりました。

男女別では、「労働時間の短縮化、フレックスタイム制の実施」については、女性の22.8%、男性の30.6%が必要だと感じており、その差は7.6ポイントです。

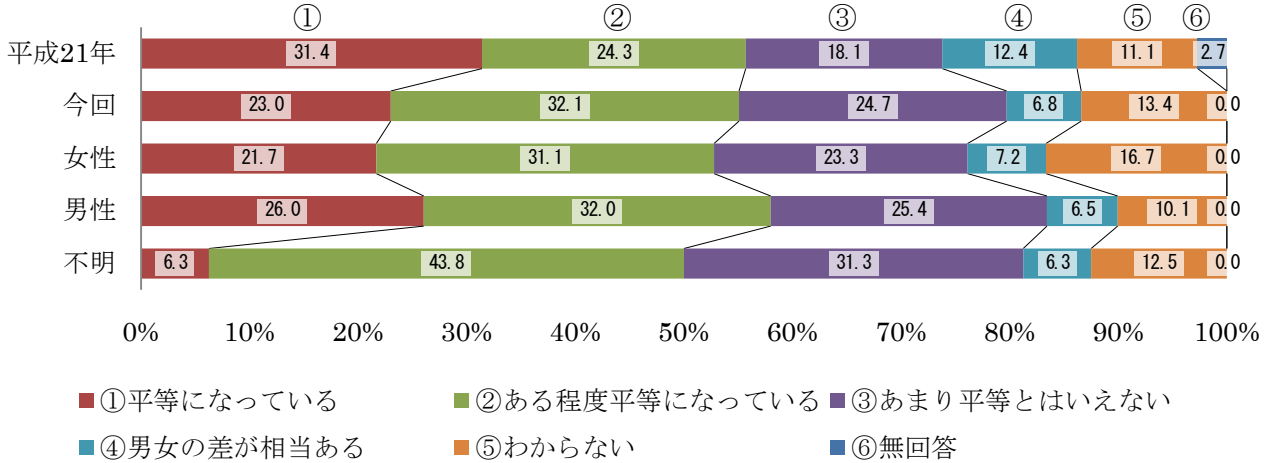
また、「昇進・昇給などの職場での男女平等の確保」については、女性の31.2%、男性の25.3%が必要だと感じており、その差は5.9ポイントです。

以上の2点から、女性自身が必要だと思うことと男性の視点から必要だと思うことに差がある事がわかりました。

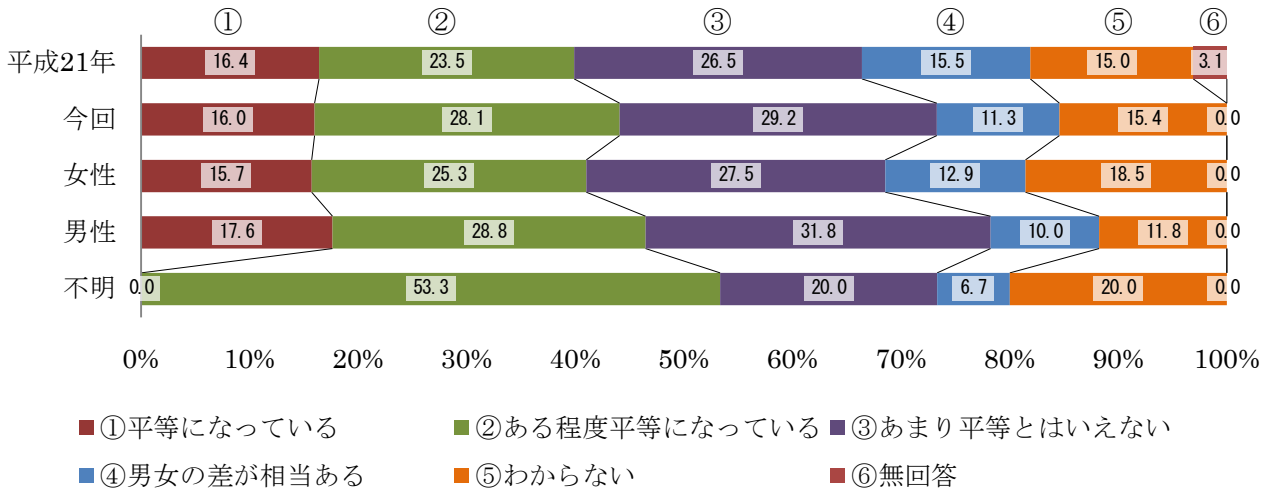
問 21 現在、お勤め（パート、アルバイト、臨時雇用も含みます）している方にお聞きします。あなたの職場では、次の(1)から(7)の内容について男女平等になっていますか。次の中から1つずつ選んでください。

※今回は、お勤めしている方に回答者を限定したため、集計の仕方に若干の違いがあります。

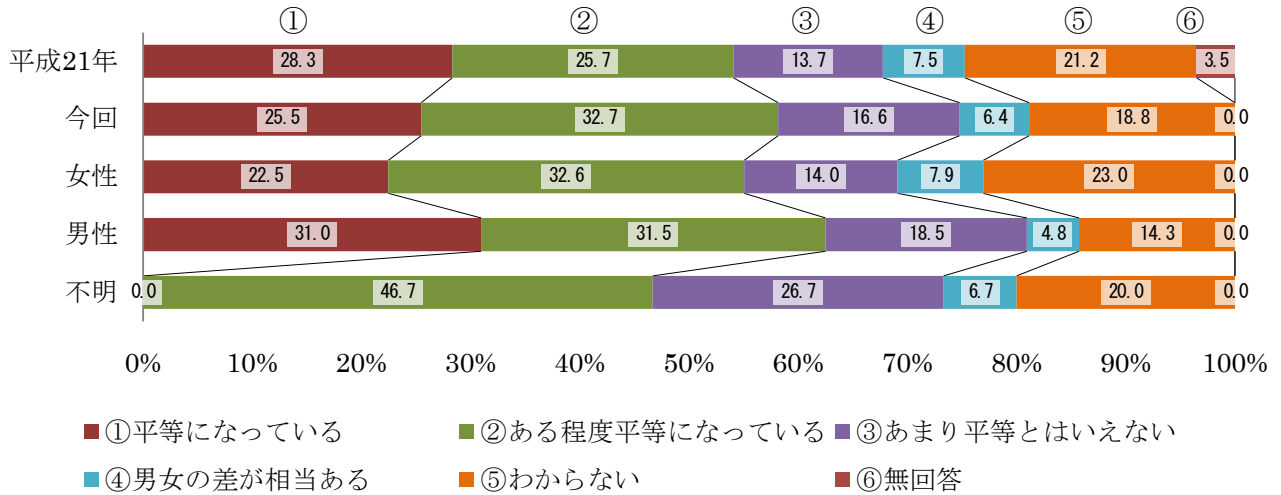
問21(1)募集や採用の条件



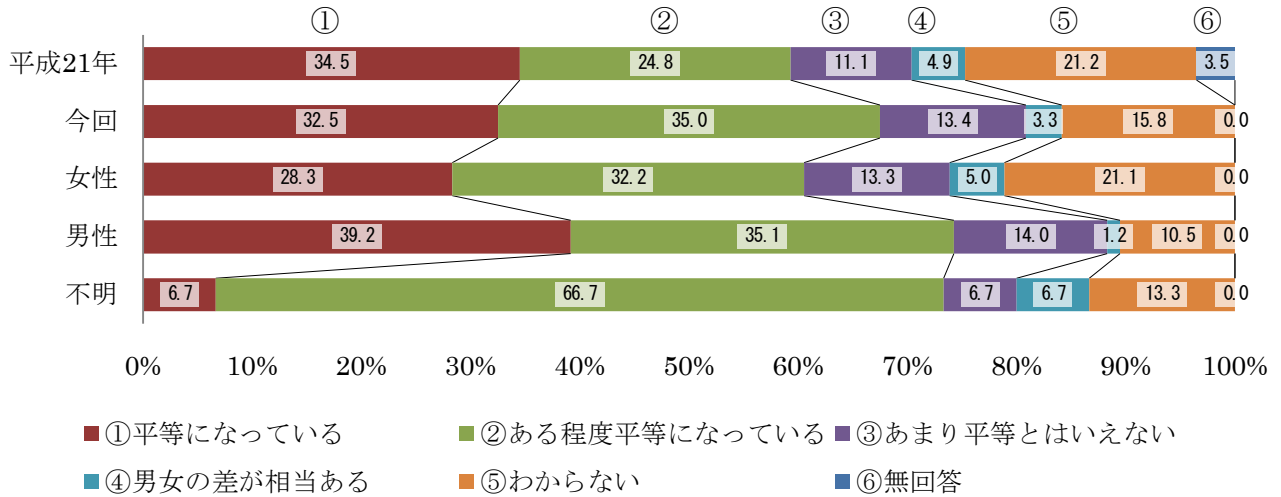
問21(2)人事配置や昇進



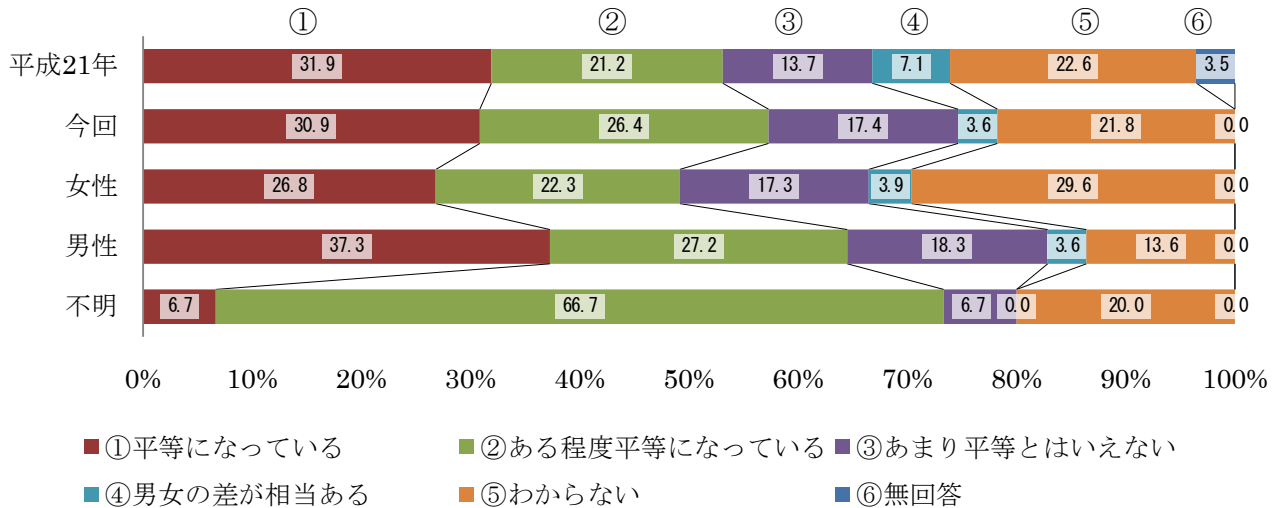
問21(3)教育や研修制度



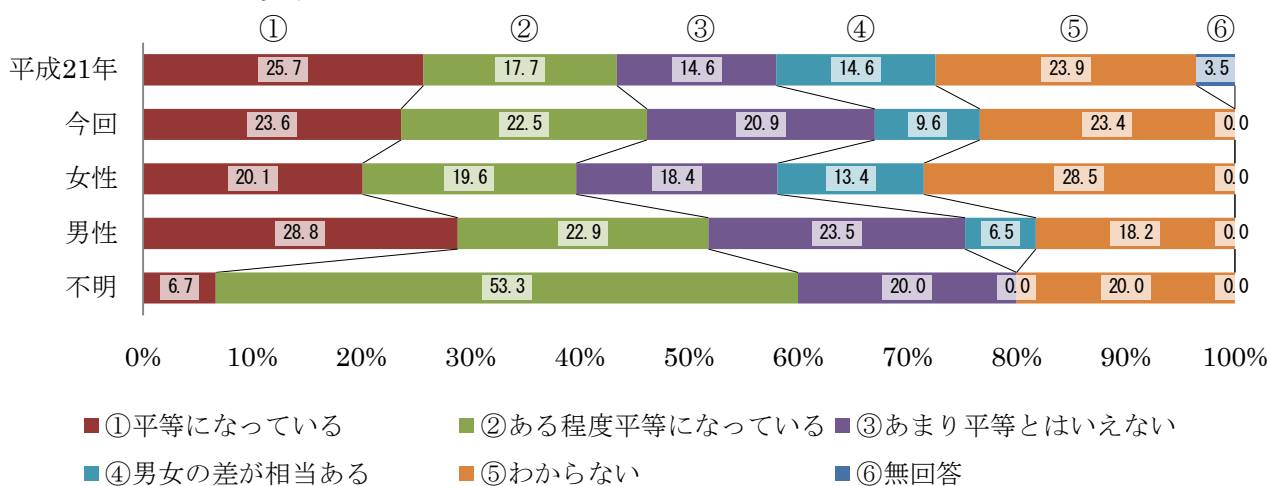
問21(4)福利厚生



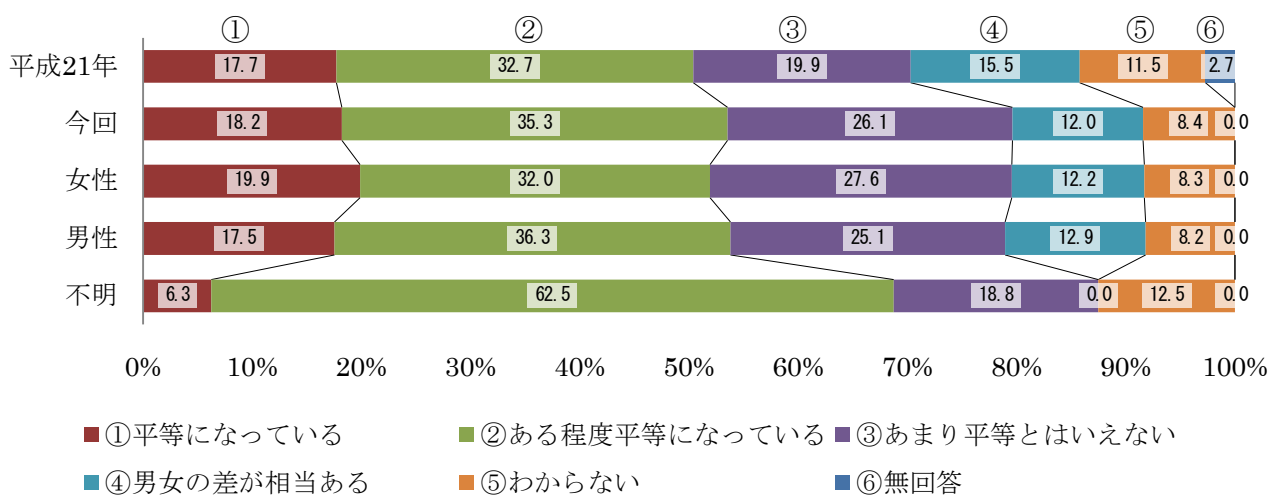
問21(5)定年・退職・解雇



問21(6)賃金・退職金



問21(7)仕事の内容



全体では、「①平等になっている」「②ある程度平等になっている」の合計が、7項目中最も高かったのは「(4) 福利厚生」で67.5%になりました。この項目については、前回の調査でも最も高かったのですが、前回よりも8.2ポイント増加しています。

しかし、男女別では、女性60.5%、男性74.3%で、両者には13.8ポイントと大きな差があります。

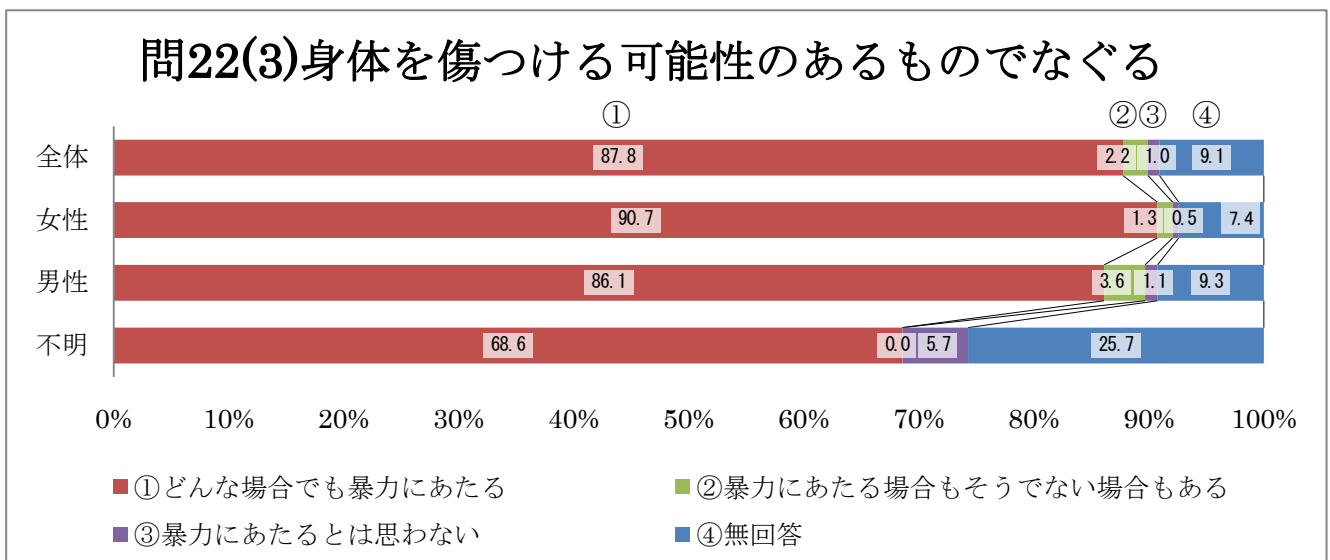
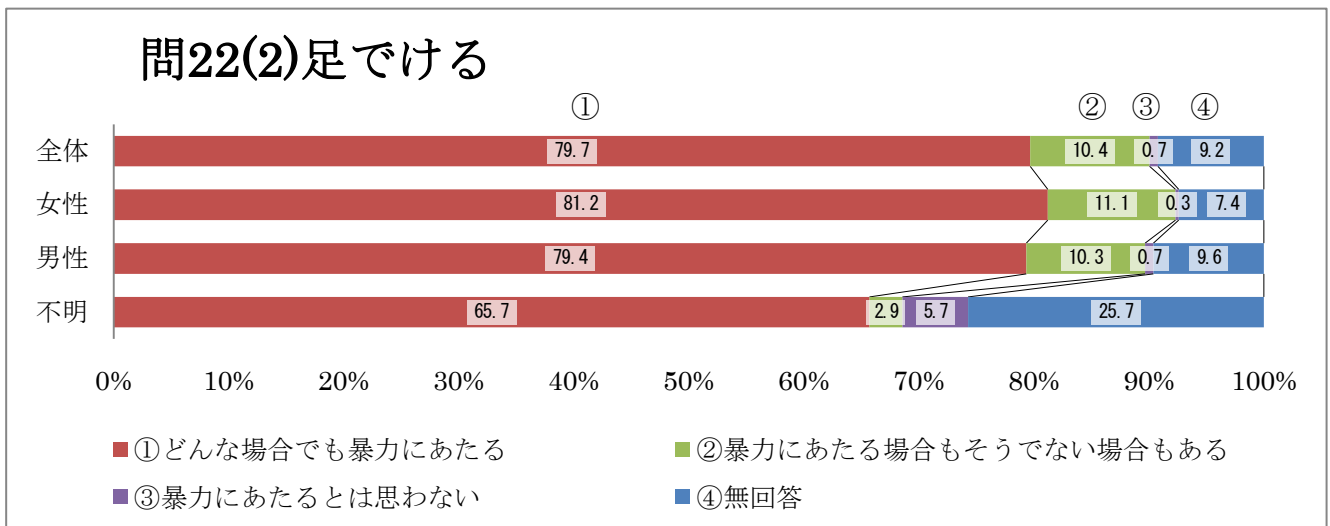
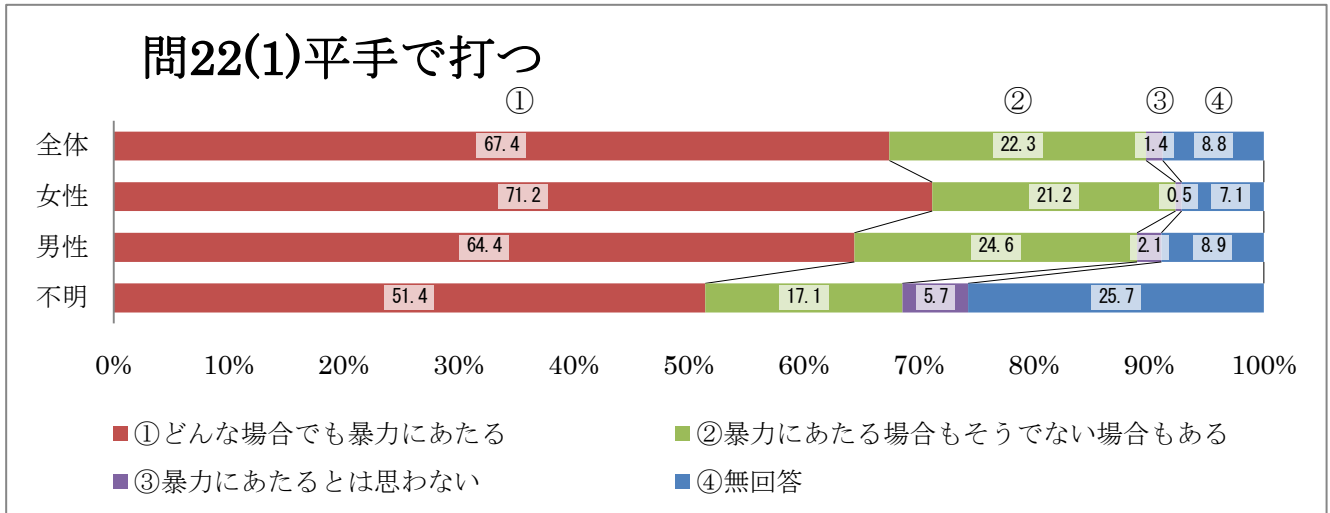
また、「③あまり平等とはいえない」「④男女の差が相当ある」の割合の合計が、最も高かったのは、「(2) 人事配置や昇進」で40.5%になりました。

男女の差が最も大きいものは、「(5) 定年・退職・解雇」で15.4ポイント、最も小さなものは「(7) 仕事の内容」で1.9ポイントでした。

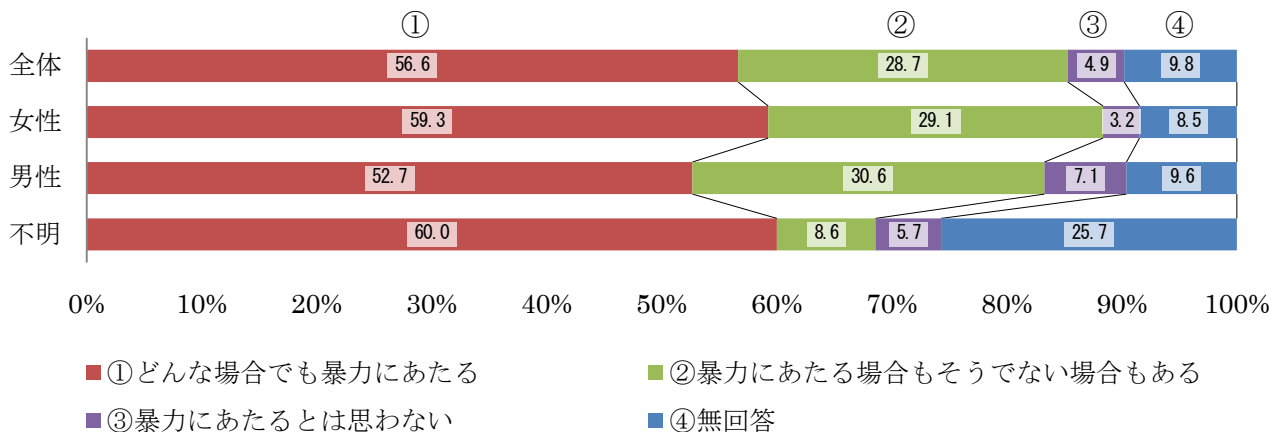
どの項目でも、男性の方が男女平等が進んでいると認識しており、その差が大きくなっています。

【男女間の暴力】

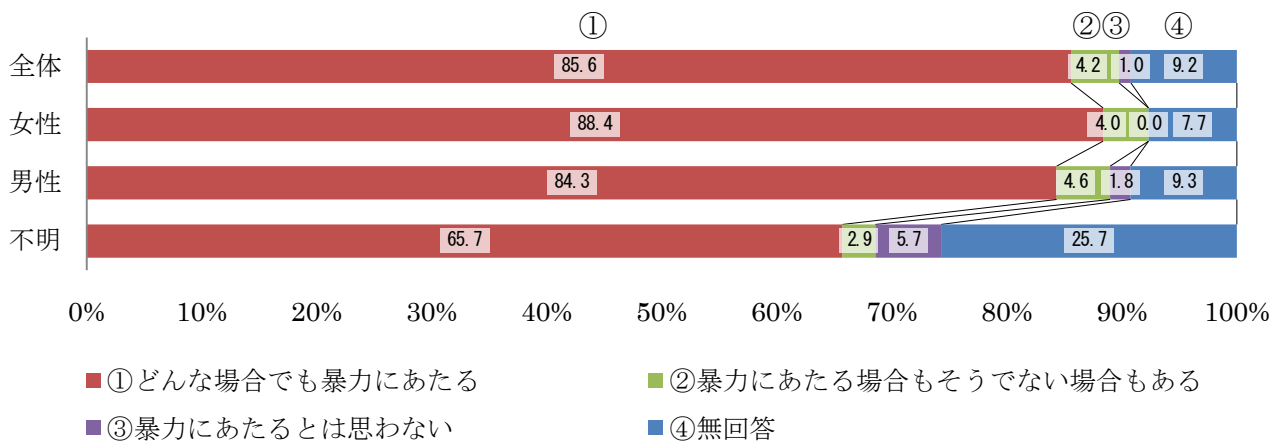
問 22 あなたは、次の(1)から(11)のようなことが夫婦（交際相手）との間で行われた場合、それをどのように感じますか。あなたの考えに最も近いものを次の中から1つずつ選んでください。



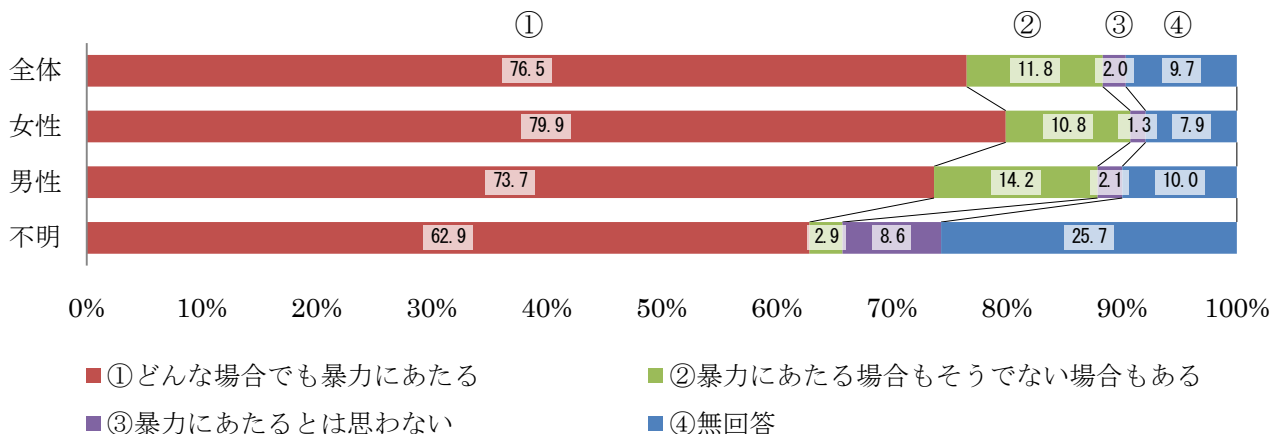
問22(4)なぐるふりをしておどす



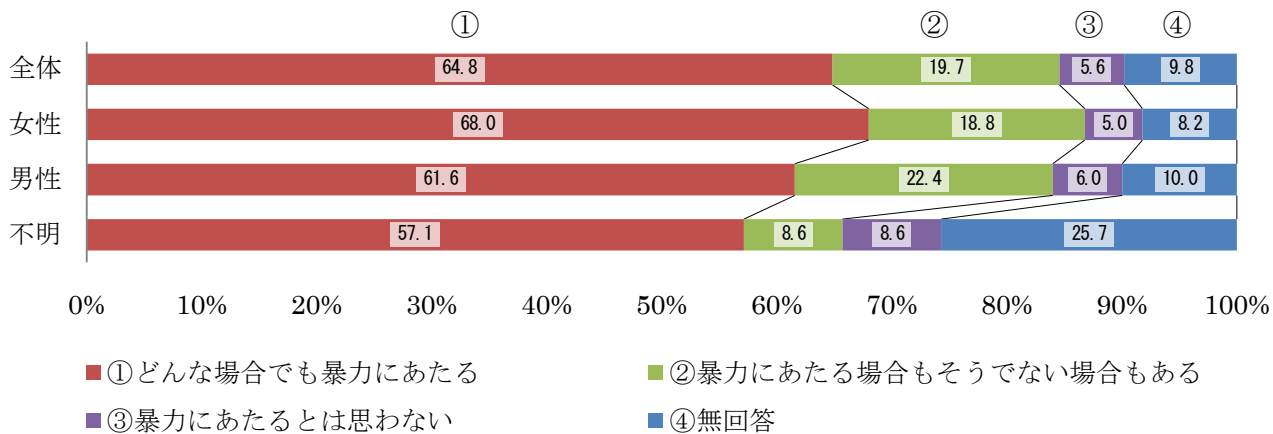
問22(5)刃物などを突きつけておどす



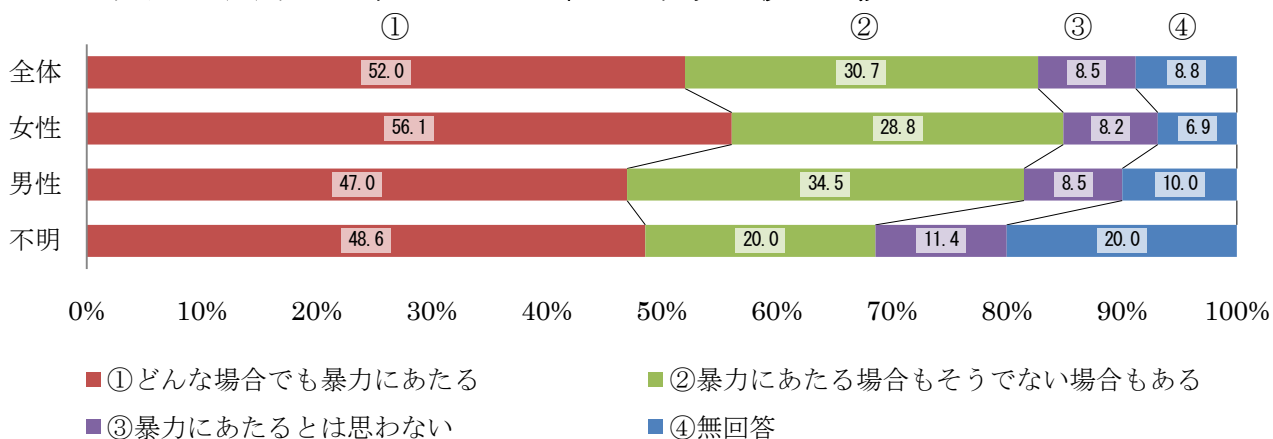
問22(6)いやがっているのに性的な行為をする



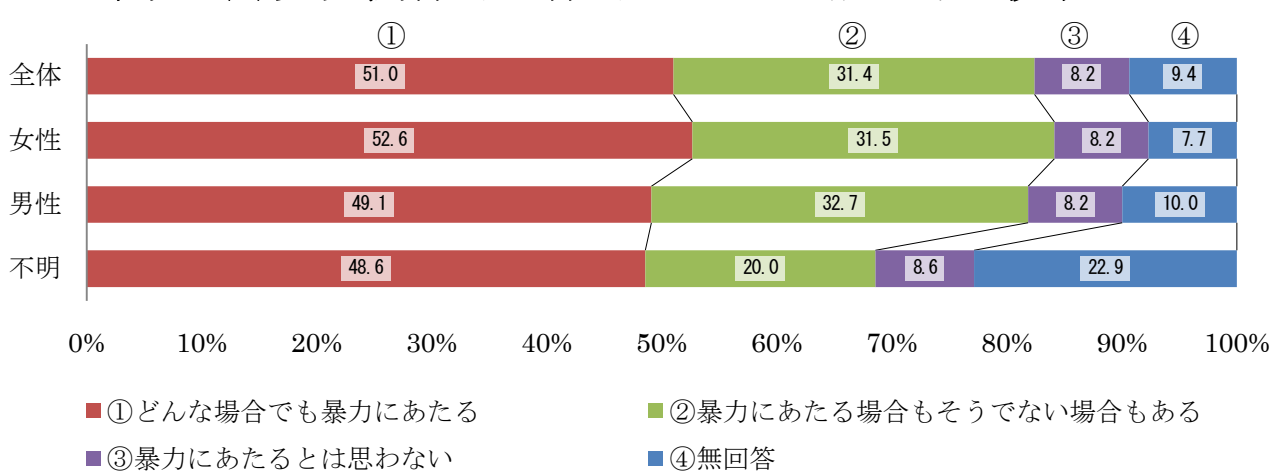
問22(7)見たくないのにポルノビデオ等を見せる



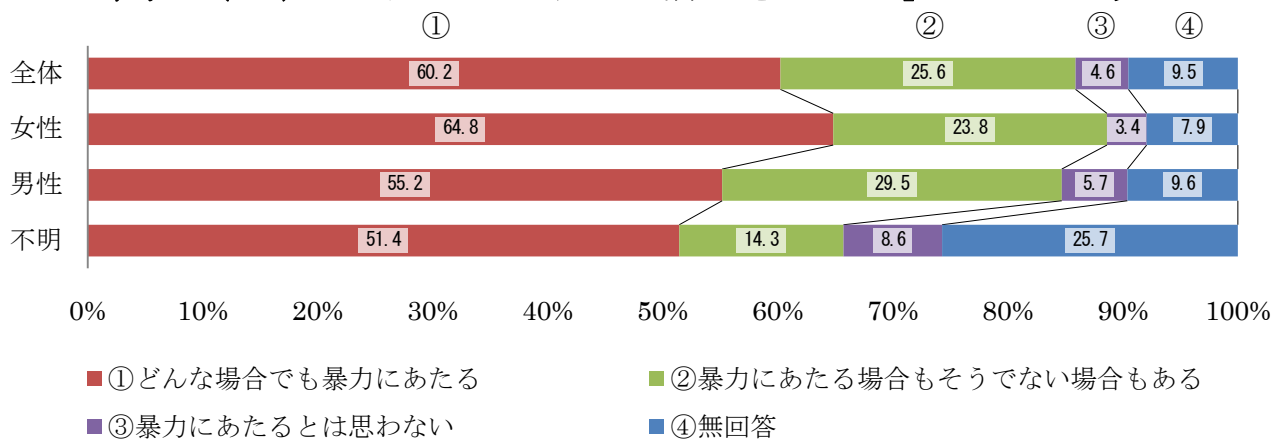
問22(8)何を言っても長時間無視し続ける



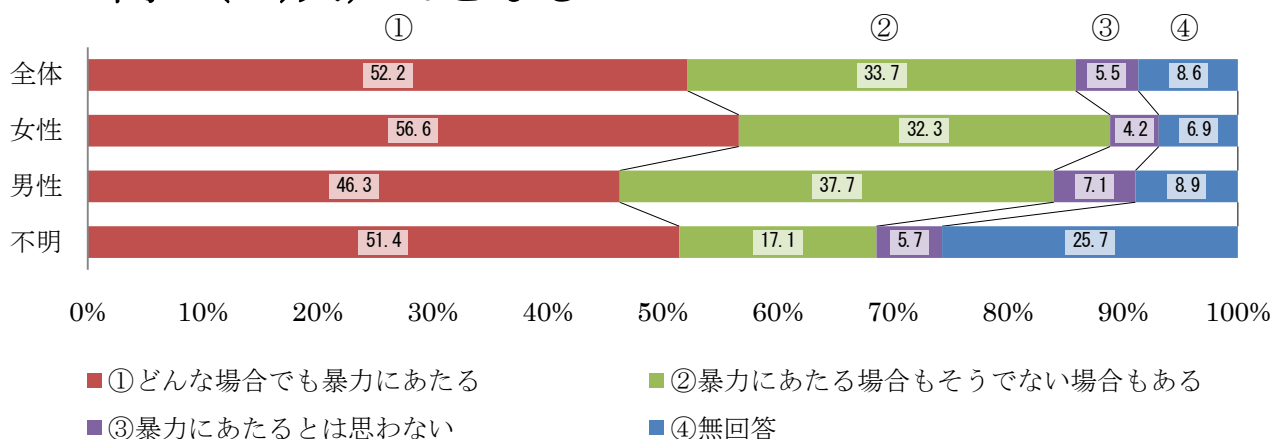
問22(9)交友関係や電話やメールを細かく監視する



問22(10)「だれのおかげで生活できるんだ」などという



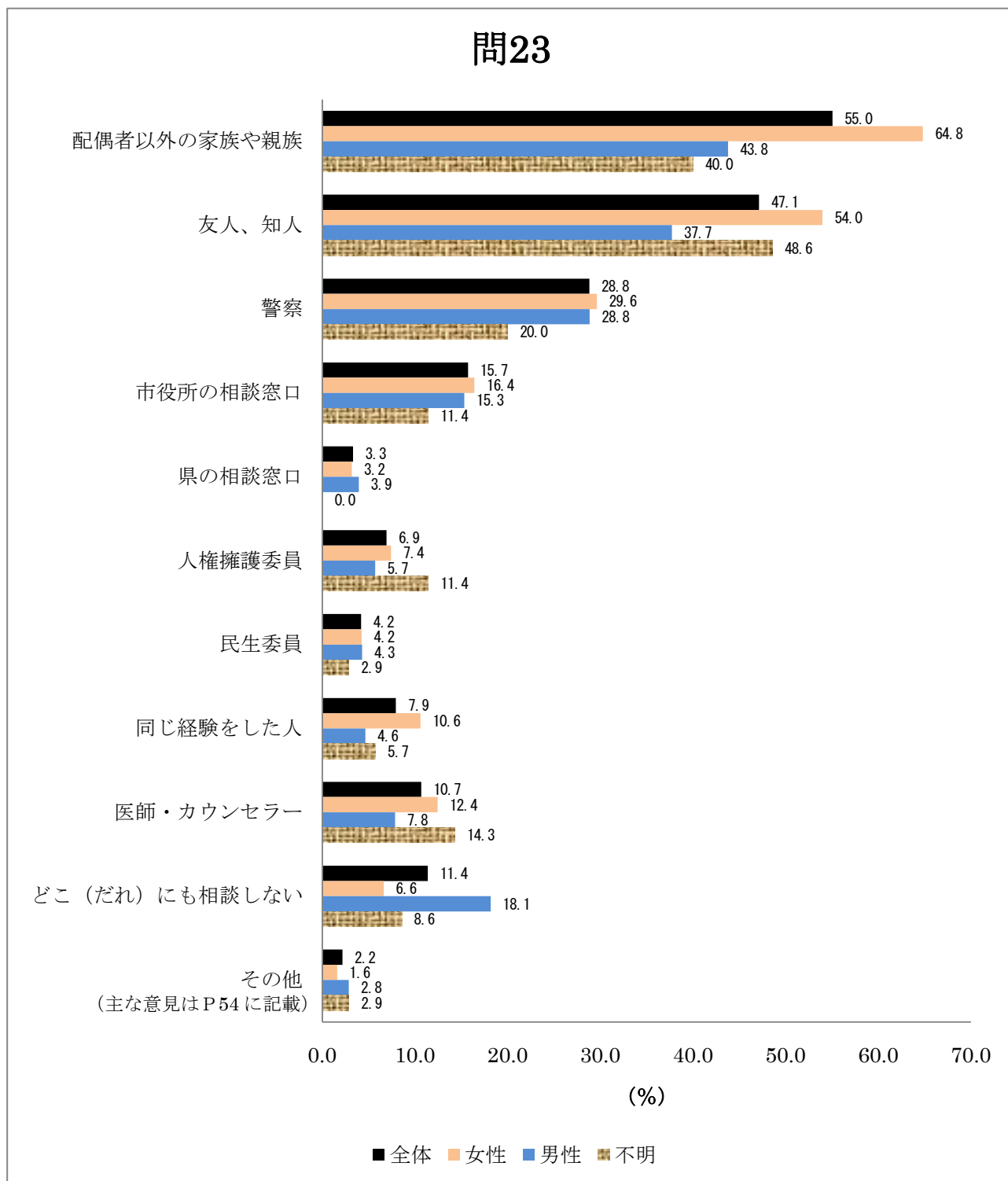
問22(11)大声でどなる



全体では、全ての項目で「①どんな場合でも暴力にあたる」が50%を超えています。しかし、「(1)平手でうつ」などの身体的な暴力や「(6)いやがっているのに性的な行為をする」などの性的な暴力に対して、精神的な暴力はやや低い傾向にあります。

男女別では、女性は全ての項目で50%を超えましたが、男性では「(8)何を言っても長時間無視し続ける」「(9)交友関係や電話やメールを細かく監視する」「(11)大声でどなる」などの精神的暴力が、50%を下回り、暴力に対する意識の違いが読み取れます。

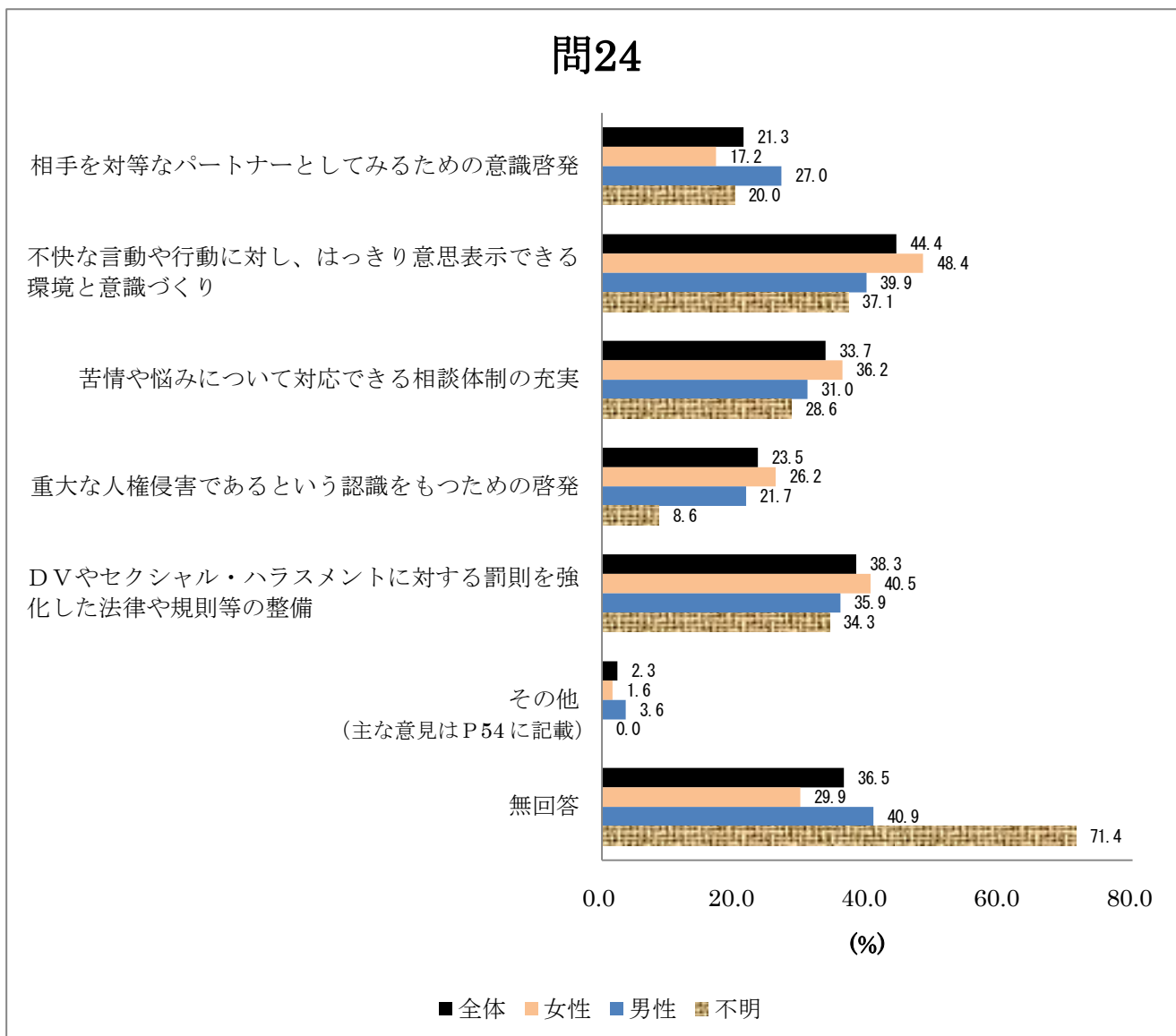
問 23 もし、あなたの身に「問 22」のようなことが行われた場合、あなたはだれに（どこに）相談しますか。あなたの考えに最も近いものを次の中から選んでください。（いくつでも可）



全体では、「配偶者以外の家族や親族」が55.0%と最も高く、次いで「友人、知人」の47.1%となっています。

男女別でも同様の傾向でしたが、「どこ（だれ）にも相談しない」が、女性6.6%に対し、男性18.1%と、男性の方が、どこにも相談しない傾向にあることが読み取れます。

問 24 ドメスティック・バイオレンス（DV：配偶者等からの暴力）やセクシャル・ハラスメント（性的いやがらせ）をなくすためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

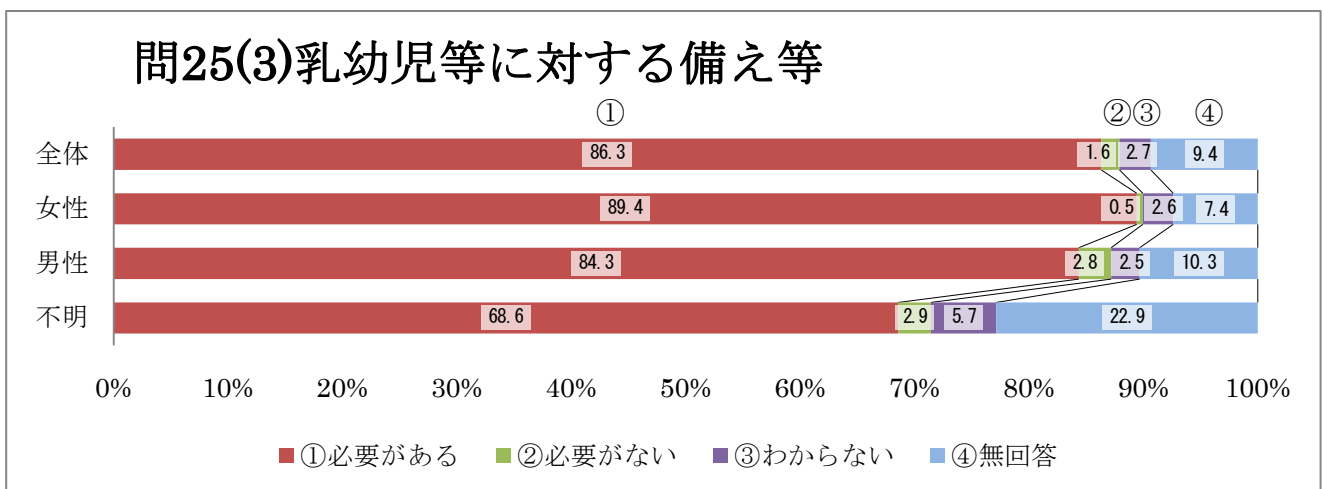
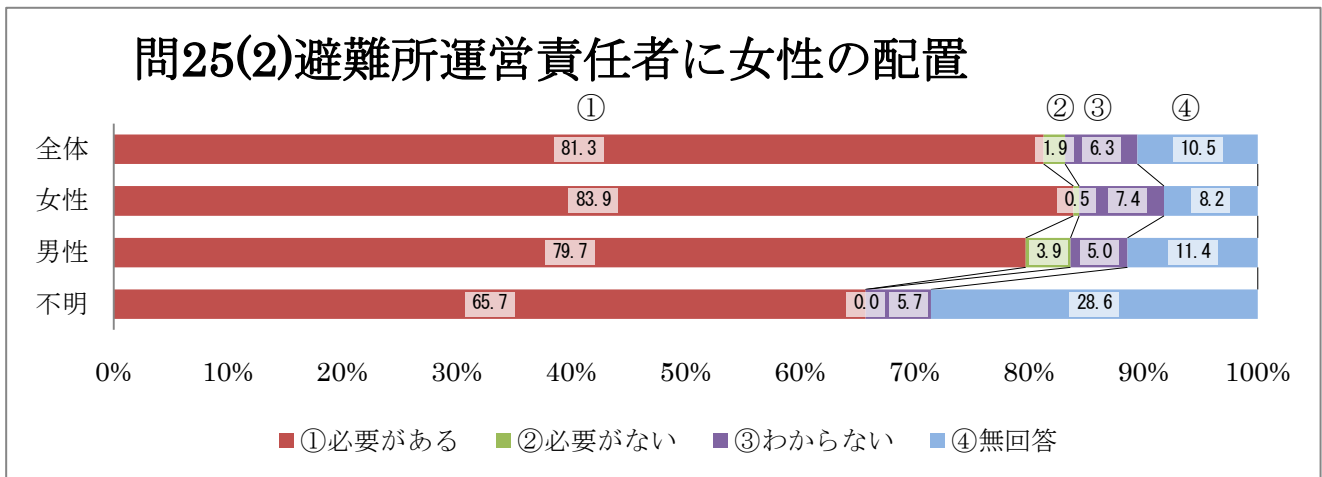
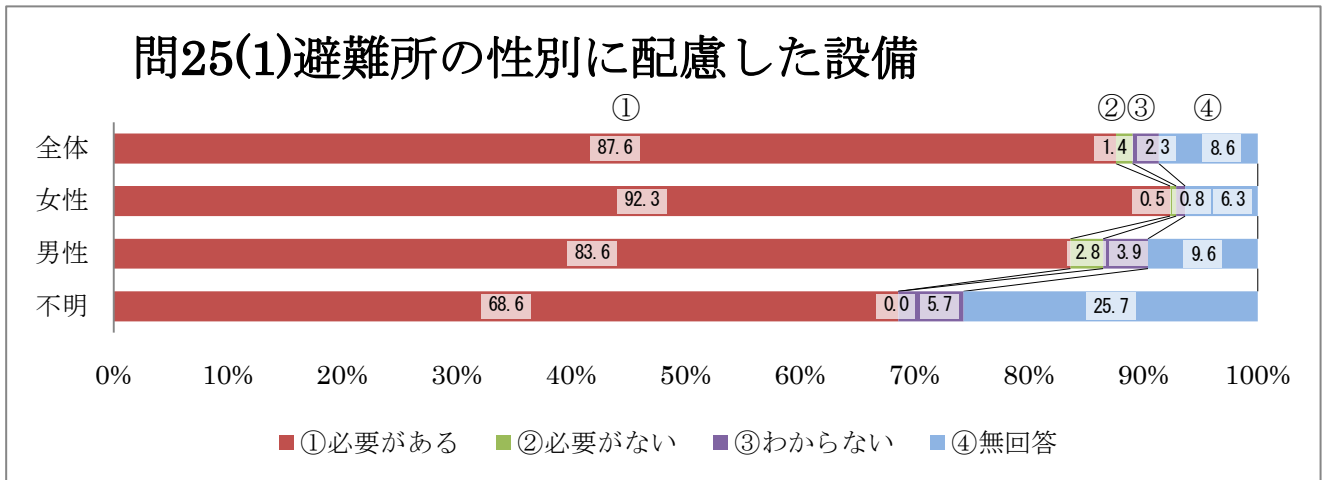


全体では、「不快な言動や行動に対し、はっきり意思表示できる環境と意識づくり」が44.4%で最も高く、次いで「DV やセクシャル・ハラスメントに対する罰則を強化した法律や規則等の整備」38.3%、「苦情や悩みについて対応できる相談体制の充実」33.7%となっています。

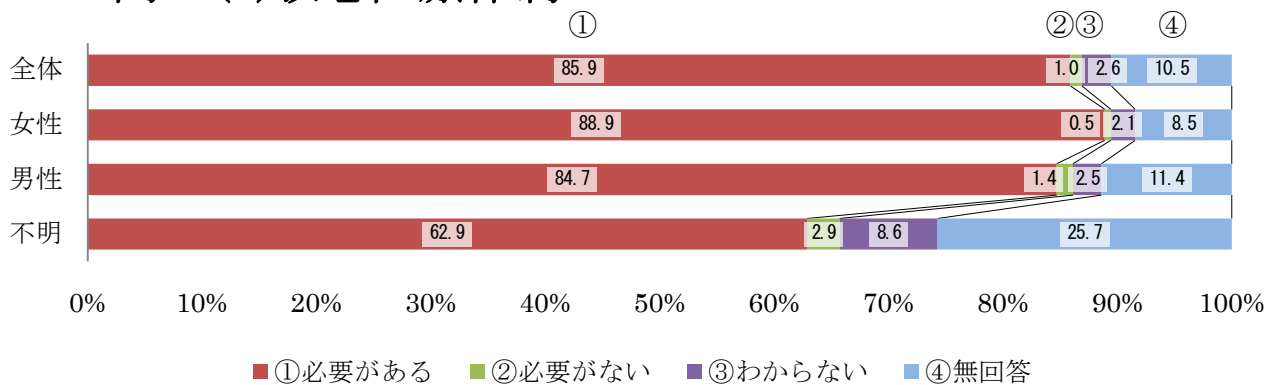
男女別でも同様の結果となっていますが、「意識啓発」については、女性の方が9.8ポイント低く、男性よりも具体的な対策を求めていることが読み取れます。

【男女共同参画の視点からの防災】

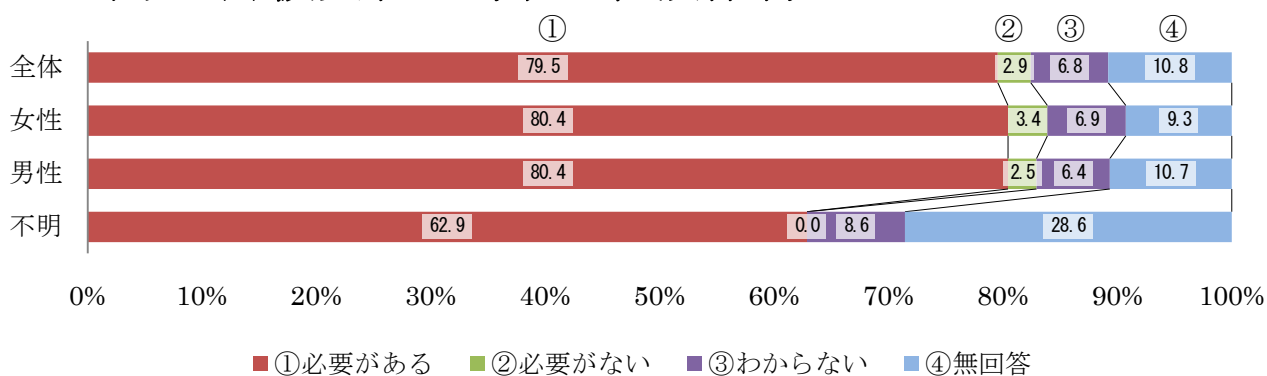
問 25 防災・災害復興対策で次の(1)から(7)の内容について男女の性別に配慮した対応がとられる必要があると思いますか。次の中から1つ選んでください。



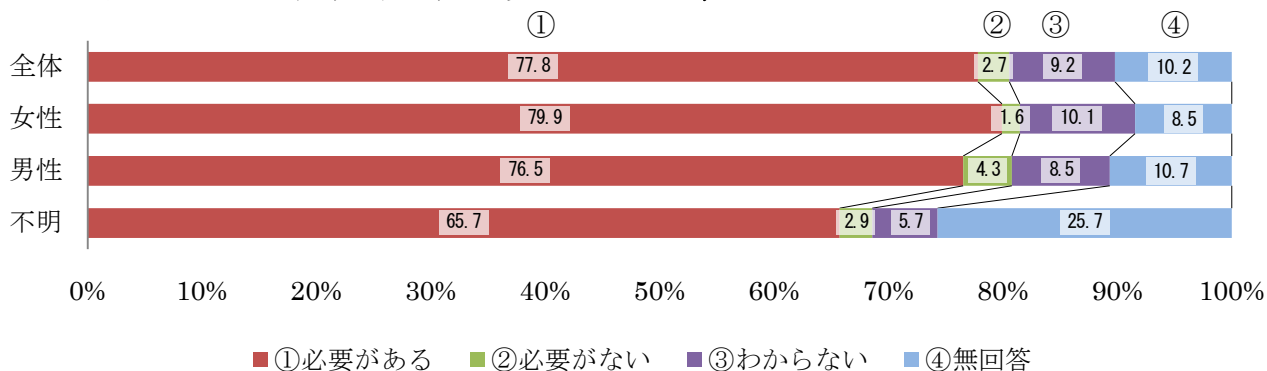
問25(4)救急医療体制



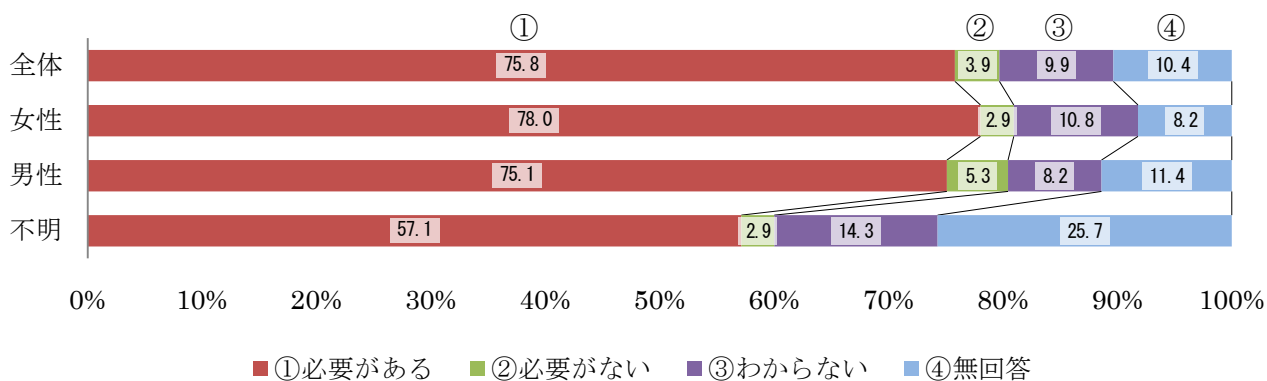
問25(5)被災者に対する相談体制



問25(6)対策本部に女性の配置



問25(7)防災計画等策定過程への女性の参画

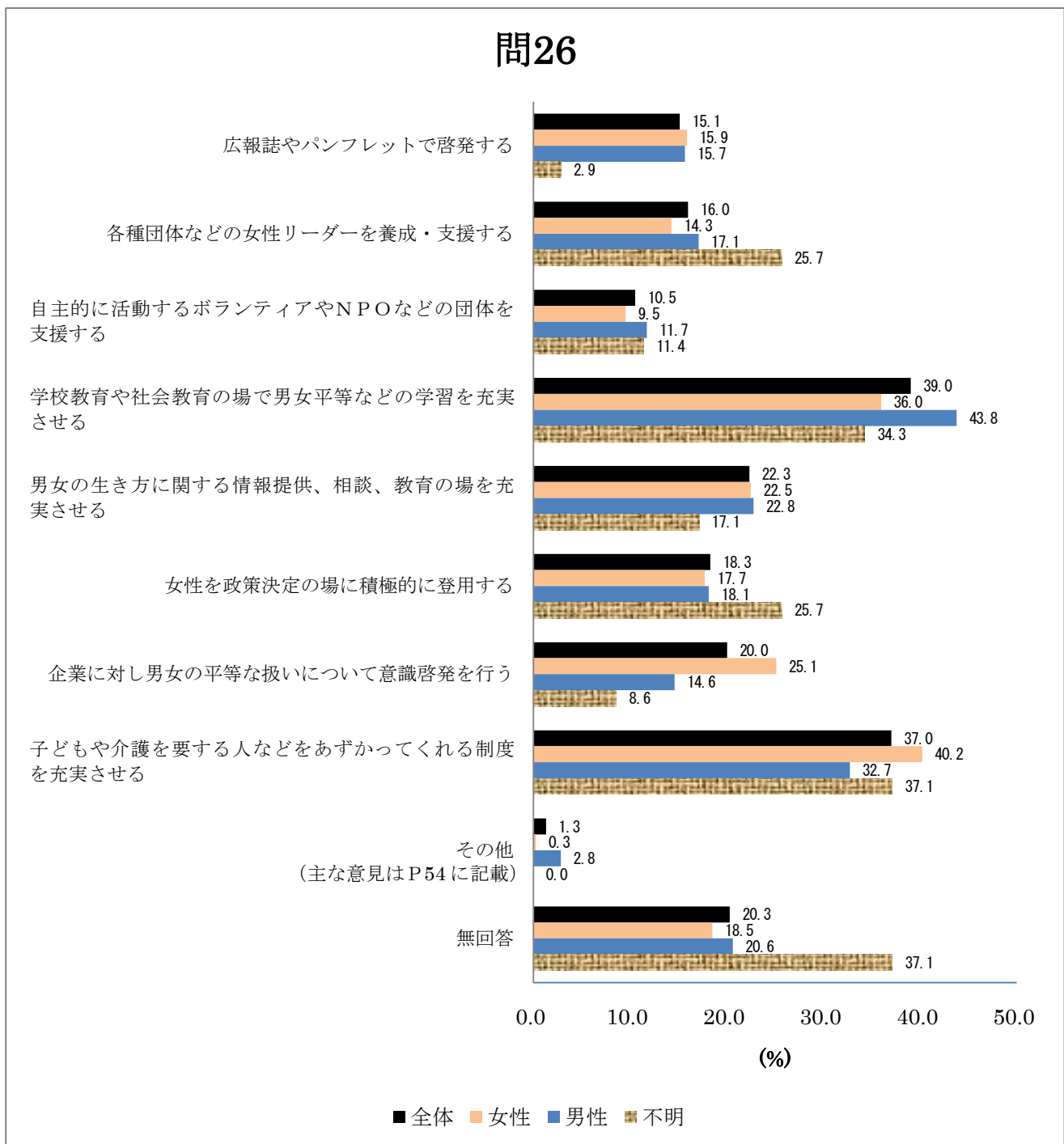


全体では、全ての項目で「必要がある」が75%を越え、多くの方が防災・災害復興対策で性別に配慮した対応が必要であると回答しています。

男女別では、男女とも「必要がある」が70%を越え、大きな差はありませんでした。

【男女共同参画への取り組みなど】

問26 あなたは、男女共同参画社会を実現するために、足利市ではどのようなことに力をいれていくべきだと思いますか。次の中から2つまで選んでください。



全体では、「学校教育や社会教育の場で男女平等などの学習を充実させる」が39.0%で最も高く、次いで「子どもや介護を要する人などをあずかってくれる制度を充実させる」が37.0%となっています。

男女別では、女性が「子どもや介護を要する人などをあずかってくれる制度を充実させる」が、40.2%で最も高い一方、男性は「学校教育や社会教育の場で男女平等などの学習を充実させる」が43.8%で最も高くなっています。

また、「企業に対し男女の平等な扱いについて意識啓発を行う」が、女性25.1%に対し、男性14.6%です。

6%と10.5ポイントの差があります。次いで「学校教育や社会教育の場で男女平等などの学習を充実させる」が、男性43.8%に対し、女性36.0%で7.8ポイントの差、「子どもや介護を要する人などをあずかってくれる制度を充実させる」は、女性40.2%、男性32.7%で、7.5ポイントの差となっています。

【足利市へのご意見など】

問 27 人権問題や男女共同参画について、ご意見・ご要望がございましたらご記入ください。
--

主な意見はP55～56 に記載

Ⅲ 各設問「その他」及び 問27の記述内容

問5 あなた自身は同和問題とのかかわりについて、どのように考えますか。

- ・ 同和問題のことは目にしますが、周りにその事で悩んでいる方との接触がないので、いざそのような方と接触した時、自分がどうするか不安である。
- ・ 国、市ばかりでなく市民の勉強会等を実施していく事から始めたい。
- ・ 同和を問題にする事がすでに問題で若い人達は同和ということを知らない人が多いと思う。話題にしないで自然消滅したほうがよいのでは。
- ・ 学生の頃、同和問題について考えましたが、社会人になってからは同和問題の言葉すら出てこないで、考えたことがない。
- ・ 普通にお付き合いするのは問題ないが、自分の息子や娘が結婚などになった場合は考えてしまいます。
- ・ 高校時代に学び「寝た子を起こすな」との言葉の意味を、社会に出ていろんな意味で感じることもあった。もっと皆が同和問題を知るべきだと思う。
- ・ 行政と住民が一体となって取り組むべき。
- ・ 今の若い世代に同和について話しても分からないのが実情。一般世帯が同和問題を気にしない時代であり、行政が騒ぎすぎる。(逆効果)
- ・ 掘り起こそうとする人がいるから無くならない。こういったアンケートも同じ。若い人は気にしていない。
- ・ 自分に関係がない時は差別はいけないと思いますが、実際に家族がその地区の住民との結婚などが持ちあがったら反対してしまうと思う。
- ・ 場合によっては、逆差別が生じているのでは？
- ・ 良く解らないが、かくす所から差別や偏見が生まれるのだと思う。正しい知識を広めることが大切だと思う。
- ・ 今回のアンケートで同和問題を初めて知り、調べてみたが、本当にそんなことがあるのかと思う。身近では全く無い。解決すれば良いなと思う。

問6 同和問題を解決するためには、どのようなことが重要だと思いますか。

- ・ 簡単に解決できる問題ではない。
- ・ 市役所にある資料等もすべて破棄する。
- ・ 身の周りでは、問題としていないので実感が無い。小中学校での教育も、やり過ぎれば逆効果とならない様、注意が必要だと思う。
- ・ 基本的に、悪い方に差別されているイメージは今はないので、むしろ考え方の改革のためにも、広く知られるべきだと思う。
- ・ 同和に対して偏見を持っているのは行政、55歳以上の人達の一部、同和地区の人達であり、若い人達には知識・意識はありません。教育等で知識等を与え、問題化していく必要はないと思います。

問7 あなた自身にとって、人権問題についての理解をより深めるためには、どのような人権教育や啓発が効果的（役立つ）と思いますか。

- ・ 真に解決されるつもりであれば、人権を侵害された者、侵害した者との公開ディスカッションを開催する。
- ・ 映画を作る。
- ・ 各家庭での人権教育の充実。
- ・ 多人数で教育しても効果は低いと思うので、小集団(出来れば家庭単位だが、難しいので自治会

単位が良いと思う)で取り組み始め少しずつ浸透するしかないと思う。

- ・ 企業にも協力してもらい、職場での勉強会を取り入れていく。

問8 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。

- ・ 男女とも仕事をしていても、していなくても家庭内の状況に応じて協力していけばいい。決して家事・育児は女性だけの仕事ではない。
- ・ 家族によって考え方が違うので、家族で話し合っって個々に決めればよい。
- ・ 各個人によっていろいろな考えがあって良い。

問12 男女平等の実現のために、今後どのようなことが必要だと思いますか。

- ・ 女性が働きやすい＝男性も働きやすいでなければならず、現行のように女性だけに焦点をあてても意味はない。
- ・ 出産等、女性にしかできない事以外は、男女とも同じ立場に立てるためには、同じ事ができるよう両者が互いの役割を分担する。(夫婦生活において)
- ・ 男女平等に近い社会になっていると思う。ただ、男女とも自分にあった生き方と、能力を教育の中で、(学生時代)確立できるような教育が必要。
- ・ 出産や母乳を与える事は女にしかできない。力仕事は男の方が得意だ。それぞれの特性を生かすべきだ。

問14 (問13で「12 参加していない」と回答した方におたずねします。)

あなたが社会活動に参加していない理由は何ですか。

- ・ 足利へ越してきたばかりで、まだ土地に慣れていないから。
- ・ 時間帯が合わないから。

問15 女性も男性も、それぞれの個性や能力を生かし、より積極的に地域の団体やサークルの活動に参加できるようにしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。

- ・ 経済力と体力と時間と心の余裕を持つこと。
- ・ 生活が安定していなければ、色々な活動に参加できないと思う。
- ・ 家庭内での役割を均一にして男性も女性が外に出て活動する事に協力することが大切。
- ・ 学校、職場などで、そのような活動時間を設ける。
- ・ 地域と協力することに利があると実感を持つ機会の充実。

問16 行政、企業、団体等における政策・方針決定の場への女性の参画(企画の段階から参加すること)をすすめるために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。

- ・ 女性の意識改革。
- ・ 男性が女性に対する考え方を変えるべき。
- ・ 子供を産み育てる環境を整えること。

問19 あなたは、女性の働き方についてどう思いますか。

- ・ 女性が職業を持つことは、それぞれの考え方、家庭の事情等、さまざまな問題が絡んでくるので、いちがいにこうした方が良いというのはありません。ただ、その人自身が働きたいという時に選択肢が広がるように行政や社会がサポートできるような状態であってほしいです。
- ・ 結婚後はずっと職業を続ける方が良いが、出産後は子育てが落ち着くまで正社員のままで負担を軽くし、職業を続けられることが理想です。
- ・ 女性自身で選択すべき。1人ひとりの考えが自由であり、又、選択したことが実現できる社会があるべき。
- ・ 生活できないから女性が仕事している。男性の収入でやっていけるなら仕事したくない。
- ・ 各個人の自由で良いと思う。

問20 女性が結婚・出産後も働き続けるには、どんなことが必要だと思いますか。

- ・ 職場の理解や協力。
- ・ 結婚、出産の時点で男女平等に負担を協力し合う環境、社会づくりが必要。

問23 もし、あなたの身に「問22」のようなことが行われた場合、あなたはだれに（どこに）相談しますか。

- ・ 自分が受けることが想像できない。
- ・ 弁護士
- ・ もう生きていけないと思うまでは、誰にも言えないと思う。

問24 ドメスティック・バイオレンス（DV：配偶者等からの暴力）やセクシャル・ハラスメント（性的いやがらせ）をなくすためには、どのようなことが必要だと思いますか。

- ・ 夫から毎日言葉の暴力を受けています。刃物でおどかされた事も過去にあります。この問題は非常に根が深いです。世代間の連鎖があると思います。夫の父も母に対して言葉の暴力、身体への暴力もあったようです。同居していましたので、言葉の暴力については耳にしていました。子供の頃からの家庭、学校での教育が重要だと思います。
- ・ 小さい時からの生活環境や心のケア。
- ・ 加害者側のカウンセリング。頭で分かっているけど感情のコントロールができない人が多勢います。

問26 あなたは、男女共同参画社会を実現するために、足利市ではどのようなことに力をいれていくべきだと思いますか。

- ・ 男女共同参画の必要性・問題がよく判らない。
- ・ 男女共同参画社会特区を設ける。→行政、町レベルでの社会実験。
- ・ 子供に対する補助、保障も充実させる。

問27 人権問題や男女共同参画について、ご意見・ご要望がございましたらご記入ください。

- ・ 男女共に努力をして協力をしていかないとだめだと思います。
- ・ 足利市は市議会を傍聴させてもらったり、女性議員の活動等をみても余り平等ではないようだ。自治会等も男性上位の所が多いし、まだまだ遅れていると思う。
- ・ 歴史上からも男性上位が長く続いた我が国では、認識をあらためることは大変なことです。現在、男性は「俺は男だ！」と思う所があり、女とはちがう、という変なプライドのようなものがあります。女性にとっては理解できないです。時代も変わりました。これからはお互いに理解するよう努力し、認め合うことが大切！教育にもすぐに反映させる事を希望します。
- ・ 毎年開催されている人権問題研修会の出席者について、市職員や関係機関の方が多く、一般市民の参加が少ないように思います。日本人は一般的には人権に対する知識や意識が薄いように思います。同和地区の住民に対する差別は、子供達や若い人達は、学校で人権意識を高める教育や啓発活動の結果、差別意識はほとんどなくなった。しかし、高齢者については、正しい知識と理解が十分でないように思います。
- ・ 長い目でみて、教育の充実(家庭・学校・地域)により、心身ともに豊かで健全な社会人を育てることが基盤だと思えます。
- ・ 一般企業では統計よりも女性参画のすすんでいる企業、男性が育児休業しやすい仕組みをもつ企業が日本にも数多くある。行政もそのような事例に基づいた政策を実行すべきだと思う。また、有能な女性も多いことから、いたずらに割合や数での登用は、優秀な女性の足をひっぱりかねないため、慎重に実施すべきだと思う。
- ・ 男女の平等という理解はなかなか根深いところから改善(意識改革)がされないと本来の平等社会にはならないと考えます。天皇の継承問題にしても女性は認められない、という現実がまさにそれを物語っています。小さいうちからの人権問題への関心・知識をつちかっていくことが必要と思われれます。
- ・ 出来るだけ参画が苦にならない様に。参画して楽しかったと。
- ・ ドメスティックバイオレンスなど、その家庭の中まで入り込まないと見えない問題を、家族のことだからと、とらえないで欲しい。訴えられない状況や環境などに配慮し、行政が具体的に動ける人を男、女とも育てて欲しい。見えないものを察して皆が安心して住める町になって欲しい。
- ・ 現実の中で人権について考えさせられる事が多くないが、自治会などに参加して男性優位なことを感じずにはいられない。色々な場面で発展している団体、企業などは女性をターゲットにしたところが多いように感じる。世代ギャップはあると思うが、もっと女性が自治会や市や県、国で参画することが出来れば、今までとは違った発展が期待できると思う。世の中には男女の2種類しかないのだから、それぞれの個性を生かし合える世の中になってほしいと願います。
- ・ 生まれて75年当地で暮らしてきましたが、我が町を離れたと思うようになってきました。父母が健在の頃、貧しくても守られ苦勞を苦勞と感じなかった様に思います。現在は安心して暮らせません。私達高齢者はますます厳しい現実です。足利人は表面的、社会人として「立派」なのかもしれませんが、私も他人に迷惑を掛けぬ様生きてきましたが、心なき差別、人権侵害を受けてきた者ですが、もっと「思いやり」のある人間教育、人の痛みが解る人を育てて頂きたいと思えます。
- ・ 少子高齢化、核家族が進んでいる中で今後のことを考えると、女性として不安が多い。少しずつ家事・育児の分担や女性の社会進出など意識づけができてきているが、実際はそうでないことが多い。子供が産めるのは今後ずっと女性のみであり、その女性が子供を抱えて仕事へ行くことができる環境や社会となっていかなければいけないと思う。男性の育児休暇も普及するべきだと思う。現代のおとなは「男は仕事、女は家庭」の意識がいまだにある。その人達の意識はなかなか変えられないので、もっと若い世代や子供の頃から男女平等について意識づけられるような社会になればもっと良くなると思う。
- ・ 「人権」という言葉が便利になってしまっている気がします。

- ・ 女性も男性と同じような仕事につき活躍できる場をもっと持てたらと思います。そして人口の半分は女性です。女性の管理職をもっと増やすべきです。
- ・ 人権問題では、親が子供(0歳から小学生くらいまで)に日頃から挨拶、そして人を思いやる心を教えることが大切だと思います。学校教育は必要ですが、先ずは家庭から！
- ・ 市民は、男女平等を意識し行政あるいは地域の催し物には参加すると良い。参加を促すために行政あるいは自治会等の発行物には、常に標語等を印刷し意識啓発を行うと良いと思います。
- ・ 現在私達の住んでいる地域や社会では、どの様な人権問題があり、男女共同参画の現状はどうか？正しく認識していなければ何もはじまらない。行政やこの問題を取組もうとしている人が企画した行事に何と無関心な人ばかりかと思えます。特に男性。大人の生活習慣や意識はなかなか変えられません。子育てや学校教育の場で一步步目指して行くのが良いのではないのでしょうか？
- ・ あらゆる会議や話し合い、政策決定の場において平等な意見、決定を行う為には、男女平等であるという事を考えれば、半数の女性がその割合を占める事が必然であると思えます。
- ・ このアンケートの様に色々な意見を聞く事。その意見をどう生かすかだと思ふ。人を集めても同じような人しか集まらないので、このアンケートはいいと思った。少し長いので大変でしたが色々考えさせられ、いい機会でした。
- ・ 男女不平等は根強いものがあります。男女平等に子育て、介護に参加する様な意識、社会作り、子供の頃からの教育をしてゆかないといけないと思えます。少子化、高齢化が加速する世の中ですので男女平等で協力し合う事が重要と考えます。
- ・ 女性自身も、「働かないで楽したい」「男性の下で結構」といった甘い考えが存分にある。私自身もそうですが、小・中・高の教育のうちから女性の甘えが許されており、教育段階で考え方を変えられないと、難しい気がしています。
- ・ 市政で様々な活動をしていると思いますが現実に浸透していないというか、反映しているかわからないのでもう少しアピールが必要かと思えます。
- ・ 自治会等の役員が男性でしめられる状態を改良して欲しい。
- ・ 男女に限らず、年齢に関しても限らず、実力のあるものがリーダーになれるシステムが確立されると良いと思う。又、有能な人材を見極める目をもつトップが幅広く世の中にアンテナをはり、情報を収集することも必要ではないかと思う。ちなみに私が働いていた、I社は、当時(80年代でしたが)でも女性の出世の道が確立されていて、男性と同等の地位を確立できるシステムができていて、仕事にも生きがいを感じていました。
- ・ 調査結果、ホームページとあるが、見られない人がどの位いるか、調べたことありますか？ パソコンありません。世間から取り残されそうです。
- ・ 育児・介護の問題を家族の問題として、家族内で対応していける家族構成ではなくなってきており、女性に社会への参画を促すには、それら負担を家族外で分担する方法があることは1つの手段かと思う。女性の収入が相対的に低く、就労してもあまりメリットがない現状も問題。労働観を子供のころから養い、誰もが働くことが当然と考えれば、もう少し変わるかもしれない。
- ・ 仕事の賃金などの格差がある。子供が病気になっても休むことが難しい。もう少し女性が働きやすい社会にしてほしい。

IV 資料

(調査票)

人権・男女共同参画についてのアンケート

日頃から、市政に対するご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
足利市では、人権推進・男女共同参画社会の実現に向けて、様々な活動を進めて
おります。

このアンケートは、人権や男女共同参画について市民の皆様のご意見をお伺いし、
今後の行政施策の参考とするために実施するものです。

そこで、アンケートをお願いする 20 歳以上の方 1,500 人を、平成 26 年 8 月 1 日
現在の住民基本台帳の中から無作為に選ばせていただきました。

また、ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理し、個人を特定することや
目的以外には利用いたしません。

つきましては、お忙しいところ大変ご面倒をおかけいたしますが、この調査の趣旨を
ご理解いただき、ぜひご協力くださいますようお願いいたします。

平成 26 年 8 月

足利市長 和泉 聡

ご記入にあたってのお願い

* 調査のご記入は、ご本人（封筒のあて名の方）をお願いします。（代筆可）

* 回答はすべてこの調査票に直接ご記入ください。

（ 番号に直接○をお書きください。
また「その他」の場合は〔 〕内に具体的に記入してください。）

* ご記入が終わりましたら、調査票を同封の返信用封筒に入れ

9月5日（金）までにポストへ投函してください。

（切手や差出人のお名前は必要ありません）

* 調査の結果については、情報紙「かけはし」（広報あしかがみに折込み）や
ホームページで概要をお知らせする予定です。

* 調査についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

〒326-0823 足利市朝倉町264番地（市民プラザ本館2階）

足利市役所 総務部 人権・男女共同参画課

ご記入いただいているあなた自身について

【あなたの性別はどちらですか】

- 1 女性 2 男性

【あなたの年齢は平成26年8月1日現在、どれに該当しますか】

- 1 20歳代 2 30歳代 3 40歳代 4 50歳代
5 60歳代 6 70歳以上

人権問題について

【人権問題全般について】

問1 今の日本は人権（人間が生まれながらにして持っている自由・平等に関する権利）が尊重されている国だと思いますか。次の中から1つ選んでください

- 1 尊重されていると思う
- 2 どちらかといえば、尊重されていると思う
- 3 どちらかといえば、尊重されていないと思う
- 4 尊重されていない国だと思う
- 5 どちらとも言えない

問2 現代社会には、様々な人権問題があります。あなたは次の(1)から(18)の内容について、どの程度関心をお持ちですか。次の中から1つずつ選んでください。

	とてもある	少しある	あまりない	全くない	わからない
(1) 女性の人権	1	2	3	4	5
(2) 子どもの人権	1	2	3	4	5
(3) 高齢者の人権	1	2	3	4	5
(4) 障がい者の人権	1	2	3	4	5
(5) 同和問題に関する偏見や差別	1	2	3	4	5
(6) アイヌの人々に対する偏見や差別	1	2	3	4	5
(7) 外国人の人権	1	2	3	4	5
(8) 感染症患者（H I V感染者、ハンセン病患者など）に対する偏見や差別	1	2	3	4	5
(9) 刑を終えて出所した人に対する偏見や差別	1	2	3	4	5
(10) 犯罪被害者やその家族の人権	1	2	3	4	5
(11) インターネットを悪用した人権侵害	1	2	3	4	5
(12) 北朝鮮当局によって拉致された被害者等の人権	1	2	3	4	5
(13) ホームレスに対する偏見や差別	1	2	3	4	5
(14) 性的指向（異性愛・同性愛・両性愛）を理由とする偏見や差別	1	2	3	4	5
(15) 性同一性障がいを理由とする偏見や差別	1	2	3	4	5
(16) 人身取引（性的搾取や強制労働目的）の問題	1	2	3	4	5
(17) 東日本大震災に起因する人権問題	1	2	3	4	5
(18) えん罪被害者の人権	1	2	3	4	5

問3 あなたは自分の人権が守られていると思いますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 思う
- 2 思わない
- 3 どちらともいえない

【同和問題について】

問4 あなたは同和地区（被差別部落）の住民に対する差別が、今でもあると思いますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 かなりあると思う
- 2 あると思う
- 3 ほとんどないと思う
- 4 ないと思う
- 5 わからない

問5 あなた自身は同和問題とのかかわりについて、どのように考えますか。あなたの考えに近いものを次の中から1つ選んでください。

- 1 なりゆきに任せるしか仕方がない
- 2 国や市などが政策で解決する
- 3 同和地区の人々だけの問題なので、自分とは直接関係ない問題である
- 4 「基本的人権」にかかわる問題なので、この問題解決に努力したい
- 5 その他（}
- 6 同和問題のことは知らないのでわからない

問6 同和問題を解決するためには、どのようなことが重要だと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

- 1 行政（国・県・市）が、市民の人権意識を高める教育・啓発活動に力を入れる
- 2 小・中学校などの人権教育で、同和問題に関する正しい知識を教える
- 3 同和地区の人が、収入の安定や生活力を高めるなど、差別に負けないように努力し、積極的に同和地区外の人に働きかけていく
- 4 差別をなくすための運動を積極的に取り組む
- 5 同和地区の人々が、一カ所にかたまって住まないようにすればよい
- 6 市民が自ら差別や人権について学ぶ
- 7 同和問題のことなど口に出さず、そっとしておけば差別は自然になくなる
- 8 差別をしたり、差別を利用するような場合には、法律で処罰する
- 9 何をしても解決することは難しい
- 10 その他（}
- 11 どうすればよいかわからない

【人権問題への取り組みなど】

問7 あなた自身にとって、人権問題についての理解をより深めるためには、どのような人権教育や啓発が効果的（役立つ）と思いますか。次の中から2つまで選んでください。

- 1 県や市などでの講演会・研修会・学習会
- 2 公民館などの地域での学級・講座
- 3 人権問題についての学習グループでの活動やグループ相互の交流会
- 4 学校・幼稚園・保育園等での人権教育の充実
- 5 新聞・テレビ・ラジオなど
- 6 広報紙「あしかがみ」・啓発冊子・パンフレットなど
- 7 ポスター・看板・横断幕などの掲示物
- 8 ホームページ・メールマガジンなどのインターネット通信
- 9 人権問題についての図書・ビデオなど
- 10 その他（）
- 11 特にない

男女共同参画について

【男女の役割意識について】

問8 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 男性は仕事、女性は家庭にいるのがよい
- 2 男女とも仕事をもち、家庭でも責任を分担するのがよい
- 3 男女とも仕事をもち、家庭のことは女性が責任をもつのがよい
- 4 男女の役割は固定せずに、女性が仕事をもち、男性が家庭にいてもよい
- 5 その他（）

問9 「男の子は男らしく、女の子は女らしく」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 「男の子は男らしく、女の子は女らしく」がよい
- 2 どちらかといえば、「男の子は男らしく、女の子は女らしく」がよい
- 3 どちらかといえば、「性別にとらわれず」がよい
- 4 「性別にとらわれることなく」がよい

問 10 男性と女性の両方がいる世帯の方にお聞きします。

それ以外の方は、問 11 へお進みください。

あなたの家では、次の(1)から(12)の内容について男女のどちらが担っていますか。
次の中から1つずつ選んでください。

	主に男性	え ば 男性 ど ち ら か と い	男 女 同 じ 程 度	え ば 女 性 ど ち ら か と い	主に女性	家 族 外	該 当 な し
(1) 食事のしたく	1	2	3	4	5	6	
(2) 食事の後かたづけ、食器洗い	1	2	3	4	5	6	
(3) そうじ	1	2	3	4	5	6	
(4) ゴミ出し	1	2	3	4	5	6	
(5) 洗濯	1	2	3	4	5	6	
(6) 食品・日用品の買物	1	2	3	4	5	6	
(7) 日常の家計の管理	1	2	3	4	5	6	
(8) 家の中のかんたんな修理・修繕	1	2	3	4	5	6	
(9) 子どもの勉強の指導	1	2	3	4	5	6	7
(10) 乳児・幼児の世話	1	2	3	4	5	6	7
(11) 老いた親の世話（介護）	1	2	3	4	5	6	7
(12) 庭の手入れ	1	2	3	4	5	6	7

【男女平等について】

問 11 あなたは、次の(1)から(6)の分野で、現在、男女平等がどの程度実現されていると思いますか。次の中から1つずつ選んでください。

	平 等 に な っ て い る	あ る 程 度 平 等 に な っ て い る	あ ま り 平 等 に な っ て い な い	ほ と ん ど 平 等 に な っ て い な い	わ か ら な い
(1) 家庭生活の中で	1	2	3	4	5
(2) 就職の機会や職場の中で	1	2	3	4	5
(3) 学校教育の場で	1	2	3	4	5
(4) 自治会等の中で	1	2	3	4	5
(5) 法律や制度の上で	1	2	3	4	5
(6) 社会通念・慣習・しきたりなどで	1	2	3	4	5

問 12 男女平等の実現のために、今後どのようなことが必要だと思いますか。次の中から
3つまで選んでください。

- 1 差別的な社会通念やしきたりをなくすこと
- 2 法律や制度の上での男女不平等をなくすこと
- 3 国や地方自治体の男女共同参画行政を充実すること
- 4 女性自身が経済力をもつこと
- 5 女性が自分たちのあり方に対して問題意識と自覚をもつこと
- 6 女性がもっと政治的・社会的活動に参画すること
- 7 男性が女性の社会的地位向上に関して理解をもち協力すること
- 8 就職、昇進、賃金など職業上の男女不平等をなくすこと
- 9 子どもの時から家庭や学校で男女の平等について教えること
- 10 その他 []
- 11 特に必要なことはない

【地域・社会参画について】

問 13 あなたは、次にあげるような活動をしていますか。次の中から選んでください。
(いくつでも可)

- 1 自然保護、環境美化、リサイクルなどの環境保全活動
- 2 高齢者福祉、障害者福祉などの社会活動
- 3 健康づくり、医療介護などの保険医療活動
- 4 消費生活に関する活動
- 5 P T A、子ども会などの青少年育成活動
- 6 自治会、まちづくりなどの活動
- 7 セミナー、講座などを受講したりする生涯学習活動
- 8 文化、スポーツ、教養などのグループ活動
- 9 子どもの見守りやパトロール活動
- 10 国際交流・協力活動
- 11 その他 []
- 12 参加していない (問 14 へ)

問 14 (問 13 で「12 参加していない」と回答した方におたずねします。)

あなたが社会活動に参加していない理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

- 1 家事が忙しいから
- 2 育児が忙しいから
- 3 仕事が忙しいから
- 4 病人や高齢者がいるから
- 5 身体が丈夫でないから
- 6 人間関係がわずらわしいから
- 7 家族が反対するから
- 8 高齢だから
- 9 自分に適した活動が見つからないから
- 10 身近に機会がないから
- 11 参加する方法がわからないから
- 12 お金がかかるから
- 13 あまり関心がないから
- 14 その他 []

問 15 女性も男性も、それぞれの個性や能力を生かし、より積極的に地域の団体やサークルの活動に参加できるようにしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

- 1 「地域活動のリーダーは男性の役割」「地域とのつきあいは女性の役割」といった男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること
- 2 家事、子育てや教育、介護などの分担について、家族で十分話し合い、協力し合うこと
- 3 地域社会活動への理解を深めるため、行政が啓発活動を実施すること
- 4 労働時間短縮やボランティア休暇などの休暇制度を普及させること
- 5 子どもや介護を要する人などを一時的にあずかってくれる施設を充実させること
- 6 その他 []

問 16 行政、企業、団体等における政策・方針決定の場への女性の参画（企画の段階から参加すること）をすすめるために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

- 1 女性議員が増えること
- 2 男女の比率が偏らないようにクォータ制（※人種や性別などを基準に一定の人数や比率を割り当てる制度）などを積極的に導入すること
- 3 市、企業、各関係機関・団体等が、女性の参画を推進すること
- 4 女性の人材等に関する情報の収集・整備・提供に努めること
- 5 女性自身が政策・方針決定の場へ参画できる力をつけること
- 6 その他 []

【ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について】

問 17 生活の中で、「家庭生活」、「仕事」、「地域活動」の優先度について、あなたの希望に最も近いものを次の中から1つ選んでください。

- 1 「家庭生活」を優先
- 2 「仕事」を優先
- 3 「地域活動」を優先
- 4 「家庭生活」と「仕事」をともに優先
- 5 「仕事」と「地域活動」をともに優先
- 6 「家庭生活」と「地域活動」をともに優先
- 7 「家庭生活」と「仕事」と「地域活動」をともに優先
- 8 わからない

問 18 生活の中で、「家庭生活」、「仕事」、「地域活動」の優先度について、あなたが現実に優先しているものを次の中から1つ選んでください。

- 1 「家庭生活」を優先
- 2 「仕事」を優先
- 3 「地域活動」を優先
- 4 「家庭生活」と「仕事」をともに優先
- 5 「仕事」と「地域活動」をともに優先
- 6 「家庭生活」と「地域活動」をともに優先
- 7 「家庭生活」と「仕事」と「地域活動」をともに優先
- 8 わからない

【女性が働くことについて】

問 19 あなたは、女性の働き方についてどう思いますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 女性は職業をもたない方がよい
- 2 女性は職業をもつことにこだわらなくてよい
- 3 結婚するまでは職業をもつ方がよい
- 4 子どもができるまでは職業をもつ方がよい
- 5 結婚や出産後もずっと職業を続ける方がよい
- 6 子どもができたら職業をやめ大きくなったら再び職業をもつ方がよい
- 7 結婚後や出産後も職業は続けるがパートタイムにきりかえるなど負担を軽くする方がよい
- 8 その他 〔 〕

問 20 女性が結婚・出産後も働き続けるには、どんなことが必要だと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

- 1 家族の理解や協力（家事・育児などへの参加）
- 2 子どもや介護を要する人などをあずかってくれる制度（施設）の充実
- 3 労働時間の短縮化、フレックスタイム制（※出社、退社の時刻を本人が決めることができる制度）の実施
- 4 育児休業・介護休業などの休暇制度の普及と取りやすい環境づくり
- 5 昇進・昇給などの職場での男女平等の確保
- 6 その他 （

問 21 現在、お勤め（パート、アルバイト、臨時雇用も含みます）している方にお聞きします。あなたの職場では、次の(1)から(7)の内容について男女平等になっていますか。次の中から1つずつ選んでください。

	い る 平 等 に な っ て	あ る 程 度 平 等 に な っ て い る	あ ま り 平 等 と は い え な い	当 あ る 男 女 の 差 が 相	わ か ら な い
(1) 募集や採用の条件	1	2	3	4	5
(2) 人事配置や昇進	1	2	3	4	5
(3) 教育や研修制度	1	2	3	4	5
(4) 福利厚生	1	2	3	4	5
(5) 定年・退職・解雇	1	2	3	4	5
(6) 賃金・退職金	1	2	3	4	5
(7) 仕事の内容	1	2	3	4	5

【男女間の暴力について】

問 22 あなたは、次の(1)から(11)のようなことが夫婦（交際相手）との間で行われた場合、それをどのように感じますか。あなたの考えに最も近いものを次の中から1つずつ選んでください。

	どんな場合でも 暴力にあたる	場合もある 場合もそうでない	暴力にあたる場 合もそうでない	暴力にあたる とは思わない
(1) 平手で打つ	1	2	3	3
(2) 足でける	1	2	3	3
(3) 身体を傷つける可能性のあるものでなぐる	1	2	3	3
(4) なぐるふりをして、おどす	1	2	3	3
(5) 刃物などを突きつけて、おどす	1	2	3	3
(6) いやがっているのに性的な行為を強要する	1	2	3	3
(7) 見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	1	2	3	3
(8) 何を言っても長期間無視し続ける	1	2	3	3
(9) 交友関係や電話やメールを細かく監視する	1	2	3	3
(10) 「だれのおかげで生活できるんだ」とか 「かいしょうなし」などという	1	2	3	3
(11) 大声でどなる	1	2	3	3

問 23 もし、あなたの身に「問 22」のようなことが行われた場合、あなたはだれに（どこに）相談しますか。あなたの考えに最も近いものを次の中から選んでください。（いくつでも可）

- 1 配偶者以外の家族や親族
- 2 友人、知人
- 3 警察
- 4 市役所の相談窓口
- 5 県の相談窓口
- 6 人権擁護委員
- 7 民生委員
- 8 同じ経験をした人
- 9 医師・カウンセラー
- 10 どこ（だれ）にも相談しない
- 11 その他 [

問 24 ドメスティック・バイオレンス（DV：配偶者等からの暴力）やセクシャル・ハラスメント（性的いやがらせ）をなくすためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

- 1 相手を対等なパートナーとしてみるための意識啓発
- 2 不快な言動や行動に対し、はっきり意思表示できる（ノーと言える）環境と意識づくり
- 3 苦情や悩みについて、対応できる相談体制の充実
- 4 重大な人権侵害であるという認識をもつための啓発
- 5 ドメスティック・バイオレンスやセクシャル・ハラスメントに対する罰則を強化した法律や規則等の整備
- 6 その他 [

【男女共同参画の視点からの防災について】

問 25 防災・災害復興対策で次の(1)から(7)の内容について男女の性別に配慮した対応がとられる必要があると思いますか。次の中から1つ選んでください。

	必要がある	必要がない	わからない
(1) 避難所の設備（男女別トイレ・更衣室、防犯対策等）	1	2	3
(2) 避難所運営の責任者に女性も配置され、被災者対応に女性の視点が入ること	1	2	3
(3) 乳幼児、高齢者、障がい者、病人、女性（女性用品等）に対する備えやニーズの把握、支給する際の配慮	1	2	3
(4) 災害時の救援医療体制（診察・治療体制、妊産婦をサポートする保健師・助産師の配置）	1	2	3
(5) 被災者に対する相談体制	1	2	3
(6) 対策本部に女性が配置され、対策に女性の視点が入ること	1	2	3
(7) 防災・復興計画策定の過程や、防災会議に女性が参画すること	1	2	3

【男女共同参画への取り組みなど】

問 26 あなたは、男女共同参画社会を実現するために、足利市ではどのようなことに力をいれていくべきだと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

- 1 広報誌やパンフレットで啓発する
- 2 各種団体などの女性のリーダーを養成・支援する
- 3 自主的に活動するボランティアやNPOなどの団体を支援する
- 4 学校教育や社会教育の場で男女平等などの学習を充実させる
- 5 男女の生き方に関する情報提供、相談、教育の場を充実させる
- 6 女性を政策決定の場に積極的に登用する
- 7 企業に対し男女の平等な扱いについて意識啓発を行う
- 8 子どもや介護を要する人などをあずかってくれる制度（施設）を充実させる
- 9 その他 []

【足利市へのご意見など】

問 27 人権問題や男女共同参画について、ご意見・ご要望がございましたらご記入ください。

『ご協力ありがとうございました』

人権・男女共同参画についてのアンケート調査報告書

平成 27 年 3 月

編集・発行 足利市総務部人権・男女共同参画課

〒326-0823 栃木県足利市朝倉町264番地

男女共同参画センター

TEL 0284-70-8600／73-8080

FAX 0284-73-8066

e-mail jinken@city.ashikaga.lg.jp